

平成四年三月

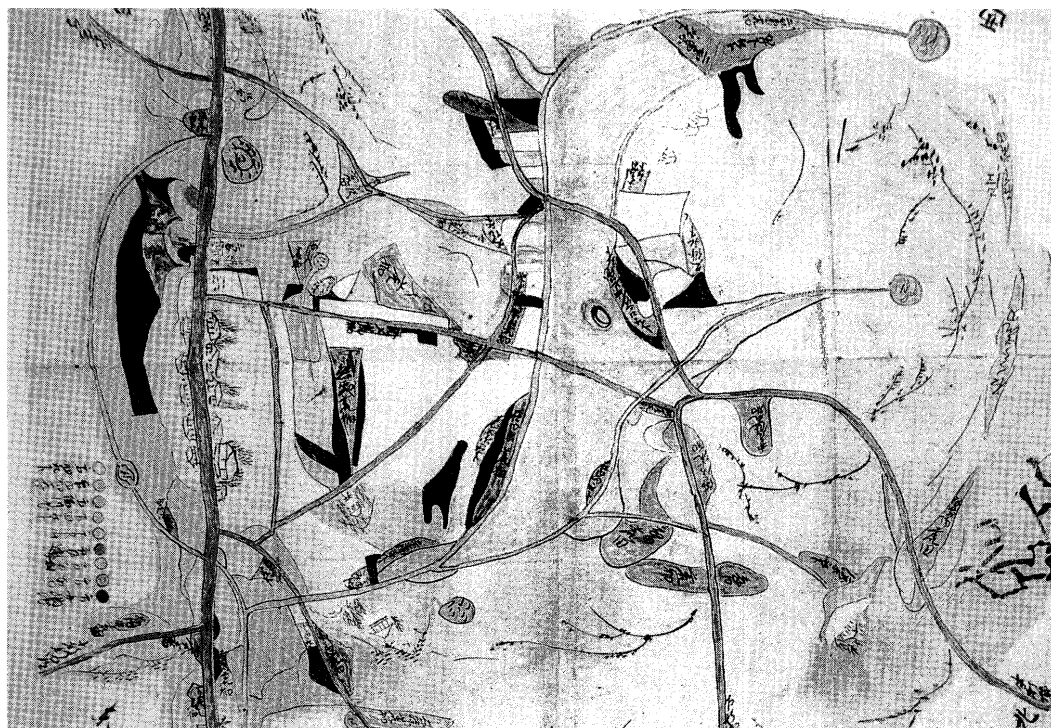
史料館所藏史料目録 第五十五集

陸奥国白河郡踏瀬村箭内家文書目録（その二）

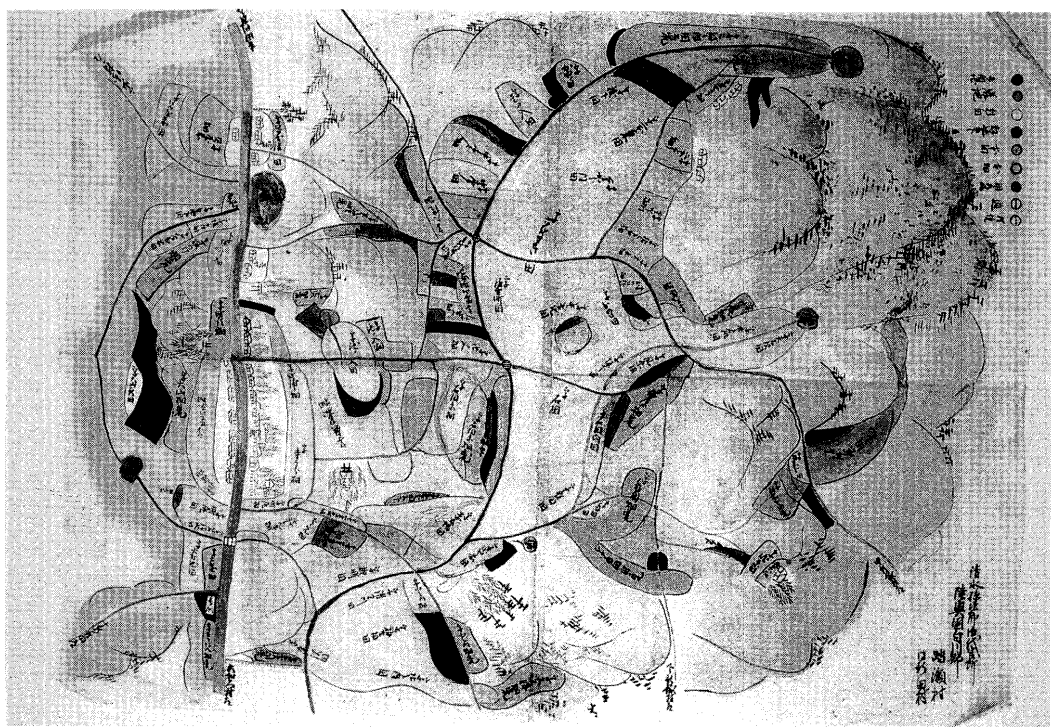
史料館

史料館所藏史料目録 第五十五集

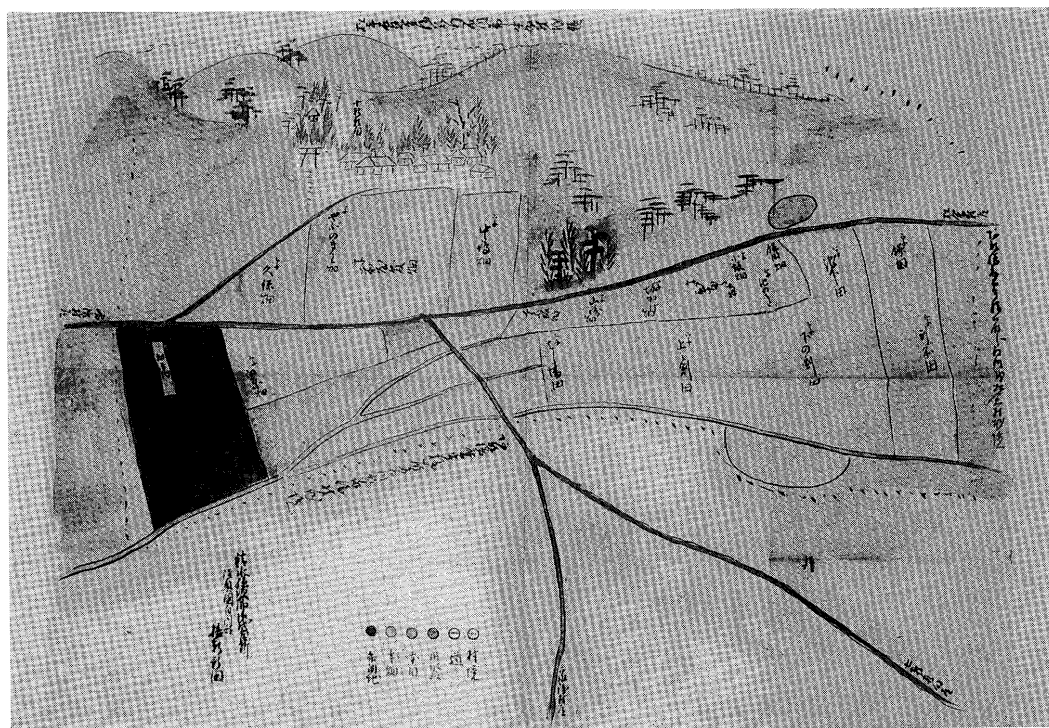
陸奥国白河郡踏瀬村箭内家文書目録（その二）



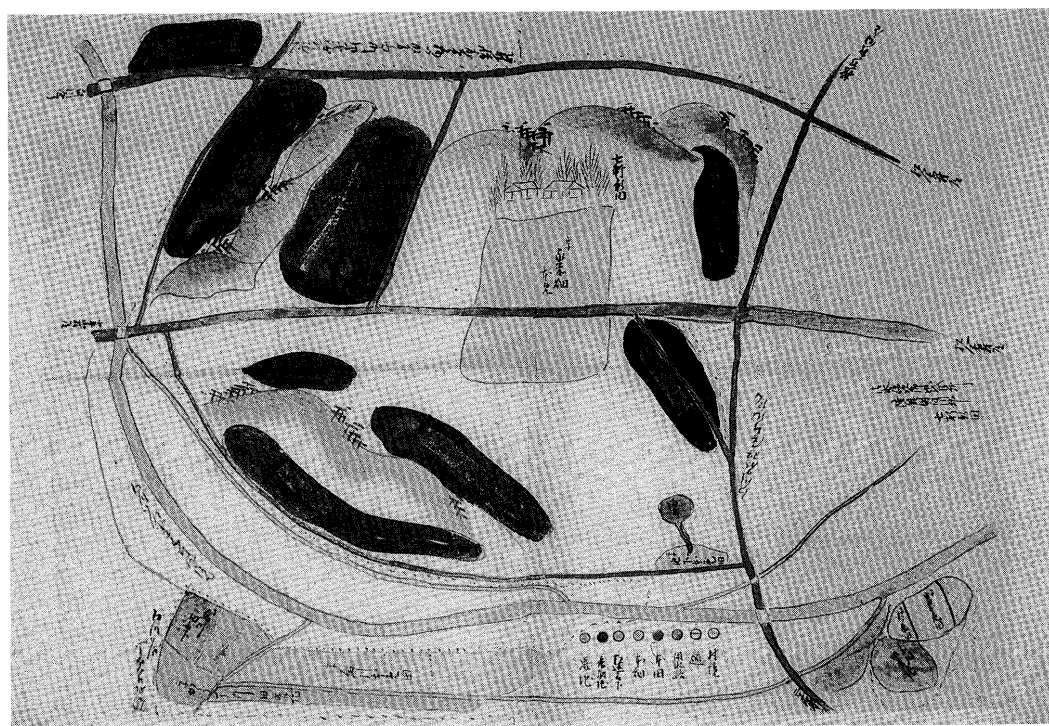
(踏瀬村・踏瀬新田村絵図) (文書番号二九九一)



(踏瀬村・踏瀬新田村絵図) (二九九二一一)



(十軒新田村絵図) (二九九二-二)



(七軒新田村絵図) (二九九〇-三)



一 本目録は、『史料館所蔵史料目録』第五十五集として「陸奥国白河郡踏瀬村箭内家文書目録」(その二)を収めた。

史料は、文書群の内部構造を復元するかたちで、大・中・小項目を立てて分類配列した。大項目は一二ポイントゴチック活字、中項目は一〇ポイントゴチック活字、小項目は九ポイントゴチック活字で示した。内容上複数の項目に掲げることを妥当と考えた史料は、※印を付して重出した。なお、\*、○印を付した史料もあるが、その意味するところについては解題を参照されたい。

小項目の中の史料の配列は、原則として年次順である。

史料目録の記載欄はほぼ、(一)表題、(二)作成者または差出人、(三)宛名、(四)作成年月日、(五)形態、(六)数量、(七)整理番号の順である。但し、奥書などのある複合文書で右の(二)―(四)を単一に表現できないものについては、/ (斜線) のあとに複合部分の記載内容を付記する方法を採った。

表題は原表題のあるものはそれを採り、ないものについては内容・類型に応じて付与し、( ) を付した。柱書のある場合は、それを記録した上で( ) をして表題を付与した。なお、適宜「」内に内容や写・控・下書・刊本(板)の別などを注記した。

宛名は敬称まで含めて採録し、敬称のないものは(宛)と表示した。

作成年月日は和年号で示し、干支のみの場合はそれを採録した。推定年次については( ) を付した。

史料の形態は、冊子型史料では、半(半紙堅折判)、半切(半紙堅半截判)、美(美濃堅折判)、横長半(美)(半紙(美濃)横折判)、横半(美)(半紙(美濃)横折紙半截判)、横半(美)半折(半紙(美濃)横折紙半折判)、横切半(美)(半紙(美濃)横切紙半折判)、横半(美)列(半紙(美濃)横折紙列帖装)、横切半(美)列(半紙(美濃)横切紙列帖装)、堅半(美)半(半紙(美濃)堅折紙半截判)などによって表記した。こうした表記法の詳細については、『史料館所蔵史料目録』第五十集の解題を参照されたい。特に大型のものは美の下に大を加えた。

書付型史料は、堅紙、折紙、堅切紙、横切紙、小切紙、堅継紙、横切継紙などと表記した。また絵図類は、縦横の寸法をセンチメートル単位で示した。

史料の利用にあたっては、解題を参照されたい。

目次

口絵

凡例

陸奥国白河郡踏瀬村箭内家文書目録（その二）

解題

目次

目録

頁

一

三

三

二五

陸奥国

白河  
踏瀬  
村郡

箭内家文書目録

(その二)

陸奥国 白河郡 踏瀬村 箭内家文書目録(その二) 目次

踏瀬村(明治九年まで).....	25	頁
土地.....	25	
荒地・起返地.....	25	
年貢諸役・村入用.....	25	
諸役、村入用・郡金・郡中入用、郡金・郡中入用等請取、差出金・上納金.....	25	
支配.....	26	
御用留・諸願留、触・達・規則、請書.....	26	
五人組帳前書、救恤.....	26	
村政.....	28	
村況、出勤、行倒人、村政諸事、村々書上、村借、若者組・芝居、他村関係.....	28	
戸口.....	34	
寺社.....	34	
慈眼寺、村内諸寺社、村外諸寺社.....	34	
踏瀬小学.....	34	
庄屋兼帯諸村.....	34	
踏瀬新田村.....	35	
年貢諸役・村入用.....	35	
定免.....	35	

---

村政.....	36	
十軒新田村.....	37	
土地.....	37	
土地書上・地租改正.....	37	
年貢諸役・村入用.....	37	
定免.....	37	
村政.....	37	
七軒新田村.....	38	
土地.....	38	
年貢諸役・村入用.....	38	
定免.....	38	
村政.....	38	
二子塚村.....	38	
村政諸事.....	38	
踏瀬村(明治一〇年以降).....	40	
土地.....	40	
地租改正、官有地・公有地・村有地.....	40	
租税・村費.....	40	
支配.....	40	
通達・規則、徴兵.....	41	
村政.....	41	

---

選挙、村政諸事.....	43	
踏瀬小学.....	43	
踏瀬宿.....	45	
宿勤.....	45	
往還御用留、先触、御先触留帳、日ノ帳、願書、議定書、吉五郎一件、宿勤諸事.....	45	
助郷.....	56	
人馬割出帳、議定書、昇役、加助郷・増助郷、助郷諸事.....	56	
触・達等.....	64	
他宿.....	65	
駒付役.....	66	
役儀.....	66	
駒御用留.....	67	
駒改.....	67	
当歳駒、式歳駒.....	67	
羅駒.....	71	
御羅駒相調書上帳、御羅駒代金取立帳、御羅駒代金渡方并分金取立帳、御羅駒代金相調書上帳、羅駒諸事.....	71	

種 駒	75
駒付役諸事	76
箭内家	77
由緒・格式	77
酒 造	78
金銭出入	82
金銭貸借、借用証文、年賦証文、酒造	
関係金子借用、無尽、金銭出入	
土 地	92
地券、小作、土地関係諸事	
郵便馬車会社	94
内国通運会社	94
積金同盟会	94
踏瀬信用購買販売組合	95
奉公人・職人	96
給金帳、奉公人・職人関係諸事	
生 活	97
冠婚葬祭・見舞・音信贈答、普請、信	
仰・旅	
藏 書	102
書籍等、絵図・地図、雑誌	
教育・教養・文化	107
情 報	110
箭内家関係諸事	110
用状等	111



陸奥国 白河郡 踏瀬村 箭内家文書目録 (その二) (文書記号 1990A)

踏瀬村 (明治九年まで)

土地

荒地・起返地

田畑荒地絵図 踏瀬村什長丸山鹿蔵・用掛箭内名  
左衛門・戸長佐藤勇右衛門・福島県令安場保和殿・  
福島県参事山吉盛典殿 明治七年四月 美 一冊 二七九二

田畑荒地絵図 第十三区白河郡踏瀬村戸長代理書  
記根本虎次郎・用掛箭内名左衛門・什長丸山鹿蔵 美 一冊 二九六一

年貢諸役・村入用

諸役

(郷夫金一人別割合帳) 御一新二付改県司所  
明治二年三月 横長美 一冊 三三三

白川人夫売人別牒 踏瀬村役人 辰七月四日付 横美半折 一冊 二五元

村入用・郡金・郡中入用

新割増并山代金調帳 踏瀬村 天保二年正月 横美半折 一冊 二七一

借用仕金子之事 (郡中入用金差支) 新附白川郡  
世三ヶ村石川郡四ヶ村両郡惣代踏瀬村箭内名左衛門  
外六名 塙御年番菊池縫之助殿 安政七年三月 堅緑紙 一通 二〇九

郡金・郡中入用等請取

\* (踏瀬村外三ヶ村分非常備金・兵賦金・国役金  
請取手形) 寅 (慶応二年)・卯 (慶応三年) (一七通) 三七五一

(明治初年諸手形一括)  
\* 1 (明治六年夏成納手形・夫食返納受取書等  
一括) (明治五・同六年) 包紙入 一括 一八〇三一

2 (去卯年賦返納金請取書) 山本興平 箭内  
名左衛門 (宛) 辰一月一日 包紙入 一通 一八〇三一

3 課 (夫食貸返納分請取書) 須賀川支庁租稅  
課 (明治六年カ) 七月一九日 包紙入 一通 一八〇三一

\* 4 宮繕金請取通 折紙 一通 一八〇三一

\* (元白河県舎宮繕費請取書等一括) (明治五・  
同八年) 封筒入 一〇通 一八〇三一

\* (旧白河県宮繕費請取書一括) (明治四・同七  
年) 封筒入 五通 一八〇三一

\* 記 (貢税金為替請取手形) 福島県須賀川出張為  
替方 (箭内名左衛門又は白岩利八宛) (明治六年  
一二月・同七年一月) 包紙入 一綴 二二二

\* 記 (貢税金通送券請取手形) 須賀川通送内藤安  
之助 (箭内名左衛門又は白岩利八宛) (明治六年  
一二月・同七年一月) 包紙入 一綴 二二二

支 配			御用留・諸願留		
覚(踏瀬村分御備金拝借返納受取) 塙年番所 午二月三日	小切紙 一通 三六		※諸御用記録 七番 踏瀬宿箭内義直 文政四年七月(同九年九月)	横美半折 一冊 二七六	
*覚(踏瀬村外三ヶ村分御交代出府入用割納入書) 右村々(踏瀬村外三ヶ村)役人 新附御年番 亥七月	小切紙 一通 一七五十二		※諸御用記録 式番 踏瀬宿箭内義直 文政九年九月(同十三年四月)	横美列 一冊 二七七	
*覚(踏瀬村外三ヶ村分交代割合受取) 塙新附年番所 踏瀬村御役人中(宛) 三月一日	小切紙 一通 一七五一		※(諸御用記録) 三番 踏瀬宿箭内義直 (文政一三年五月)天保八年十一月	横美列 一冊 二七八	
*覚(踏瀬村外三ヶ村分御交代并江戸出府入用受取) 年番所 踏瀬村御役人衆中(宛) 七月一日	小切紙 一通 一七五十三		※御用書留帳 四番 箭内義直 天保八年十一月(同十二年二月)	横美半折 一冊 二七九	
差出金・上納金			※御用書留 五番 箭内義直 天保一一年二月(同十五年八月)	横美半折 一冊 二八〇	
塙附郡中村々差出金人数調(陣屋修復手当等差出金 塙年番詰名主忠右衛門外二名 嘉永五年一月)	横美半折 一冊 二七九		※諸御用留帳 踏瀬宿 天保一二年五月(二月)	横長美 一冊 二八六	
申渡(常州浮浪騒乱の際兵糧米差出し奇特につき賞詞) 多田銃三郎 踏瀬村駒付役庄屋兼帯箭内名左衛門(宛) 元治元年一〇月二日	包紙入 横切紙 一通 三〇		※御用書留 六番 箭内義直 天保一五年九月(嘉永二年正月)	横美半折 一冊 二八二	
覚(御進発に付御用金請取手形) 多田銃三郎 手代野田右衛門・同人手附望月忠三郎 踏瀬村箭内名左衛門(宛) 寅(慶応二年)十一月一日・卯(慶応三年)十二月	包紙入 横切紙 一通 三三十二		※御用書留帳 踏瀬宿 弘化二年正月(同三年正月)	横長美 一冊 二八二	
奉差上御請書(金百両上納の功により掛軸拝領に付請書(下書) 踏瀬駅検断箭内名左衛門 明治二年六月)	堅紙 一通 三六		※御用書留 七番 箭内義直 嘉永二年正月(嘉永六年五月)	横美半折 一冊 二八三	
			※御用書留 八番 踏瀬箭内氏 嘉永六年五月(安政三年三月)	横美半折 一冊 二八三	
			※諸御用記録 箭内義直 (安政三年正月)慶応二年二月	横美列 一冊 二八五	
			※諸御用記録(村方・宿方諸書留) 箭内義信 (慶応三年)	横小 一冊 二八六	

御用書留 踏瀬村 慶応四年正月（明治二年正月） 横長美 一冊 二六九

※大宝恵（宿方村方諸事書留帳） 辰（慶応四年） 横長美 一冊 二七六

※万聞書 箭内 辰（明治元年） 八月（明治二年一〇月） 横長美 一冊 三三六

※村方御用留と往還諸御先触留帳の合冊（明治四年） 横長美 一冊 二七四

触・達・規則

御領中御條目 箭内氏 享保四年二月 横長美 一冊 二七七

奥州白川郡村々強訴百姓御仕置申渡書 埴附郡中 寛延三年二月 美 一冊 二七八

（守るべき人間の道八ヶ条書上） 寛政五年正月 横切紙 一冊 二五五

覚（祭礼の節地芝居禁止の旨申渡ならびに請書） 年番所 白川石川田村郡村々庄屋中（宛） 文化二年 亥九月二三日／踏瀬村惣百姓三二名 縦紙 一通 二〇八

請印 僕婢馬車人力車駕籠乗馬遊船等諸税規則（板） 明治六年一月 半 一冊 一四三

かなつけおふれかき 第老号・一号ノ附録・第二号・第三号（板） 明治六年八月 半 四冊 二九一

（太政官布告断簡）（板） 明治八年四月 三丁 二四七二

記（迷い馬の持主探しの通達） 第十三区会所 大和田村外一三ヶ村用係中（宛） 明治八年五月四日 半 一冊 二〇五

横文電信表（板） 電信寮（明治八年） 縦紙 一通 一四七

（区費学費取立に付通達） 第九区会処 踏瀬村 用掛中（宛）（明治九年八月三日） 縦切紙 一通 二四六

申渡（彦右衛門喜寿祝として天朝より米一俵下賜の申渡）（埴御役所） 踏瀬村彦右衛門（宛） 辰二月 横切紙 一通 二六二

（風聞不宜者共村預申付書付） 埴御役所 右村々（小田川村・踏瀬村）役人（宛） 午十一月七日 包紙入 一通 二〇九

学制追加（板） 半 一冊 二四七

（単語書上）（板） 半 一冊 二四七

（税目一覽）（板） 八丁 二九五

請書

酒造御改御請書（減石に付） 右村（踏瀬村）酒造人名主名左衛門外二名 清水孫次郎様御手附富永鉄三郎殿・柴田民三殿 文久二年二月 半 一冊 一八五

酒造御改御請書（減石に付） 踏瀬村 埴御役所（宛） 慶応二年八月 美 一冊 一八七

御鑑札請印帳（職人・商人に鑑札下付につき受印差上） 右村（踏瀬村）組頭利八・庄屋名左衛門 白河県生産御役所（宛） 明治二年六月 半 一冊 一八〇

五人組帳前書 御仕置五人組前書 埴古附 明和六年四月四日 美 一冊 二七九

救恤 救恤 縦切紙 三通 二三四

\*（姫智取御手当拝借手形）（踏瀬村・踏瀬新田村分） 縦切紙 三通 二三四

村 政

村 況

輸出高書上帳 副戸長箭内名左衛門 明治五年八月 美 一冊 一七〇

(踏瀬村絵図等一括) 一冊 二九〇

※(踏瀬村絵図・地籍図等一括)

五通 二九一

※(踏瀬宿絵図等一括)

二通 二九一

(踏瀬村絵図等一括)

八通 二九一

出 勤

旅籠通 塙升屋直右衛門 踏瀬村箭内名左衛門様 横美半折 一冊 一七五

行 倒 人

(津輕領田中村源五郎巡礼の途中重病に付身柄引取依頼状) 踏瀬宿庄屋箭内名左衛門 行合村 横切継紙 一通 二二九

村 政 諸 事

乍恐以書付奉願上候御事(謀判にて借金の人)にされた件に付願書 願人清十郎 御役所様 堅紙 一通 二〇一

村出情励市掛溜相続無尺取極牒 百姓二九名・世話人長百姓二名・世話人組頭二名・元々方箭内善藏・同岩淵兵之右衛門 文政五年十一月 横長美 一冊 三八〇

差上申一札之事(村持竹藪を伐採した件に付託書) 踏瀬村岩吉外五名 御役人衆中様(文政二年) 丑三月一六日 堅紙 一通 二〇二

差上申一札之事(待番役不勤の詫証文) 踏瀬村佐七外二名 村御役元様 文政三年九月 堅紙 一通 一七三

差上申一札之事(店請証文) 店借主勝右衛門・店主林吉・受人平吉・世話人林平 箭内名左衛門様 天保二年三月一三日 堅紙 一通 二〇三

村方相続無尺帳 踏瀬宿 天保三年一月 袋入 一冊 二二一

差上申一札之事(佐七弟万右衛門三次郎跡式相続に付一札) 佐七・親類元吉 御役人中様 天保六年三月 堅紙 一通 二六七

借用申金子証文之事 踏瀬宿借主清吉外二名 小田川宿宝積院様御取次中 天保八年正月 堅紙 一通 二八一

中新城村隠売米捌帳 踏瀬村 天保八年二月 横美半折 一冊 一七三

差上申一札之事(博奕宿をしたことの詫状) 与吉・好身惣右衛門 御役元(宛) 天保八年三月 堅紙 一通 二五五

以書付御歎申上候事(与吉外二名博奕の件有免願書) 与吉・好身惣右衛門外四名 御役元(宛) 天保八年三月/村上川内正・慈眼寺奥書 堅紙 一通 二五五

差上申一札之事(博奕をしたことの詫状) 本藏・惣吉・彦七 御役元様 天保八年三月/好身惣右衛門外一名奥書 堅紙 一通 二五五

差上申一札之事(博奕をしたことの詫状) 清次郎外三名 御役元(宛) 天保八年三月 堅紙 一通 二五五

議定書之事(年番役勤め方に付議定書) 町屋村庄屋辰次外一七ヶ村庄屋一八名 天保九年六月	堅紙	一通	一七五
乍恐以書付御届奉申上候(踏瀬村源藏布地等拾得に付届書) 右村(踏瀬村) 長百姓一名・組頭二名・庄屋一名 塙御役所(宛) 天保十一年八月	堅紙	一通	三〇四
改心書誓詞之事(禁酒して身持を改める旨) 利左衛門 天保一二年六月/専吉・金藏奥書	堅紙	一通	三三四
差出申証文之事(利八無尽中り金請取に付一札) 下新城村取人岡崎栄助・村請箭内名左衛門・村取人栄藏・同専吉 村利八殿・惣御連衆中(宛) 弘化二年二月	堅紙	一通	三五四
指上申一札之事(待番役不動の詫状) 重藏外二名 御役元様 弘化四年二月一日	堅紙	一通	一四六
差上申一札之事(法度違背に付改心書) 亀右衛門外三名 村御役人衆中(宛) 嘉永四年四月	堅紙	一通	三六〇
乍恐以書付奉歎願上候(博奕の件吟味下げ願書) 〔鑓形〕 白川郡右村々百姓・親類・組合・三役人 塙御役所(宛) 嘉永五年二月一八日	堅紙	一通	二五五
差上申一札之事(梁川大工留吉を馬之助の聲にする件に付一札) 願人馬之助外四名 御役人衆中(宛) 嘉永五年四月	堅紙	一通	三〇五
差上申一札之事(政吉借家請状) 家主清右衛門外三名 御役人衆中様 嘉永六年一〇月一八日	堅紙	一通	三三八
差上申一札之事(家出の詫状) 鹿藏外四名 御役人中様 嘉永六年	堅紙	一通	三〇六
借用仕金子之事 踏瀬宿借用人新次郎・人主受人 徳重 沢井村倉治良殿 嘉永七年八月	堅紙	一通	三三二

一札之事(店借又蔵と村上河内妹の欠落の件に付心得違ひ詫状) 村上河内外三名 村御役人衆中様 安政四年五月二二日	堅紙	一通	三〇八
差上申一札之事(福藏跡式を市右衛門を養子にして相続させる件に付一札) 右福藏親類久右衛門・市右衛門取請人文十・同清左衛門・組合四名 村御役人中様 安政五年二月	堅紙	一通	三〇九
威鉄炮証文・獵師鉄炮証文(慶応四年三月までの後筆あり) 踏瀬村 万延二年三月	美	一冊	三三七
侘一札之事(鉄之助が人違いで庄左衛門に疵を負わせた件に付詫状) 矢吹宿当人鉄之助外三名 踏瀬宿庄左衛門殿・親類中(宛) 文久三年八月/当宿(矢吹宿) 役人惣代大野文藏奥書	堅紙	一通	三〇九
新池普請ニ付仕事師日雇村人足勤日記帳 村役人・世話人 文久四年二月	横長美	一冊	二七六
弁天丸御廻米揚上廻覧帳 備中国小田郡乗納庄屋重左衛門 明治二年七月三日始	横長半	一冊	二六九
乍恐以書付御届奉申上候(盗難に付被害届) 踏瀬村百姓林右衛門厄介隠居伝兵衛外村役人四名 御役所(宛) 已(明治二年カ) 一一月	美	一冊	三三六
歎願書(踏瀬村・白河郡大和久村にて流行大黒天信仰取締に付赦免歎願書) (明治三年一〇月一二月)	一綴 (三冊)	三六	
田地相渡し申事(永代渡し証文) 中畑新田村兵右衛門外一名 ふませ村竹治殿 明治三年(四年カ) 一一月	堅紙	一通	三三九
*自立馬数書上帳(踏瀬村・十軒新田・七軒新田) 踏瀬村馬目附亀右衛門外三名 白河県牧牛馬掛御役所(宛) 明治四年三月	美	一冊	一七四



田地相渡し申事(田地永代相渡し証文) 石川郡中畑 新田村兵右衛門・立合人重助 ふませ村竹治殿 明 治四年二月	縦紙	一通	二〇三
田地相渡し申事(永代渡し証文) 石川郡中畑新 田村兵右衛門外一名 ふませ村竹治殿 明治四年一 二月	縦紙	一通	三三三
証券印紙御用留 踏瀬箭内 明治六年六月(一 同 一七年四月)	横美半折	一冊	二八二
*二人別桑植付本数書上帳) 副戸長箭内名左衛 門 明治七年一月	横長美	一冊	一八七
当戊二歳駒駄取調牒 箭内氏 明治七年三月	横美半折	一冊	二〇〇
(踏瀬村当寅出生馬書上) 右村(踏瀬村)用係 箭内名左衛門 畜産掛水野谷住之助殿 (明治) 一 年六月三日	折紙	一通	二〇三・一 二〇三・一・九綴
記(馬書上) 畜産掛水ノ谷住之助殿 寅(明治 一一年)	横切紙	一通	二〇三・一
総馬数毛附帳 右村(踏瀬村) 什長佐川林平・用 係箭内名左衛門 畜産掛水野谷住之助殿 明治一 年四月七日	横長美	一冊	二〇三・一
総馬数取調簿 第九区踏瀬村 明治一〇年五月二 三日	横長美	一冊	二〇三・一四
馬数取調帳 右村(踏瀬村) 什長代り五十嵐好藏・ 同石川庄右衛門・用掛代り丸山鹿蔵 畜産係水野谷 住之助殿 明治九年八月	横長美	一冊	二〇三・一五
*総馬数取調書上帳(踏瀬村・十軒新田・七軒新田 分) 右村什長白岩利八・佐川林平・用掛箭内名左 衛門 畜産掛御中(宛) 明治八年五月	横長美	一冊	二〇三・一六
* (踏瀬村・十軒新田村馬書上) 明治七年	折紙	一通	二〇三・一七
* (踏瀬村・十軒新田・七軒新田総馬数書上帳) 右村什長佐川林平・同五十嵐源右衛門・同丸山鹿 蔵・用掛箭内名左衛門 福島県産馬会社畜産掛大越 又右衛門殿 明治七年五月	横長美	一冊	二〇三・一八
*総馬数取調書上帳(控) 踏瀬村・十軒新田・七 軒新田 明治七年五月一八日	横長美	一冊	二〇三・一九
銃御免許御願 右村(踏瀬村) 願人佐々木久次・ 五十嵐十吉・什長五十嵐源右衛門 明治七年九月二 二日	縦紙	一通	三三六
道路脩繕付御手当御下ヶ付戸毎割合帳 踏瀬村 明治七年一〇月	横長美	一冊	二七六
(道普請人足名面帳等綴) (明治七年)	縦紙	一綴	二七六
(証券印紙売捌に付書上) (売捌人) 箭内名左衛 門(明治七年) 同一六年	横切紙	一綴	二七六
道路普請面附星払 踏瀬村用懸控 (明治九年) 六月五日・六日	横長美	一冊	二五三・一
佐一札之事(雨乞の際庄蔵不埒に付詫状) 庄 蔵外一名 村御役人衆中(宛) 丑六月二二日	縦紙	一通	三二二
添書之事(白川郡須乗新田村さく家出に付協 力方願書) 踏瀬駅庄屋兼検断箭内名左衛門 宿々 村々御役人中様 午四月	包紙入 横切紙	一通	三三五
指出申一札之事(放れ馬受取一札) 三城目村 馬主金蔵外一名 踏瀬村御役元様 申三月一八日	縦紙	一通	二〇六
(諸国酒造人の名前替・譲渡等を取調べ書付差 出すべき旨の幕令に付参会通知) 大庄屋所 (西) 二月三日	折紙	一通	一八六
差上申一札之事(心得違の詫状) 当人大助・ 同周蔵外二名 村御役人中様 戌二月二三日	縦紙	一通	三三三

紛失品御届 踏瀬村四番屋敷届人佐々木丑吉外二名 福島県権令山吉盛典殿 九月二十九日

手帳(酒造関係触書・請書・酒造人名前・酒造高等書上帳)(近世)

(踏瀬村総馬数書上帳)

銃狹御免許御願(二二二八の下書) 右村(踏瀬村)願人・什長 福島参事山吉盛典殿

(金錢書上)

※(金錢勘定書類一括)

※(金錢勘定等一括)

覚(金子取立方に付書上カ)

※(金錢勘定・戸長任命書等一括)

### 村々書上

(第六大区小一区村々白河等への道法書上等)  
明治五年八月

### 村 借

差上申一札之事(白川岩瀨氏より金子借用に付以後白川酒以外は購入しない旨一札) 踏瀬村惣百姓惣惣八外三〇名 庄屋所(宛) 天保三年十二月

諸差引之通(岩淵・忠吉から箭内名左衛門へあてての諸勘定の報告) 天保四年正月

岩瀨氏施米控帳 踏瀬村 天保五年四月二二日

借用申金子之事 踏瀬村長百姓二名・組頭二名・庄屋一名 岩崎新藏殿 天保六年二月

美 一冊 三五五

横半半折 一冊 一七二

横長美 一冊 二〇三

縦紙 一通 三三九

一綴 一綴 三九三

六通 六通 二七六

一括 一括 二〇七

縦紙 一通 二〇八

一括 一括 二〇〇

横長美 一冊 一七六

縦紙 一通 一七七

横長美 一冊 五〇二

横美半折 一冊 二〇八

縦紙 一通 三六三

年賦証文之事(村借金年賦返済に付) 踏瀬村長百姓平右衛門・組頭惣右衛門・同理人・庄屋箭内名左衛門 岩崎渡部新藏殿 天保一一年二月

借用証文之事(村借金) 踏瀬村長百姓平右衛門・組頭惣右衛門・庄屋箭内名左衛門 岩崎渡部新藏殿 天保一三年二月

拝借証文之事(代官所御備金拝借) 下新城村庄屋栄助・踏瀬村庄屋名左衛門 松田孝平様 弘化二年三月一三日

借用申金子之事 踏瀬村庄屋名左衛門・下新城村庄屋栄助 塙村直右衛門殿 弘化二年三月

拝借証文之事(御役所御備金拝借に付) 踏瀬村拝借人庄屋名左衛門外一名 松田孝平殿 弘化二年三月

拝借仕金子之事 踏瀬村庄屋拝借人名左衛門外一名 木村旦那様 弘化二年九月

拝借証文之事 踏瀬村庄屋借主名左衛門外一名 斎藤弥市郎様 弘化二年九月

岩瀨氏粉貸附帳 弘化三年三月

奉拝借金証文之事 踏瀬村拝借人庄屋名左衛門・右村組頭理人・年番寿助 松田孝平様 弘化四年一〇月

奉預金子証文之事 預り人踏瀬村庄屋名左衛門・年番寿助 沢又左衛門様 弘化四年二月

御貸附拝借証文(奥州道中宿々道橋修復手当貸附金拝借に付) 踏瀬村實地主名左衛門外五名 荒井清兵衛様塙御役所(宛) 嘉永元年一〇月

引当實地証文(二七九七一の件に付) 踏瀬村地主名左衛門外五名 荒井清兵衛様塙御役所(宛) 嘉永元年一〇月

縦紙 一通 三八二

縦紙 一通 三八八

縦紙 一通 三九五

縦紙 一通 三六五

縦紙 一通 三九六

縦紙 一通 三九七

縦紙 一通 三九八

横美半折 一冊 二七〇九

縦紙 一通 二三〇一

縦紙 一通 二三〇〇

美大 一冊 二七九七一、二綴

美大 一冊 二七九七二

借用申仕法金之事(村方百姓相続のため郡中仕法金借用) 右村(踏瀬村)長百姓平右衛門・組頭覚右衛門 同理八・庄屋名左衛門 年番所詰伊香村御名主忠右衛門殿 嘉永二年十二月	堅紙	一通	三〇四
借用申金子証文之事(村方取賄金として) 借用入踏瀬村庄屋箭内名左衛門外五名 御陣内小林旦那様 安政五年七月	堅紙	一通	三〇七
若者組・芝居			
差上申一札之事(当村若者に狂言の世話等決してしない旨一札) 惣吉外七名 文化一二年九月朔日	堅紙	一通	二〇二
差上申御請書之事(若き者の夜毎の芝居稽古以後やめさせる旨請書) 踏瀬村林右衛門外一七名 御庄屋所(宛) 文化一二年九月	堅紙	一通	二〇三
差出申一札之事(若き者を狂言稽古のため寺中へ出入させない旨請書) 慈眼寺 御庄屋所(宛) 文化一二年九月	堅紙	一通	二〇四
差上申一札之事(狂言稽古の詫書) 清次郎外二名 御庄屋所(宛) 文政二年八月/村上川内正奥書 文政二年八月	包紙入 堅紙	一通	二〇五
差上申御請書之事(是非とも若き者の芝居狂言の世話をしたい旨一札) 銀四郎外七名 御役人衆中(宛) 辰(文政三年カ) 九月二六日	堅紙	一通	二〇六
差上申御受書之事(若者の芝居狂言の世話をやめる旨請書) 銀四郎外七名 御役人衆中(宛) 辰(文政三年) 九月二六日	包紙入 堅紙	一通	二〇七
指上申御受書之事(当村若き者の芝居の世話をしてない旨請書) 平吉外三名 御役人衆中(宛) 辰(文政三年) 九月二六日/二〇八七一と同一包紙入	堅紙	一通	二〇七
他村関係			
差上申議定書之事(自狂言出願に付取締方議定書 踏瀬宿惣小前二八名・長百姓二名 村御役人衆中(宛) 安政四年正月	堅紙	一通	二〇八
差上申佐書一札之事(御役前へ筋違の事を仕出したことの詫書) 若者熊藏外二〇名 村御役人中様 明治四年六月/若者四名・村役人四名・御役元所奥書	堅紙	一通	二〇九
差上申佐書一札之事(御役前へ筋違の事を仕出したことの詫書) 若者 村御役人中様 明治四年六月	横切紙	一通	二一〇
差上申一札之事(若者共定夫部屋で飲酒の件に付詫状) 鉄藏外一〇名 村御役人中様 戊辰一月二三日	堅紙	一通	二一一
泉崎村・松倉村・北平山村土地争論に付取極書) 相衆甚左衛門 寛文一一年二月			
奉差上一札之事(泉崎村・松倉村土地争論済口証文) 泉崎村長百姓小前惣代七名・松倉村長百姓八名・庄屋三名 白川御代官所(宛) 文化一四年二月二〇日	堅紙	一通	二一二
差上申内済一札之事(村役人の年々起返御取下場の反別改方をめぐる争論の内済証文) 小田川村百姓一七名・長百姓二名・組頭二名・庄屋一名・後見一名・踏瀬村・大和久村・太田川村庄屋各一名 寺西直次郎様御手代斎藤弥市郎殿・斎藤騏助殿 天保一五年四月/拾七人惣代三名奥書	堅紙	一通	二一三
済口一札之事(喧嘩の済口証文) 小田川村仲藏・同相手源藏外二名 ふま七村名左衛門殿・太田川村弥次右衛門殿 弘化三年五月/長百姓金兵衛外四名奥書	堅紙	一通	二一四

詫書 一札之事 (村寄合での酒狂口論の件に付詫書) 小田川村文七外四名 御役元様 弘化五年三月

吉岡村と川原田村外式ケ村江掛候一件取扱候諸書付控 (用水争論) 箭内 安政六年三月

(吉岡村と川原田村外二ヶ村との用水争論関係文書) 安政六年

1 (論所絵図面等綴) 吉岡村七名・川原田村九名・赤羽村四名・新屋敷村三名 下野出嶋村庄屋啓蔵殿外三名 安政六年四月

2 扱人見込之事  
3 (用水争論内済に付仮議(定書)) 訴答村々惣代・組頭・庄屋 扱人宛 安政六年四月

4 扱人見込之覚  
5 差上申御請書之事 (争論中仮普請許可に付請書) 吉岡村百姓代弥蔵外一名 寺社御奉行所様 午七月朔日

6 (二件に付出頭命令書) (大竹左馬太郎手代) 小林権六 踏瀬村庄屋名左衛門殿・滑津村同半蔵殿 未三月一八日

仮議定之事 (白川郡吉岡村と同郡川原田村外二ヶ村の用水出入内済に付) 白川郡川原田村九名・石川郡赤羽村四名・同郡新屋敷村三名・白川郡吉岡村七名 御取扱箭内名左衛門殿外三名 安政六年四月

川原田村御役人中宛取扱人四名奥書

(吉岡村と川原田村外二ヶ村との用水出入内済に付仮議(定書)) (前欠) 白川郡吉岡村七名・同郡川原田村九名・石川郡赤羽村四名・同郡新屋敷村三名 下野出嶋村庄屋啓作殿外三名 安政六年四月

川原田村御役人中宛取扱人四名奥書

奉差上内済証文之事 (太田川村庄屋等不正出入内済証文) 小前惣代六名・長百姓二名・相手方庄屋一名・小前惣代二名・取扱人三名 塙御役所 (宛) 安政六年五月

縦紙 一通 三〇四

横長半折 一冊 二七九

包紙入 一括 二〇五

横長美 一冊 二〇五

横長美 一冊 二〇五

折紙 一通 二〇五

縦紙 一通 二〇五

包紙入 一通 二〇五

横切縦紙 一通 二〇五

縦紙 一通 三〇六

縦紙 一通 三〇六

縦紙 一通 二〇六

吉岡村と川原田村外式ケ村江相掛候出入済口証文写 (用水争論) 取扱人箭内 安政六年八月

乍恐以書付御吟味下奉願上候 (兵三郎外一名の持山伐木一件内済に付吟味下げ願書) 白川郡太田川村庄屋兵三郎・百姓仙右衛門・問屋弥次右衛門・外百姓四名・役人惣代・取扱人 塙御役所 (宛) 万延元年六月

済口一札之事 (須乗村・三城目村秣場一件につき済口証文) 三城目村・須乗村・同新田村各村庄屋・組頭・長百姓・惣代計二二名 扱人踏瀬宿箭内名左右衛門殿・同中畑新田宿小針彦治殿 文久元年一〇月

済口一札之事 (須乗村・三城目村秣場一件につき済口証文) 三城目村・須乗村・同新田村各村庄屋・組頭・長百姓・惣代計二二名 扱人踏瀬宿箭内名左右衛門殿・同中畑新田宿小針彦治殿 文久元年一〇月

済口一札之事 (須乗村・三城目村秣場一件につき済口証文) 三城目村・須乗村・同新田村各村庄屋・組頭・長百姓・惣代計二二名 扱人踏瀬宿箭内名左右衛門殿・同中畑新田宿小針彦治殿 文久元年一〇月

乍恐以書付奉願上候 (須乗村・同新田村と三城目村の秣場出入内済につき願書) 白川郡須乗村・同新田村小前惣代一名・長百姓二名・組頭二名・庄屋二名・踏瀬村取扱人庄屋箭内名左衛門 塙御役所 (宛) 文久元年一二月

拝借証文之事 (村方難渋者共取賄金拝借) 白川領白川郡松倉村組頭久兵衛・同与左衛門・庄屋敬之助・加判人箭内名左衛門 小田川宿御出役中村貞之助様 元治元年一二月

拝借証文之事 (村方難渋者共取賄金拝借) 当御支配所石川郡上川辺村百姓代丈之助・組頭忠次右衛門・加判人箭内名左衛門 小田川宿御出役中村貞之助様 元治元年一二月

拝借証文之事 (村方難渋者共取賄金拝借) 石川郡中畑村百姓代高蔵・組頭常八・加判人箭内名左衛門 小田川宿御出役中村貞之助様 元治元年一二月

横長美 一冊 二七九

縦紙 一通 二三

縦紙 一通 二〇五

縦紙 一通 二〇五

縦紙 一通 二〇五

縦紙 一通 二〇五

縦紙 一通 二〇五

縦紙 一通 二〇五

縦紙 一通 二〇五

縦紙 一通 二〇五

縦紙 一通 二〇五

縦紙 一通 二〇五

縦紙 一通 二〇五

拝借仕金子之事(村方難渋もの共取賄金拝借)  
当御支配所石川郡下川部村与頭庄兵衛・長百姓孫左衛門・同治兵衛・加判人箭内名左衛門 小田川宿御出役中村貞之助様 元治元年一二月

包紙入 一通 三三五  
縦紙

差出申一札之事(白川郡真木の村の者共御吟味用捨願書)〔下書〕歎願人当テ 慶応二年四月

縦紙 一通 二〇六

坂の下騒動一件諸書留 箭内 慶応二年四月

横美半折 一冊 三六三

植田村騒立一件諸書留 箭内 慶応二年四月

半 一冊 二六四

(吟味中入牢・村預ケの者等名面書上帳) (慶応二年)

横美半折 一冊 三五〇

乍恐以書附御届奉申上候 (白川郡鎌田村百姓吉蔵方より出火に付届書)

縦紙 一通 三三三

(吉蔵方より出火の件に付書付)〔前後欠〕

縦紙 一通 二七五十二

戸口

亡祖父<sup>ら</sup>当代三代目戸籍書抜 大六<sup>マ</sup>大区一小区 踏瀬村 明治五年一月

横美半折 一冊 三九三

寺社

慈眼寺

祠堂金貸附帳 慈眼寺・村役人取扱 嘉永五年六月

横長美 一冊 三九〇

祠堂金貸附仕分ケ 踏瀬村 (嘉永五年六月)

袋入 一綴 三九二

借地証文之事 (慈眼寺境内借地) 借用人徳十外二名 慈眼寺様 元治元年三月/箭内名左衛門外四名奥書

横切紙 一通 三三六

差出申老札之事 (踏瀬村徳印一件に付請状) 当村慈眼寺・請人松倉村宝蔵院 村御役人衆中并二同人中衆中 (宛) 明治五年七月

包紙入 一通 三三〇

(文禄四年の慈眼寺観音堂再建のための勸進状及び奉加帳の写綴)

一綴 二四五

村内諸寺社

※(慈眼寺・熊野神社境内図綴) (明治八、同一一年)

一綴 二六〇 (七鋪)

村外諸寺社

陰徳講仕法覚(伊勢参宮者援助仕法) 仙台志田郡三本木町検断手代木甚七郎外七名 天保九年四月

横長美 一冊 三三六

□鑿□代参講中帳 □野口神主□藤老岐守

半 一冊 三三七

踏瀬小学

(小学第九校世話方兼務任命書) 第十三区会所 踏瀬村用掛箭内名左衛門(宛) 明治七年七月二十八日

包紙入 一通 二五七二  
横切紙

学校御取設課金帳 学校世話役兼務箭内 明治七年八月

横長美 一冊 二四八三

学校入費控帳 学校世話役 明治七年九月

横長美 一冊 二四八四

学校世話方心得〔雛形〕 (明治七年)

半 一冊 二四八五



学校費取調書上帳 踏瀬村学校世話方丸山鹿蔵・  
学校兼務什長箭内名左衛門・大和久村学校世話方阿  
部好之助・学校兼務什長芳賀市右衛門 第十三区会  
所学校御掛御中(宛) 明治八年二月

横長美 二冊 二四六

(学校費用取調に付通達及び小学経費書上雛形)  
第十三区会所 踏瀬学校世話方中(宛) 明治八  
年七月八日

一綴 (二通) 二四六

第十三区磐城国白河郡第百九十一番踏瀬小学  
経費書上 学校世話掛箭内名左衛門外二名 福島  
県令安場保和殿 明治八年七月

折紙 一通 二四九

記(学校関係経費書上帳) 大和久村世話方阿辺  
好之助・同兼用掛芳賀市右衛門・踏瀬村世話方丸山  
勇次郎・同兼用掛箭内名左衛門 第十三区会所学務  
係御中(宛) (明治) 八年九月

横長美 一冊 二五四七四

(学費取立方規則) 明治八年一〇月三三

半 一冊 二四九

(第百九十一番踏瀬小学校出納掛兼任任命書) 第  
十三区会所 箭内名左衛門(宛) 明治八年一〇月  
二三日

包紙入 横切紙 一通 二五七三

学田小作証 踏瀬村小作人佐川林平・白岩官右衛  
門・箭内清八・什長諸人白岩利八 第十三区御会所  
(宛) 明治八年一二月七日

美 一冊 五九七

(教材費等学校関係諸経費書上綴) (明治八年)

一綴 (二冊八通) 二四六

(学費取調書上等級) (明治八年・同二三年)

一綴 (二通) 二四二

明治八年七月五十二月マテ学資金御委託金外  
遺払勘定帳 学校世話掛箭内名左衛門 明治九年  
一月

横長美 一冊 二四六

第九区会所小学世話方書付 (明治) 九年七月  
二六日

包紙入 二通 二五七一

1(太田川小学世話方出納兼任任命書) 福島県  
第九区会所 箭内名左衛門(宛) 明治九年七  
月

横切紙 一通

2(手数料支給通知書) 第九区会処 石射兵  
三郎・小針吉之助・箭内名左衛門・佐川林平  
(宛) 明治九年七月

横切紙 一通

\* (踏瀬村学費一軒別割賦帳) 第九区会所 踏瀬  
村用掛中(宛) 明治九年九月六日

半 一冊 二四一三

記(学校関係経費書上帳) (亥)

横長美 一冊 二五四七二

(学費一人別割賦帳カ)

横長美 一冊 二五四七一

記(学校関係経費書上帳)

横長美 一冊 二五四七三

学事議案(第九区学事會議議案)

半 一冊 二五四八

## 庄屋兼帶諸村

## 踏瀬新田村

### 年貢諸役・村入用

定 免

※乍恐以書付奉願上候(踏瀬新田村・拾軒新田・  
七軒新田定免年季繼願書) 踏瀬新田村百姓惣代  
幸七外二名 塙御役所(宛) 慶応四年二月

包紙入 縦紙 一通 二七四〇一

※乍恐以書付奉願上候(踏瀬新田村・拾軒新田・  
七軒新田定免年季繼願書) 拾軒新田百姓惣代留  
藏外二名 塙御役所(宛) 慶応四年二月

縦紙 一通 二七四〇二

村 政

口上書(踏瀬新田をめぐる太田川村との争論につき踏瀬村口上書)(踏瀬新田由来書上あり)	美	一冊	三
踏瀬新田 寛保元年九月			
差出申一札之事(喜三郎三ツ屋に借家に付請状) 家貸主佐与次郎外六名 御役元様 天保四年三月	豎綴紙	一通	三七
指上申一札之事(三ツ屋店借喜三郎法度違背の件有免願書) 組合市郎次外七名 御役元様 天保四年一〇月	豎紙	一通	三翌
田畑年季質入証文之事 質入主四ツや幸吉外二名 渡部新蔵様 天保四年二月	豎綴紙	一通	三六
乍恐以書付奉願上候事(田地水掛りをめぐる長兵衛との出入に付願書) 新田願人仙蔵外二名 天保五年四月	豎綴紙	一通	三〇
田地年季質入証文之事 踏瀬新田彦七外二名 渡部新蔵殿 天保五年二月	豎紙	一通	三九
田畑年季質入証文之事 質入主四ツや幸吉外三名 岩崎渡辺新蔵殿 天保八年四月	豎紙	一通	三〇
田畑年季質入証文之事 踏瀬新田四ツや直四郎外一名 岩崎坂本屋新蔵殿 天保八年五月/組頭利八奥書	豎紙	一通	三三
乍恐以書付奉願上候(踏瀬新田村内新蔵質取地の年貢不納をめぐる争論に付願書) 泉崎村新蔵・庄屋伝七 白川御役所(宛) 子(天保一一年九) 五月	一綴	一通	三五

乍恐以書付奉願上候(踏瀬新田村直四郎外二人と泉崎村新蔵との質地出入に付申上書) 踏瀬新田村庄屋兼帯名左衛門 塙御役所(宛) 天保一一年六月	豎綴紙	一通	七
乍恐以書付奉願上候(踏瀬新田村百姓直四郎外二名と泉崎村新蔵との質地出入に付新蔵返答書) 泉崎村新蔵・庄屋伝七 白川御役所(宛) 子(天保一一年九) 八月	横長美	一冊	五九三
乍恐以書付奉願上候(踏瀬新田村百姓三名高拔質地の年貢不納に付願書) 右村 踏瀬新田村兼帯踏瀬村庄屋名左衛門 塙御役所(宛) 天保一一年一〇月	豎綴紙	一通	三三三
乍恐以書付奉願上候(踏瀬新田村直四郎外二人と泉崎村新蔵との質地出入に付吟味猶予願書) 踏瀬村組頭理八・庄屋名左衛門 塙御役所(宛) 天保一一年一二月	豎紙	一通	九
取究申一札之事(質地出入内済につき取究書) 箭内名左衛門・渡辺新蔵 芳賀市右衛門殿・船木龍助殿 天保一一年一二月	豎紙	一通	五三
乍恐以書付奉願上候(六九の件で内済成立に付吟味有免願書) 下書 踏瀬村庄屋名左衛門・取嘆人大和久村庄屋市右衛門・久田野村庄屋龍助 塙御役所(宛) 天保一一年一二月	豎綴紙	一通	七
熟談内済一札之事(踏瀬新田村百姓直四郎外二名の質入地の年貢をめぐる出入の内済証文) 右村(踏瀬新田村) 兼帯踏瀬村庄屋箭内名左衛門 泉崎村渡部新蔵殿 天保一一年一二月	豎綴紙	一通	三六四

十 軒 新 田 村

土 地

土地書上・地租改正

田畑荒地絵図 拾軒新田村什長鈴木留蔵・用掛箭内名左衛門・戸長佐藤勇右衛門 福島県令安場保和殿・福島県参事山吉盛典殿 明治七年四月

美 一冊 二七九六

田畑荒地絵図 十軒新田村什長鈴木留蔵・用掛箭内名左衛門・戸長佐藤勇右衛門 福島県令安場保和殿・福島県参事山吉盛典殿 明治七年四月

美 一冊 二七九六

田畑荒地絵図 十軒新田村戸長代理書記根本虎次郎・用掛箭内名左衛門・什長鈴木留蔵 明治七年五月

美 一冊 二七九七

磐城国白河郡拾軒新田村等級合計帳 惣代矢内由右衛門・什長佐川林平・同白岩利八・用掛箭内名左衛門 福島県参事山吉盛典殿 明治九年七月

美 一冊 二四九四

(十軒新田村絵図一括)

五鋪 二九六二

(十軒新田村絵図)

三鋪 二九一二

(十軒新田村絵図一括)

六鋪 二九三二

年貢諸役・村入用

定 免

※乍恐以書付奉願上候(踏瀬新田村・拾軒新田・七軒新田定免年季継願書) 踏瀬新田村百姓惣代幸七外三名 塙御役所(宛) 慶応四年二月

包紙入 一 通 二七四〇一

※乍恐以書付奉願上候(踏瀬新田村・拾軒新田・七軒新田定免年季継願書) 拾軒新田百姓惣代留蔵外二名 塙御役所(宛) 慶応四年二月

堅紙 一 通 二七四〇二

村 政

乍恐以書付奉願上候(拾軒新田村と泉崎村との萱蒔場をめぐる争論につき願書) 拾軒新田惣百姓四人・兼帯庄屋 塙御役所(宛) 天保一一年七月

堅紙 一 通 六

内済為取替一札之事(拾軒新田と泉崎村との萱蒔場をめぐる争論の内済証文)(後欠) 拾軒新田百姓代角三郎 天保一二年二月

堅紙 一 通 七

借用仕金子之事 借用人十軒惣七外一名 大和久宿油屋武七殿 天保一三年三月/兼帯庄屋箭内名左衛門裏書

堅紙 一 通 三三三

七 軒 新 田 村

土 地

田畑荒地絵図 七軒新田村什長鈴木留蔵・用掛箭内名左衛門・戸長佐藤勇右衛門 福島県令安場保和殿・福島県参事山吉盛典殿 明治七年四月

美 一冊 二七九一三

田畑荒地絵図 七軒新田村什長鈴木留蔵・用掛箭内名左衛門・戸長佐藤勇右衛門 福島県令安場保和殿・福島県参事山吉盛典殿 明治七年四月

美 一冊 二七九一五

田畑荒地絵図 第一三区白河郡七軒新田村戸長代理書記根本虎次郎・用掛箭内名左衛門・什長鈴木留蔵 明治七年五月

美 一冊 二七九一四

(七軒新田村絵図一括)

五鋪 二九〇一三

(七軒新田村絵図)

二鋪 二九一三

(七軒新田村絵図一括)

六鋪 二九三三

年貢諸役・村入用

定 免

※乍恐以書付奉願上候(踏瀬新田村・拾軒新田・七軒新田定免年季繼願書) 踏瀬新田村百姓惣代幸七外三名 塙御役所(宛) 慶応四年二月

包紙入 一通 二七四一

※乍恐以書付奉願上候(踏瀬新田村・拾軒新田・七軒新田定免年季繼願書) 拾軒新田百姓惣代留蔵外一名 塙御役所(宛) 慶応四年二月

堅綴紙 一通 二七四〇二

村 政

差上申引当質地証文之事 七軒新田地主定十外二名 荒井清兵衛様塙御役所(宛) 嘉永二年二月

美大 一冊 三三四

議定為取替一札之事(七軒新田村と泉崎村の土地争論内済につき議定書)(下書)七軒新田百姓庄十・兼常庄屋名左衛門・取扱人白川郡白川町年寄常盤彦之助 泉崎村役人中(宛) 嘉永四年四月

堅綴紙 一通 五

差上申請書之事(七軒新田村・泉崎村地境争論内済につき請書) 高田御預所七軒新田村百姓長右衛門・兼常庄屋 白川御領熊田次郎右衛門(宛) 丑十一月

堅綴 一通 六

二 子 塚 村

村 政 諸 事

乍恐以書付奉歎上候(元二子塚村無宿吉蔵帰村許可願書) 吉蔵好身三名・組合三名・長百姓・組頭・庄屋・後見各一名 塙御役所(宛) 天保一年二月

堅綴紙 一通 二九一

添証文之事(二子塚村仲右衛門拝借金返済滞分名左衛門方にて引受ける旨一札) 踏瀬村庄屋名左衛門 篠旦那様 天保二年四月

堅綴 一通 三六三

乍恐以口上書御答奉申上候 (家出人駒吉立帰りの件吟味有免願書) 右村 (二子塚村) 無宿駒吉好身留吉外八名 塙内田良平様 天保二年八月	堅紙	一通	三三
乍恐以書付奉願上候 (二子塚村と松倉村との草茹取出入につき願書) 白川郡二子塚村百姓五名・長百姓一名・組頭二名・庄屋一名・後見一名 塙御役所 (宛) 弘化四年六月	堅紙	一通	三
御貸附拝借証文 (奥州道中宿々道橋修復手当貸附金拝借に付) 二子塚村質地主良助外五名 荒井清兵衛様塙御役所 (宛) 嘉永二年二月	美大	一冊	二七六
御貸附拝借証文 (奥州道中宿々道橋修復手当貸附金拝借に付) 二子塚村質地主良助外四名 大草太郎左衛門様塙御役所 (宛) 嘉永四年二月	美大	一冊	二七五・一 二七五・三綴
引当質地証文 (二七五・一の件に付) 二子塚村地主良助外四名 大草太郎左衛門様塙御役所 (宛) 嘉永四年二月	美大	一冊	二七五・二
御貸附拝借証文 (奥州道中宿々道橋修復手当貸附金拝借に付) 二子塚村質地主良助外四名 大草太郎左衛門様塙御役所 (宛) 嘉永五年二月	美大	一冊	二七五・三
二子塚村諸御用留 兼帯庄屋筋内名左衛門 嘉永七年四月ヨリ (文久二年一月)	横美半折	一冊	二七五
差出申一札之事 (欠落人亀吉帰村に付詫状) 二子塚村百姓亀吉外一名 兼帯御庄屋名左衛門殿・村御役人中 (宛) 安政二年二月	堅紙	一通	二〇七
乍恐以書付奉願上候 (二子塚村亀吉が困殺の際石入の俵を差出した件の吟味に付願書) 二子塚村百姓藤次外三三名 塙御役所 (宛) 安政二年二月	堅紙	一通	二〇七
相渡置一札之事 (二子塚村亀吉綿打稼以来差止める旨一札) 組頭亀藏・同勝藏・兼帯庄屋名左衛門 村方三拾老人江 (宛) 安政二年一月	横切紙	一通	三〇五

差上申一札之事 (自狂言手踊興行許可願書) 二子塚村惣小前亀治外九名 当村庄屋兼帯名左衛門殿 安政二年七月	堅紙	一通	二〇九
拝借仕年賦証文之事 (種駒二疋を三両で拝借に付) 右 (二子塚村) 拝借人久之丞外六名 駒付役小林仲右衛門殿 安政三年三月	堅紙	一通	二〇六
乍恐以書附奉願上候 (与十酒造株讓請に付添翰願書) 右願人 (二子塚村百姓) 与十・村役人惣代兼帯庄屋筋内名左衛門 塙御役所 (宛) 安政四年二月	堅紙	一通	一九〇
乍恐以書付奉願上候 (酒造株讓渡受許可願書) 白川郡白川天神町讓渡人吉兵衛・組頭又市・二子塚村讓請人與十・組頭源右衛門 小名浜御役所 (宛) 安政四年二月	堅紙	一通	一九〇
差上申一札之事 (磯松の急死は病死に間違いない旨一札) 二子塚村磯松女房つる外三名 村御役人中・兼帯庄屋筋内名左衛門殿・滑津村庄屋立合人野木半藏殿 安政五年四月	包紙入 堅紙	一通	二〇四
(二子塚村絵図) 二子塚村庄屋兼帯筋内名左衛門外三名 安政五年七月	36X10B	一鋪	二九四・一四
乍恐口上書以申上候御事 (二子塚村庄屋伊右衛門非分あるに付庄屋退役・隠居仰付られたい旨訴状) 二子塚村百姓小右衛門外六名 御代官所様 西八月	堅紙	一通	五七
差上申一札之事 (白川郡二子塚村家出人亀吉この度帰村に付詫書) (後欠)	堅紙	一通	二二四



踏瀬村(明治一〇年以降)

土地

地租改正

記(地租改正諸入費書上) 明治七年七月

折紙 一通 二五七五

磐城国白河郡踏瀬村等級合計帳 惣代矢内由右衛門・仕長佐川林平・同白岩利八・用掛箭内名左衛門 福島県参事山吉盛典殿 明治九年七月

美 一冊 二四五

覚(学カ、ママ)費差引帳 村方地価金控帳

横長美 一冊 一八六

踏瀬村 明治一〇年一二月

(官・民有地区分図)

一綴(八鋪) 二〇三

※(踏瀬村絵図・地籍図等一括)

五通五鋪 二九二

官有地・公有地・村有地

抵当之証(村受公有地を抵当に入れるに付) 踏瀬村惣代用掛箭内名左衛門 一本松製糸会社取締安斎卯兵衛殿・山田脩殿 明治八年五月二七日/戸長小針六左衛門奥書

美 一冊 一八六

証書一札(村受公有地引当の借金に付一札) 村惣代人佐川林右衛門・同箭内清八 村御役人衆中

堅紙 一通 三七七

(宛) 明治一〇年三月八日

租税・村費

明治十七季度前半期地方税備荒儲蓄金賦課徴収簿 西白河郡太田川村組踏瀬村 明治一七年六月

横長美 一冊 二五八一

(学費・区費一人別割合等綴)

一綴 二五〇

支配

通達・規則

(県・郡からの通達類等一括) (明治一〇年)同(一六年)

一通 二六〇九

式番御達書留帳 用掛所 明治一一年一〇月(同(一三年四月))

横長美 一冊 一六六

県乙第号留(板) 戸長役場 明治一二年四月(一二二)

一綴 二九四

徴兵令・徴兵令改正取扱方・徴兵事務條例(板) 明治一二年

半小 一冊 二九五

西白河郡養蚕試験備考書 西白河郡役所勸業課(明治) 一三年四月一五日

半 一冊 二七六

師範学科試験規則(板) 福島県令山吉盛典 明治一三年九月一日

半小 一冊 二四〇九

開成山農学校諸規則(板) (明治一七年)

半小 一冊 二五九

(明治期の通達・規則)

一括 二九六

(明治期の規則・通達)

一括 二九六

徴兵

\*国民軍相当之者上申〔軍籍に入るべき適齡者七名の届出を受けての上申書〕 西白河郡太田川踏瀬村戸長箭内名左衛門 西白河郡長龜卦川尚辰殿 明治一四年九月一四日

一綴 三七四

村政

選挙

〔踏瀬村村会議員選挙関係書類〕

包紙入一冊 通綴 六〇五

村政諸事

年賦証文之事〔借用金年賦返済に付〕 借主箭内清八外一名 村佐々木平右衛門殿 明治一〇年旧一〇月

縦紙 一通 一三四〇一

年賦証文之事〔借用金年賦返済に付〕 借主箭内六左衛門外一名 村佐々木平右衛門殿 明治一〇年一二月

縦紙 一通 一三四〇二

明治十年十二月ヨリ同十一年三月迄繰替宿村通送差添入人費明細調 踏瀬村用掛箭内名左衛門 第九区々長荒川留七殿 明治一一年六月二六日

縦紙 一通 一三九元

〔営業願等綴〕 明治一一年

一綴 一七五二

争論地縁由御尋ニ付左奉申上候〔踏瀬村・泉崎村境界不分明に付上申書〕 元第九区白河郡踏瀬村総代矢内由右衛門・同石川庄右衛門・仕長佐川林平・同白岩利八・用掛箭内名左衛門 福島県地租改正掛御中〔宛〕 明治一二年一月

〔一冊一綴〕 五十一

争論地縁由御尋ニ付左奉申上候〔踏瀬村・中新城村境界不分明に付上申書〕 元第九区白河郡踏瀬村総代矢内由右衛門・同石川庄右衛門・仕長佐川林平・同白岩利八・用掛箭内名左衛門 福島県地租改正掛御中〔宛〕 明治一二年一月

〔二冊一綴〕 五十二

〔踏瀬村普通物産表・馬籍表等綴〕 踏瀬村旧用掛箭内名左衛門 西白河郡長龜卦川尚辰殿 明治一二年三月

一綴 一七五三

通送人旅費人足賃金取調書 太田川踏瀬戸長役場控 明治一二年四月一同一三年五月

横長美 一冊 一七四七

○酒類受小売願〔営業許可願書〕 右〔西白河郡太田川村四拾四番地〕橋本忠兵衛・右村戸長箭内名左衛門 西白河郡長龜卦川尚辰殿 明治一二年六月一七日 西白河郡長龜卦川尚辰朱筆奥書

美 一冊 一八八三

○磐城国西白河郡太田川村溝井安五郎身代限財産調 西白河郡太田川村農業被告人溝井安五郎・岩代国岩瀬郡畑田村農業原告人磯貝金五郎外二名 福島裁判所管内白河区裁判所御中〔宛〕 明治一二年八月五日

美 一冊 二三三

○磐城国西白河郡太田川村溝井安五郎財産調 西白河郡太田川村被告人溝井安五郎代理同村逸見竹藏・岩代国岩瀬郡畑田村平民農原告人磯貝金五郎外二名 明治一二年八月七日

美 一冊 二三七

○磐城国西白河郡太田川村溝井安五郎財産調〔控〕 西白河郡太田川村平民農被告人溝井安五郎代理同村逸見竹藏・岩代国岩瀬郡畑田村平民農原告人磯貝金五郎外二名 明治一二年八月七日

美 一冊 二三九

○馬喰営業願 右〔西白河郡太田川村〕願人小林清次・戸長代理用保邊辺庫太 西白河郡長龜卦川尚辰殿 明治一二年一〇月二七日

縦紙 一通 二〇五七

西白河郡踏瀬村須藤直藏財産調〔身代限に付、戸長役場控〕 踏瀬村被告人平民農須藤直藏外三名 西白河郡役所〔宛〕 明治一二年二月六日

半 一冊 二六九四

營業願(鶏卵行商) 右願人渡邊新吾外二名 西白河郡長龜掛川尚辰殿 明治一二年二月一日/龜掛川尚辰奥書 一冊 二五四 縦紙

○(借金返済滞訴訟関係書留) (明治一二年一同一三年) 横美半折 一冊 三三四

記(金口受取証) 右村(踏瀬村) 旧什長佐川林平・同白岩利八 西白河郡役所御中(宛) 明治一三年一月 一冊 三三二 縦紙

(収蘭届綴) (踏瀬村民の蘭取揚高の太田川戸長役場への報告書) 明治一三年七月一日 一綴 二九七

○(荷車検印願及びそれに対する西白河郡長の回答書) 明治一三年 一綴(一通) 二四六

福島県産馬会社明治十三年総勘定実際報告(板) 明治一四年二月 半小 一冊 二九八

代人願(箭内熊蔵よりの貸金催促一件につき代人を出頭させたい旨願書)(下書) 踏瀬村字踏瀬六番地平民農業 明治一四年三月 一冊 三七三 縦紙

岩城国西白河郡踏瀬村箭内富吉身代限二付財産調 踏瀬村平民農被告人箭内富吉・西白河郡白河町平民原告人遠藤與吉外二名 明治一四年六月三日 半 一冊 三四〇

磐城国西白河郡踏瀬村白石卯三郎身代限財産調 踏瀬村平民農被告人白石卯三郎・西白河郡白河町平民遠藤與吉 明治一四年九月二三日 美 一冊 三四一

磐城国西白河郡踏瀬村村上重美身代限二付財産調(控) 踏瀬村被告人村上重美不在二付石川卯之吉・同村平民農原告人箭内熊蔵 明治一四年九月二三日 美 一冊 三四二

道路費御下ケ二付渡帳 踏瀬村総代五十嵐好蔵・丸山祐二郎 明治一四年九月 横長美 一冊 二七五

(踏瀬村戸長が静岡県士族高橋甫と詐称した男に宿村通送費等詐取された件に付通告) 仙台裁判所 踏瀬村戸長(宛) 明治一四年一〇月二六日 一冊 三三九 縦紙

記(道路修復に付御下金受取書) 西白河郡役所地理課御中(宛) 明治一四年一〇月 一冊 二七四 縦紙

(太田川村踏瀬村道標箇所御届等) 明治一四年二月 一冊 一七六 美

(鉄道会社創立・株金募集関係書類一括) (明治一四年一同一五年) 一括(一通) 一四一

身代限財産調(貸金訴訟に付) (明治一四年以降) 美 一冊 二〇

○証(旅費受取証) 太田川村戸長箭内名左衛門西白河郡長龜掛川尚辰殿 明治一五年二月二八日 一冊 三三六 縦紙

鎮守祭典ニ附買俳優華請 箭内 明治一五年旧九月 一冊 二六六 横長美

借用年賦金証書 借用人丸山梅蔵外一名 村惣代御中(宛) 明治一七年二月三日 一冊 二六三 縦紙

祭典ニ附俳優華受納 箭内氏 明治一七年旧八月二五日 一冊 二五三 横長美

道路修繕正人夫外数調 道路世話掛 明治一七年八月 一冊 二七三 横長美

大字踏瀬共有金預り帳 箭内氏 明治三六年改 一冊 二八〇 半

鉄道株金募集ノ人名 横長美 一冊 二四四

水先料一覧表(板) 縦紙 一通 一七五〇

# 踏瀬小学

明治十年分学費半高見積割 第九区会所 用掛・ 什長中(宛) 明治一〇年二月一四日	一綴	二五〇一
入贅生徒留 百八十一番太田川出張小学 明治一 〇年三月	半	一冊 二四九七
日記(諸規定集) 太田川分疊踏瀬小学 明治一〇 年三月	半	一冊 二四九八
生徒出席簿 太田川小学出張 明治一〇年三月ヨ	美	一冊 二四九九
校費取調簿 踏瀬村学校世話方佐川林平 第九区 学区取締有江之徳殿 (明治一〇年一〇月二七日)	美	一冊 二五〇〇
学費差引帳 什長控 明治一〇年旧十二月	横長美	一冊 二五〇一
(踏瀬小学生徒出席記録) 踏瀬小学教員田代邦 教 第九区学区取締有江之徳殿 (明治一一年二月 二日一三月五日)	美	一冊 二五〇三
(教育大会議開催につき建議書提出等の件通知) 太田川校々伴九兵衛 踏瀬分校田代邦教殿 明治 一一年五月一五日	縦紙	一通 六〇三
(学費を納入すべき旨通達) 第九区々長代り戸 長橋本庸行 踏瀬村用掛中(宛) 明治一一年八月一 日	縦紙	一通 二四一
勤惰簿(生徒出席簿) 第百八十一番踏瀬分校小学 明治一二年一月ヨリ	半	一冊 二五〇四
通常事物問答(各種問答集) 踏瀬分校 明治一 二年一月二日	半	一冊 二五〇五
学費之通 踏瀬村小学 明治一二年三月	横長半折	一冊 二五〇六

書籍器械記載簿 元踏瀬分校教員田代邦教 学校 世話係白岩利八殿・佐川林平殿 明治一二年九月七 日	美	一冊 二五〇七
明治一二年十一月学齡ノ者調 世話係佐川林平・ 同白岩利八・戸長箭内名左衛門 西白河郡長龜掛川 尚辰殿 明治一二年十一月二三日	半	一冊 二五〇九
(学校関係通達等綴) (明治一二年一同一五年)	一綴	二五〇八
学校之儀ニ付願(踏瀬分校を太田川小学より独立 させてほしい旨願書) 踏瀬村総代鈴木仙右衛門・ 矢内由右衛門・世話係佐川林平・白岩利八・戸長箭 内名左衛門 西白河郡長龜掛川尚辰殿 明治一三年 四月二三日ノ龜掛川尚辰奥書	美	一冊 二五〇〇
本校引直願 踏瀬村学校係佐川林平・同白岩利八・ 戸長箭内名左衛門 福島県令山吉盛典殿 明治一三 年六月二日	美	一冊 二五〇三
(踏瀬分校を本校にしてほしい旨願書等綴) 踏瀬村学校係佐川林平・同白岩利八・戸長箭内名左 衛門 福島県令山吉盛典殿 明治一三年六月	一綴	二五〇二
引渡目録(書類引渡) 西白河郡役所学務課郡書記 渡邊義路・郡書記廣居信敬 太田川小学学区学務委員 丸山祐次郎殿 明治一三年七月二日	美	一冊 二五〇四
演説書(踏瀬村学資未納金督促に付演説書) 西白河郡役所学務課郡書記渡邊義路・郡書記廣居信 敬 太田川小学学区学務委員丸山祐次郎殿 明治一三 年七月二日	縦紙	一通 二五〇八
小学補助金請払仕訳書 西白河郡役所学務課 (明治一三年七月)	半	一冊 二五〇五
十三年学資請払仕訳書 西白河郡役所学務課 明治一三年七月	半	一冊 二五〇六
(学区分合願・教員任命書等綴) (明治一三年 八月一九月)	一綴	二五〇八

明治十三年自一月至六月学資遺払証書 踏瀬分校 (明治一三年)	一綴	二五三
諸品之通 踏瀬小学 明治一四年一月	一冊	二五九
踏瀬村公立小学イロハ分名簿 (生徒名簿) 明治一四年七月一日	一冊	二五〇
踏瀬村学児童姓名簿 明治一四年七月一日(同年一二月二日)	一冊	二五三
踏瀬小学々費出納月計簿 明治一四年七月(同年二月)	半	一冊 二五三
西白河郡踏瀬小学明治十四年自一月至六月学資遺払勘定表(明治十三年一月(六月小学補助金遺払勘定表もあり) 学務委員白岩利八・戸長箭内名左衛門 西白河郡長亀卦川尚辰殿 明治一四年九月)	横長美	一冊 二五三
踏瀬村学児童姓名簿 明治一五年一月一日(同年一二月二日)	美	一冊 二七六
証(太田川小学校在来の品物仮引渡証) 元太田川小学校在勤津九兵衛 戸長学務委員代理箭内名左衛門殿 明治一五年三月八日	豎紙	一通 二五四 二五五、三綴
証(校備現在の書籍器械請取証) 深谷久内 戸長箭内名左衛門殿 明治一五年三月八日	豎紙	一通 二五四
踏瀬小学新築寄附金人名簿 踏瀬小学新築世話人 明治一五年四月	美	一冊 二五五 二五五、三綴
踏瀬小学新築目論見帳 踏瀬小学新築世話人 明治一五年四月	美	一冊 二五五
寄附金預ケ帳(武藤氏寄附金) 明治一五年四月ヨリ(同年九月まで)	横長半折	一冊 二四八
踏瀬小学校新築之儀ニ付上申(踏瀬村々会決議案・本県小学校建築規則第一条目取調書・踏瀬小学校建築図が添付) 踏瀬村戸長石射信之助 福島県令三島通庸殿 明治一五年五月一七日(西白河郡長荒賀直哉及び三島通庸代理福島県少書記官村上楯朝奥書		一綴 二五八
(踏瀬学校費出納調等綴) 旧戸長箭内名左衛門 学務委員白岩利八殿 明治一五年五月		一綴 二五八
学校新築寄附金并酒貸控 箭内 明治一五年五月	横長半折	一冊 二五七
諸品通 西白河郡踏瀬小学 明治一五年一〇月	横長半折	一冊 二五九
踏瀬村学齡簿 明治一六年一月一日(同年一二月三十一日)	美	一冊 二五八
教員月給并校費渡方 学務委員箭内 明治一六年一月(	横長半折	一冊 二五三
当校教員工諸品并内貸書抜 踏瀬小学校学務委員控 明治一六年一月(	横長半折	一冊 二五五
明治十五年度学事表(生徒出席日数等調査表)		一綴 二五三
西白河郡踏瀬小学校 明治一六年二月一日		
西白河郡踏瀬小学校調査具状 踏瀬学務委員箭内名左衛門 西白河郡長荒賀直哉殿 明治一六年三月三十一日	半	一冊 二五四
西白河郡踏瀬小学校調査具状 踏瀬小学々務委員箭内名左衛門 西白河郡長荒賀直哉殿 明治一六年三月三十一日	半	一冊 二五七
拾六年度前半期学費徴収 踏瀬村在勤用係 明治一六年一〇月	横長美	一冊 二五八 二五八、二
西白河郡踏瀬小学出納月計簿 踏瀬小学校 (明治一六年)	美	一冊 二五〇

(踏瀬小学校学費出納月計簿) (明治一六年)

(学校関係経費書上帳) (明治一七年)

生徒出席簿 西白河郡第八番学区踏瀬初等(小学)校 明治一八年九月

初等科第五級教授筆記 西白河郡第八番学区踏瀬小学校 明治一八年二月

初等科第四級教授筆記 西白河郡第八番学区踏瀬小学校 明治一八年二月

生徒出席簿 西白河郡第八番学区踏瀬小学校 明治一八年二月

記(学校関係経費書上帳) (亥一〇月八日)

記(学校関係経費書上帳) (亥)

記(学校関係経費書上帳) 踏瀬村学校世話方丸山祐次郎・同兼用掛箭内名左衛門・大和久村同阿部好之助・同兼用掛芳賀市右衛門 第十三区会処学務掛御中(宛) (亥)

記(学校関係経費書上帳) (亥)

記(学校関係経費書上帳) (亥)

記(学校関係経費書上帳) (亥)

箭内立替分(学校関係経費書上帳) (亥)

箭内引替(学校関係経費書上帳) (亥)

月次試験点検表 踏瀬小学校 八月一〇月

(踏瀬村学費一人別割賦帳)

(踏瀬村学費一人別割賦帳)

(小学校年末調査表) (記入なし)

## 踏瀬宿

### 宿勤

#### 往還御用留

往還御用留 箭内 安永八ノ享和元年

往還御用留 箭内 享和二年(弘化三年)

※諸御用記録 壹番 踏瀬宿箭内義直 文政四年七月(文政九年九月)

※諸御用記録 貳番 踏瀬宿箭内義直 文政九年九月(文政一三年四月)

※(諸御用記録) 三番 踏瀬宿箭内義直 (文政一三年五月) 天保八年二月

※御用書留帳 四番 箭内義直 天保八年二月(天保一二年二月)

※御用書留 五番 箭内義直 天保一二年二月(天保一五年八月)

※諸御用留帳 踏瀬宿 天保一二年五月(同二月)

往還諸御用記録 踏瀬宿検断問屋箭内名左衛門 天保一二年五月(文久元年)

※御用書留 六番 箭内義直 天保一五年九月(嘉永一二年正月)

一綴 二五九

美 一冊 一五七一

美 一冊 一五七二

横美半折 一冊 二七六

横美列 一冊 二七七

横美列 一冊 二七八

横美半折 一冊 二七九

横美半折 一冊 二八〇

横美 一冊 二八八

横美 一冊 二八九

横美半折 一冊 二九三

往還諸御用留帳 貳番 奥羽道中踏瀬宿 天保一五年一〇月	横長美 一冊 二六〇
※御用書留帳 踏瀬宿 弘化二年正月(弘化三年正月)	横長美 一冊 二六一
※御用書留 七番 箭内義直 嘉永二年正月(嘉永六年五月)	横美半折 一冊 二七三
(往還御用留) (嘉永三年同四年)	横長美 一冊 二四九
※御用書留 八番 踏瀬箭内氏 嘉永六年五月(安政三年三月)	横美半折 一冊 二七三
※諸御用記録 箭内義直 (安政三年正月慶応二年二月)	横美列 一冊 二七五
往還諸御用留帳 奥州道中踏瀬宿 安政五年正月	横長美 一冊 二六三
往還諸御用留帳 奥州道中踏瀬宿 安政六年一月	横長美 一冊 二六四
往還御用留 踏瀬宿検断所 文久三年正月	横長美 一冊 二六五
往還御用留 箭内 慶応元年一月(慶応四年九月)	横美半折 一冊 二六六
※諸御用記録(村方・宿方諸書留) 箭内義信 (慶応三年)	横小 一冊 二六八
※大宝恵(宿方村方諸事書留帳) 辰(慶応四年八月)(明治二年正月)	横美半折 一冊 二七六
官軍御用留 箭内 慶応四年八月(明治二年一〇月)	横美半折 一冊 二七六
※万間書 箭内 辰(明治元年) 八月(明治二年一〇月)	横美半折 一冊 三三六
往還御用留 踏瀬箭内義信 明治二年七月ヨリ(明治三年一二月)	横美半折 一冊 二七四
(宿駅関係等諸書留) (明治二年同三年)	横美半折 一冊 二九七
八ヶ宿御用留牒 ふま瀬宿之住人箭内氏 明治三年正月	横美半折 一冊 二七二
(往還御用留) (明治三年一〇月明治四年三月)	横長美 一冊 二七一
駅通御用留 陸羽道中箭内義信控 明治三年二月	半 一冊 二七三
往還御用記 箭内性 明治四年正月(明治六年七月)	横美半折 一冊 二七五
先 触	
(人馬先触) 松平陸奥守家来我妻市左衛門 藤田5千住迄駅々問屋役人衆中(宛) 子九月三日	横切継紙 一通 二七六
(仙台藩主参府に付先触並びに寄人馬割) 踏瀬宿検断箭内名左衛門外助合惣代庄屋二名 塙御役所(宛) 子一〇月朔日	横長美 一冊 二三五
(人馬先触) (前欠) 秋田家中石沢与惣左衛門・鈴木三之丞 丑二月	横切継紙 一通 二三六
覚(人馬先触) 上杉駿河守内片平左衛門 酉三月	小切紙 一通 二四四
御先触留帳	
(往還諸御先触留帳) (天保一五年)	横長美 一冊 二八〇
御用御先触留帳 踏瀬宿検断所 嘉永四年正月(嘉永五年一二月)	横長美 一冊 二六二
往還諸御先触留帳 奥州道中踏瀬宿 慶応二年正月	横長美 一冊 二六七
往還諸御先触留帳 陸羽道中踏瀬宿 明治四年正月	横長美 一冊 二七六

※(村方御用留と往還諸御先触留帳の合冊) (明治四年カ)

(往還諸御先触留帳) (子)	横長美	一冊	二三四
(往還諸御先触留帳)	横長美	一冊	二七〇
(往還諸御先触留帳)	横長美	一冊	二七五
(往還諸御先触留帳)	横長美	一冊	二七七
(往還諸御先触留帳)	横長美	一冊	二六七
日ノ帳			
登り武家方日ノ帳 踏瀬宿 天保一二年五月	横長美	一冊	二六五九
下り武家方日ノ帳 踏瀬宿 天保一二年五月	横長美	一冊	二六〇一 綴
下り武家方日ノ帳 奥州道中踏瀬宿 天保一二年八月	横長美	一冊	二六〇二
登武家方日ノ帳 奥州道中踏瀬宿 天保一二年八月	横長美	一冊	二六一
人馬日ノ高書上帳 踏瀬宿組頭理八・庄屋問屋名左衛門 天保一三年六月	美	一冊	二六二
人馬日ノ高書上帳 踏瀬宿組頭□八・庄屋問屋名左衛門 五街道御取締松井助左衛門様・田辺彦十郎様 天保一三年六月	美	一冊	二六三
下り武家方日ノ帳 踏瀬宿 天保一四年正月	横長美	一冊	二六四
登り武家方日ノ帳 奥州道中踏瀬宿 天保一五年正月	横長美	一冊	二六五
下り武家方日ノ帳 奥州道中踏瀬宿 弘化二年正月	横長美	一冊	二六六
登武家方日ノ帳 踏瀬宿 弘化五年正月	横長美	一冊	二六七

登武家方日ノ牒 奥州道中踏瀬宿 嘉永二年正月	横長美	一冊	一六八
日ノ帳寄月ノ寅(安政元年)	横長美	一冊	一五三
下武家方日ノ帳 奥州道中踏瀬宿 安政五年正月	横長美	一冊	一六九
登武家方日ノ牒 踏瀬宿 安政五年一〇月	横長美	一冊	一七〇
登り武家方日ノ帳 奥州道中踏瀬宿 安政七年正月	横長美	一冊	一七一
武家方繼立日ノ帳 踏瀬宿 文久二年二月	横長美	一冊	一七三
武家方□(日ノ帳) 文久四年正月	横長美	一冊	一七三
(松平美作守入国に付繼立人馬書上等) 文久四年二月八日	横長美	一冊	一四〇四
官軍御用人馬御繼立日ノ帳下り 踏瀬宿会所 慶応四年八月二十四日	横長美	一冊	一七四
官軍御用御繼立日ノ調 明治元年一月朔日ノ晦日	横長半	一冊	一七八
官軍御用上り御繼立日ノ帳 踏瀬宿会所 明治元年二月二七日	横長美	一冊	一七九
上り武家方日ノ帳 踏瀬宿 明治三年正月	横長美	一冊	一八〇
下り武家方日ノ帳 踏瀬宿 明治三年正月	横長美	一冊	一八一
津輕越中守様御下向ニ付御繼立人馬日ノ月一〇日	横長美	一冊	一四〇五
米沢様御繼立日ノ帳 二月五日	堅紙	一通	一四三
(日ノ帳) 箭内	横長美	一冊	一三七九
(武家方日ノ帳)	横長美	一冊	一六七六
(武家方日ノ帳)	横長美	一冊	一六八



(武家方日ノ帳)	横長美 一冊 一六〇	乍恐以書付奉願上候(当百文銭九六文通用仰せ付けられたい旨願書) 四ヶ宿 塙御役所(宛 万延元年)	堅紙 一通 一五〇
(武家方日ノ帳)	横長美 一冊 一六二	乍恐以書付奉願上候(根田宿より須賀川宿迄宿々惣代江戸出訴に付添翰願書) 当御支配所 小田川宿問屋平九郎外三ヶ宿問屋三名 塙御役所(宛 文久二年七月)	堅紙 一通 一五三
(武家方日ノ帳)	横長美 一冊 一六二	乍恐以書付奉願上候(人馬賃錢八割増願書) 当御支配所 小田川宿問屋平九郎外三ヶ宿問屋四名 清水孫次郎様塙御役所(宛 文久二年八月/文久二年十一月付塙御役所宛右四ヶ宿問屋添書)	堅紙 一通 一五〇
(人馬繼立方に付御差図願書)〔前後欠〕 小田川宿檢断平九郎外三ヶ宿檢断三名 嘉永元年六月	堅紙 一通 一五〇	乍恐以書付奉願上候(道中奉行所支配場同様の取扱方願書) 小田川宿檢断問屋平九郎外三ヶ宿檢断問屋三名 塙御役所(宛 嘉永四年一〇月)	堅紙 一通 一五〇
乍恐以書付奉願上候(宿定人馬遣弘高御下知願書) 小田川宿問屋平九郎外三ヶ宿問屋三名 嘉永四年三月	堅紙 一通 一五〇	乍恐以書付奉願上候(根田宿より須賀川宿迄宿々惣代江戸出訴に付添翰願書) 当御支配所 小田川宿問屋平九郎外三ヶ宿問屋四名 塙御役所(宛 文久二年閏八月四日)	堅紙 一通 一五三
乍恐以書付奉願上候(宿方悪路御修復願書) 踏瀬宿長百姓二名・組頭二名・庄屋一名(白川) 常盤彦之助殿 嘉永五年七月	堅紙 一通 一五〇	乍恐以書付奉願上候(一ヶ宿への助郷証文下付及び道中奉行支配願書) 脇往還奥州白川郡根田宿外拾ヶ宿役人惣代岩瀬郡須賀川宿問屋弥八郎外一名 神田橋酒井但馬守様御奉行所(宛 文久二年一〇月)	横長美 一冊 一五八
乍恐以書付奉願上候(人馬賃錢四割五分増願書) 小田川宿中十日繼立檢断平九郎外三ヶ宿檢断三名 塙御役所(宛 安政二年五月)	堅紙 一通 一五三	乍恐以書付奉願上候(繼立人馬賃錢八割増願書) 助郷惣代二名・小田川宿外三ヶ宿問屋四名 塙御役所(宛 文久二年二月)	包紙入 一通 一五八
乍恐以書付奉願上候(人馬賃錢四割五分増願書) 小田川宿中十日繼立檢断問屋平九郎外三ヶ宿檢断問屋三名 塙御役所(宛 安政二年六月)	堅紙 一通 一五三	乍恐以書付奉願上候(繼立人馬賃錢六割増願書) 小田川宿問屋平九郎外三ヶ宿問屋三名 塙御役所(宛 元治元年十一月)	包紙入 一通 一五八
乍恐書付ヲ以奉申上候(交通量増大による宿方難渋の救済願書) 奥州道中脇往還小田川宿外三ヶ宿檢断問屋四名 飯原祐左衛門様・町田正右衛門様 安政三年一二二月	堅紙 一通 一四六〇	乍恐以書付奉願上候(繼立人馬賃錢八割増願書) 小田川宿役人惣代庄屋問屋平九郎外三ヶ宿役人惣代四名 塙御役所(宛 元治元年十二月)	堅紙 一通 一五三
乍恐以書付奉願上候(小田川村外三ヶ村夫金・六尺給米・御蔵前入用三役免除願書) 小田川村長百姓喜平外一名 塙御役所(宛 万延元年四月)	堅紙 一通 一六三	乍恐以書付奉願上候(二百兩を出金し宿助郷人馬持立助成にしてほしい旨願書) 踏瀬村問屋筋内名左衛門 塙御役所(宛 元治二年二月)	堅紙 一通 一四六五

乍恐以書付奉願上候（宿助郷人馬持立助成金出金願書） 踏瀬宿問屋筋内名左衛門・同見習同保太郎 多田銃三郎様御役所（宛） 元治二年二月

堅紙紙 一通 一五五

乍恐以書附奉願上候（宿方買揚人馬賃錢に付願書） 右四ヶ宿役人惣代踏瀬宿問屋名主兼帶筋内名左衛門 多田銃三郎様御役所（宛） 慶応元年九月

包紙入 一通 一五五

乍恐以書付奉願上候（踏瀬宿繼立人馬不足に付願書） 踏瀬宿檢断問屋筋内名左衛門 民政御裁判所（宛） 辰（明治元年カ） 一一月

堅紙紙 一通 一四七

乍恐以書付奉願上候（助郷へ駄賃錢支払のため金子拝借願書） 小田川宿より笠石宿迄八ヶ宿役人一一名 塙御取締黒羽御役所（宛） 明治元年一一月

包紙入 一通 一五五

願書控（駅法改正に付宿々願書控） 箭内 明治三年三月

美 一冊 一四七

駅々歎願書（相對人馬繼会所新設に付駅々歎願書）（控） 根田駅外十一駅小前惣代・元メ役三十名 白河県駅通御役所（宛） 明治四年一一月

半 一冊 一四三

廢駅々一訃難決之件々嘆願 白河郡根田村外六ヶ村旧元メ八名 福島県令安場保和殿・福島県參事山吉盛典殿 明治五年一一月

美 一冊 一四三

覚（御雇人馬賃錢御払不足に付願書） 踏瀬宿問屋筋内保太郎 松前志摩守様道中御掛り伊藤達三様 丑一一月二二日

堅紙紙 一通 一五九

乍恐以書付奉願上候（上杉彈正大弼通行に付人馬割賦願書） 名左衛門 本庄市三郎様 卯四月二八日

横切紙 一通 一五九

乍恐以書付奉申上候（上杉彈正大弼通行に付人馬割賦願書） 名左衛門 本庄市三郎様 卯四月二九日

横切紙 一通 一五九

（用狀繼送願書） 二本松御伝馬処 杉田宿ら高倉宿迄宿々御伝馬処御詰合中様 巳一〇月六日

小切紙 一通 二四二

乍恐以書付奉願上候（八戸藩主通行延引に付御雇人馬御手当金下付願書） 踏瀬宿問屋筋内名左衛門 八戸御家中御雇人馬御仕切豊嶋大八様 戌三月二二日

堅紙 一通 二六〇

### 議定書

從氏家桑折迄申合帳（繼送に関する宿々定書） 御伝馬宿氏家平石六右衛門外三〇名 宝曆一〇年七月二六日

美大 一冊 二四三

議定書（繼送方宿々議定書） 日光道中千住宿ら奥州道中福島宿迄 天保四年四月

美 一冊 二四四

議定書之事（荷繼爭論に付宿々議定書） 天保五年六月七日

堅紙紙 一通 二四五

議定書之事（荷繼爭論に付宿々議定書） 矢吹宿入屋集会所 天保七年四月一〇日

堅紙 一通 二四五

御触書并議定書（荷物繼送り方に付） 日光道中千住宿 嘉永五年八月

半 一冊 二四七

煙草荷物運送并荷口議定 須賀川宿ら根田宿迄拾ヶ宿申合 文久二年閏八月

美 一冊 二六五

煙草荷物運送并荷口議定 須賀川宿ら根田宿迄拾ヶ宿申合 文久二年閏八月

横美半折 一冊 二六六

為取替申議定之事（京屋嶋屋よりの荷物駄賃に付） 京屋弥兵衛代市助・文吉・嶋屋佐右衛門代橋平・啓助 根田宿ら笠石宿迄宿々御問屋中様 元治二年四月

包紙入 一通 二四三

吉五郎一件

指上申一札之事(吉五郎喧嘩負傷の件に付口上書) 元仙台領石巻無宿吉五郎 踏瀬宿御役人衆中様・中畑新田宿御役人衆中様 文政二年五月九日 定夫頭吉兵衛奥書	堅紙	一通	二二〇一
差出申一札之事(吉五郎手負一件内済に付一札) 踏瀬宿問屋名左衛門 中畑新田御問屋六左衛門殿・同彦六殿 (文政二年) 五月一〇日	堅紙	一通	三三二一
差出申一札之事(定夫吉五郎手負一件に付以後難儀をかけない旨一札) 踏瀬宿検断名左衛門 白川御領中畑新田宿検断六左衛門殿・彦六殿 卯(文政二年) 五月一〇日	横切紙	一通	二七四一三
乍恐以書付御届奉申上候(手負の定夫吉五郎内済の上当宿部屋へ引取る旨届書) 踏瀬宿庄屋兼検断名左衛門 御預所御役所(宛) 文政二年五月一日	堅紙	一通	二二〇三
乍恐以書付御届奉申上候(吉五郎手負一件内済に付届書) 踏瀬宿庄屋兼検断名左衛門 御預所御役所(宛) 文政二年五月一日	堅紙	一通	三三二一
乍恐以書付御届奉申上候(吉五郎手負一件内済の上踏瀬宿部屋へ引取る旨届書) 踏瀬宿庄屋兼検断名左衛門 御預所御役所(宛) (文政二年) 五月一日	堅紙	一通	二七四二
一札之事(吉五郎手負一件の入用負担方法に付取替一札) 踏瀬宿箭内名左衛門外二名・中畑新田宿渡部六左衛門外四名 文政二年五月	堅紙	一通	三三二一
一札之事(吉五郎手負一件の入用負担方法に付取替一札) 中畑新田宿渡部六左衛門外四名・踏瀬宿箭内名左衛門外二名 文政二年五月	堅紙	一通	三三二二
指出申一札之事(吉五郎手負一件内済に付一札) 中畑新田宿検断小針彦六・同渡辺六左衛門箭内名左衛門殿 文政二年五月	堅紙	一通	二七四四

一札之事(手負の定夫治療報告書) 白川領泉崎村星順碩 高田御預所踏瀬宿箭内名左衛門殿 卯(文政二年) 五月

差上申一札之事(定夫吉五郎手負に付宿方には迷惑をかけない旨一札) 定夫頭吉兵衛 踏瀬宿御役人中様 (文政二年)

一札之事(吉五郎手負一件の入用負担方法に付取替一札) (下書) 宿惣代・役人(文政二年)

差出申一札之事(手負の吉五郎治療に付以後迷惑をかけない旨一札) 星順碩殿 (文政二年)

差出申一札之事(吉五郎の傷の様子の診断書)(後欠) (文政二年)

宿勤諸事

小附弁金取立帳 明和三年一〇月

安永七年戊五月二日仙台様御通り付人馬割安永七年五月

差上申一札之事(人馬継立に關して帳付役を打擲した件の詮証文) 戸沢富寿内松坂津右衛門外五名 踏瀬宿検断箭内名左衛門殿・太田川宿検断永戸市左衛門殿 寛政一二年閏四月三日

(継立人馬差配出情に付金百疋下付の書付) 竹藤右外三名 踏瀬村検断庄屋箭内名左衛門殿 文化二年五月二三日

覚(踏瀬宿継立人馬賃錢に付被仰渡書) 嶋田帶刀御役所 文政一〇年二月

差上申一札之事(口錢をめぐる口論の詮証文) 白川年貢町龍藏寺門末根田宿大藏寺 踏瀬宿検断箭内名左衛門殿 文政一〇年三月四日

御雇人馬賃控帳 箭内氏 文政一〇年三月

堅紙	一通	二五三
堅紙	一通	三三〇一
堅紙	一通	三三二三
堅紙	一通	二七四一
堅紙	一通	二七五一
横長美	一冊	一七八
横長美	一冊	二七四六
堅紙	二通	二七〇
包紙入	一通	一七三
包紙入	一通	一五三
堅紙	一通	一七三
横美半折	一冊	一五四

差上申御請一札之事 (人馬賃錢三割増被仰付宿方仕法相立請書) 踏瀬宿百姓弥惣八外三一名  
文政二年六月

差出申一札之事 (清次郎帳付役勤めたい旨願一札) ふませ村清次郎外二名 御役元 (宛) 天保三年正月

差出シ申一札之事 (役元座敷に土足で乱入した件の詫証文) 米沢家中小出伊勢藏 踏瀬宿問屋名左衛門様 天保四年一〇月二日

奉預御年貢金之事 (江戸まで運ぶ途中一夜預り) 踏瀬宿組頭清治郎・問屋名左衛門 池田岩之丞様 御内御金幸領横尾喜右衛門殿・松田吉右衛門殿 天保六年七月四日

宿方仕来書上帳 (控) 小田川宿検断問屋平九郎外三ヶ宿検断問屋四名 野村彦右衛門様川侯御役所 (宛) 天保七年一月

御巡見様御順道書 踏瀬駅筋内 天保九年四月

御巡見様人馬割并諸用手控帳 筋内 天保九年四月

乍恐以書付御届奉申上候 (昨年人馬日々帳等焼失した旨届書) 組頭寛右衛門・同理八・庄屋名左衛門 五街道御取締御役人中様 天保一三年六月二十九日

穀物請払牒 筋内 天保一五年一月  
牛馬荷口帳 踏瀬宿 弘化三年正月

(南部藩主参勤のため通行に付用状) 南部遠江守内佐沼松太郎・千葉見之助 小田川踏瀬大和久右宿々問屋中 (宛) 午 (弘化三年) 三月一六日

(南部藩人馬印鑑) 弘化三年三月

縦紙 一通 一五五

縦紙 一通 一七四

縦紙 一通 一七五

縦紙 一通 一七六

美 一冊 一五六

横美半折 一冊 一七七

横美半折 一冊 一七八

縦紙 一通 一七〇

横長美 一冊 一七四

横長美 一冊 一七六

横切紙 一通 一四七  
一四七一、一三同一包紙入

堅切紙 一通 一四七

(別紙を届ける旨用状) 白川芳賀源左衛門 小田川大和久迄御問屋中様 三月一六日

覚 (相対賃錢取極に付請書) 踏瀬宿太田川宿小田川宿根田宿右宿々惣代踏瀬宿問屋筋内名左衛門 秋元但馬守様御内継荷物御掛り玉井平右衛門様 弘化三年四月 踏瀬宿問屋中宛玉井才兵衛奥書

御所替御繼立御雇人馬賃錢調帳 踏瀬駅 弘化三年五月

秋元様水野様御所替御繼立御雇人馬増賃錢改帳 四ヶ宿 弘化三年七月

御所替人馬御繼立調 四ヶ宿 弘化三年一〇月

秋元但馬守様水野金五郎様御取替人馬御繼立諸書付入 弘化三年  
1人馬調帳 問屋 万延二年三月  
2諸雜日記 (内容なし) 筋内義信 明治一三年二月

3雇増錢之覚 (弘化三年カ)  
※4増助郷人馬賃銀割合帳 助郷惣代踏瀬集会所 慶応三年二月

※5増助郷兒金割返帳 助郷惣代 慶応四年二月

往来状之事 陸奥国津輕猿賀山天台宗東光院 諸国御関所御役人衆中・宿々村々肝煎中 (宛) 嘉永二年三月

差上申御年貢金預り証文之事 (羽州村山郡柴橋陣屋附村々からの年貢金を江戸運搬の途次一時預り) 奥州道中踏瀬宿御宿検断問屋名左衛門 森田岡太郎様御幸領鴨田弥平次様 嘉永四年七月一〇日

駄賃帳 嘉永五年三月

往来道普請一件書付入 踏瀬宿 白川常盤彦之助殿 嘉永五年八月

横切紙 一通 一四七三

縦紙 一通 一五六七

横美半折 一冊 一五六八

横美半折 一冊 一五六九

横美半折 一冊 一三八二

袋入 四冊 一三九〇

横美半折 一通 一三九〇

縦紙 一通 一三九〇

横長美 一冊 一三九〇

横長美 一冊 一三九〇

縦紙 一通 一三九〇

横長美 一通 一三九〇

袋入 一冊 一三九〇

御大名様御繼立人馬賃錢御仕切書留帳 踏瀬問屋 (嘉永五年) 元治元年	横美半折	一冊	一五六
松前并蝦夷地御用村垣与三郎様外拾頭様夜中急御繼立三付一件書付控 奥州道中踏瀬宿 嘉永七年一〇月六日役	横長美	一冊	一三七
御尋三付以書付奉申上候 (白川宿問屋常盤彦之助の身元調査報告書) 白川郡小田川村庄屋平九郎・同郡踏瀬村庄屋名左衛門・同郡大和久村庄屋市右衛門 塙御役所 (宛) 嘉永七年十一月	堅紙	一通	一五七
御尋二付廉書を以奉申上候 (過去の宿助郷勤方取調書上) 小田川宿檢断平九郎外四名 大竹左馬太郎様塙御役所 (宛) 安政三年二月	堅紙	一通	一三八
借用申金子之事 (新屋敷村定右衛門出金の馬代金借用) 踏瀬村庄屋名左衛門・与頭馬之助・同利八・庄屋名左衛門 塙御役所 (宛) 安政三年三月	堅紙	一通	一四四
御主法馬代金貸附小前帳 踏瀬宿問屋 安政三年三月	横長美	一冊	一四九
借用申金子之事 (町屋村藤兵衛出金の馬代金借用) 踏瀬宿長百姓本藏・組頭馬之助・同理八・庄屋名左衛門 塙御役所 (宛) 安政三年四月	堅紙	一通	一四四
拝借仕金子証文之事 (人馬繼立入用金拝借) 小田川宿庄屋平九郎外三名 塙御役所 (宛) 安政三年一月	堅紙	一通	一六五
買人馬賃錢引替帳 踏瀬問屋 安政四年閏五月	横長美	一冊	一五七
登り商荷物庭帳 踏瀬宿 安政五年正月	横長美	一冊	一四九
買人馬賃錢引替帳 踏瀬宿問屋 安政六年三月	横長美	一冊	一五五
上り商荷物庭帳 踏瀬宿 安政七年正月	横長美	一冊	一四〇
御勘定御奉行竹田豊前守様御差紙出府諸入用帳 万延二年二月	横長美	一冊	一三六

宿方御定賃錢并買人馬取調帳 小田川宿太田川宿踏瀬宿右三ヶ宿役人惣代踏瀬宿問屋箭内名左衛門 塙御役所 (宛) 文久二年五月	横長美	一冊	一五六一
買人馬賃錢控帳 踏瀬宿問屋 文久二年五月	横長美	一冊	一五七
牛馬荷口錢新增并十月6新老割増刎錢之覚 文久三年正月6	横美半折	一冊	一四三
買人馬渡方帳 踏瀬宿問屋 文久三年八月	横長美	一冊	一七四
御大名様御繼立人馬賃錢御仕切書留帳 踏瀬宿問屋 丑 (慶応元年) 五月 (明治四年五月)	横美半折	一冊	一五九
乍恐以書附奉申上候 (長沼勢至堂助郷一件にて出府着届書) 小田川宿外三ヶ宿役人惣代踏瀬宿問屋主兼箭内名左衛門 御奉行所様 慶応元年九月二十四日/多田銃三郎様江戸御役所宛箭内名左衛門奥書	堅紙	一通	一五〇
買人馬賃錢控帳 踏瀬宿問屋 慶応二年正月	横長美	一冊	一五八
奉差上御請書之事 (宿方小前百姓人馬勤方に付請書) 踏瀬宿小前惣代二名・太田川宿小前惣代二名・小田川宿小前惣代二名 御用先辻知次郎様 慶応二年五月	堅紙	一通	一五二
(人馬勤高書上帳) 慶応二年	横長美	一冊	一五〇
箭内名左衛門差出踏瀬宿助成金貸附元帳 箭内義信控 (慶応四年)	横美半折	一冊	一五四
箭内名左衛門差出踏瀬宿助成金貸附元帳写 (慶応四年)	横美半折	一冊	一五五
諸御藩様御賄料取調帳 (佐土原・備前両藩から賄料を受取った旨の報告) 踏瀬宿庄屋名左衛門 大政官御會計方御役所様 明治元年一〇月	美	一冊	一五三
買人馬賃錢引替渡方控 箭内 明治元年一〇月	横長美	一冊	一五九

※会所入用控帳 明治元年一〇月改

定夫金渡方控 箭内 明治元年一〇月

(踏瀬宿外七ヶ宿官軍通行継立高書上) 右八ヶ宿惣代小田川宿検断問屋平九郎外一名 磐城平民政御裁判所(宛) 辰(明治元年カ) 一〇月

差出申一札之事(継立人足が踏瀬宿入口で殺害された事件に付一札) 親類嘉右衛門外三名 踏瀬宿御役人衆中(宛) 明治元年一二月

乍恐以書付御届奉申上候(太政官會計局より根田宿より八丁目宿迄の宿々取締役を命ぜられたことに対する請書) 箭内名左衛門・(太田川宿) 石射信之輔 黒羽様御取締御役所(宛) 明治元年一二月

拝借金証文之事(官軍通行の際の助郷人馬賃錢当分御渡無之に付) 小田川宿外七ヶ宿役人二一名 塙御取締黒羽御役所(宛) 明治元年一二月

人馬賃錢大払分取調帳 踏瀬宿 辰(明治元年カ) 一二月

官軍様御休泊調書上帳 踏瀬宿検断問屋保太郎 大政官會計局様御役人中様 明治二年正月一五日

御賄料取調書上帳 踏瀬宿問屋保太郎 大政官御會計局様御役人中様 明治二年正月

乍恐以書付奉願上候(太田川宿問屋庄屋兵三郎不勤役の上出奔の件に付願書) 小田川宿庄屋問屋平九郎外三ヶ宿三名 黒羽様御取締御役所(宛) 明治二年二月

八ヶ宿継立入用調書 巳(明治二年カ) 六月一〇日

(継立人馬書上帳) 巳(明治二年カ)

横長美 一冊 一六四三  
横美半折 一冊 一六五

美 一冊 一三五五

包紙入 一通 三五五  
包紙入 一通 三五五

包紙入 一通 三七

包紙入 一通 一六五〇  
包紙入 一通 一六五〇

横長美 一冊 一六〇〇

美 一冊 一三三三

美 一冊 一七四〇

堅紙 一通 二八八

横長美 一冊 一七五三

横長美 一冊 一六八四

官軍様御継立会所諸入用取調書上 踏瀬宿問屋八ヶ宿惣代箭内名左衛門 元塙御管轄所黒羽様御役所(宛) 明治三年正月 美 一冊 一三九六

官軍様御継立諸入費調書上帳 白河郡小田川宿問屋平九郎外九名 黒羽御藩佐藤与右衛門殿 明治三年正月 美 一冊 一三九八

上下人馬買上ヶ錢引替帳 御伝馬所・踏瀬駅元締所 明治三年正月カ(明治五年正月) 横美半折 一冊 一五九〇

駅通司様御添触御用状人足賃錢調帳 踏瀬宿御伝馬所役人名左衛門 明治三年三月 横長美 一冊 一七二

御定賃錢并御雇賃錢控 陸羽道中踏瀬駅所 明治三年五月カ(明治五年三月) 横美半折 一冊 一五九一

(駅法改正の布告請書) 踏瀬宿惣代鹿蔵外三名 駅通掛御役所(宛) 明治三年八月ノ右駅長名左衛門奥書 半 一冊 一四九

(継立人馬等書上帳) (明治三年カ) 横長美 一冊 一六八三

駅通ニ附諸入費控 踏瀬元締所 明治四年二月 横長美 一冊 一七四二

(人足差出の触書写) 踏瀬宿ノ役箭内名左衛門・太田川宿同石射信之助・小田川宿同佐藤平九郎 白河県駅通御役所(宛) 未(明治四年) 三月五日 横長美 一冊 一三三四

岩代国福島県江御出兵御継立人足書上帳・同国同県へ御出兵御継立人足賃錢書上帳控 陸羽道中踏瀬宿元ノ役箭内名左衛門控 明治四年三月一日 横長美 一冊 一四〇一

岩代国福島県江御出兵御継立人足賃錢書上帳 陸羽道中踏瀬駅元ノ役箭内名左衛門 駅通御役所(宛) 明治四年七月 半 一冊 一四〇二

御府藩県様御添触を以本籍江送候御旅籠人足賃錢書上帳 踏瀬駅元ノ役箭内名左衛門 白河県駅通御役所(宛) 明治四年九月 美 一冊 一七四四

御用狀御用物跡払人足賃錢取調書上 踏瀬駅御 伝馬所元ノ役箭内名左衛門 白河県駅通御役所(宛) 辛未(明治四年カ) 一二月	半	一冊	一五五
吉岡村引替買物錢仕訳帳 陸羽道中踏瀬駅御伝 馬所 明治四年 一二月	横美半折	一冊	五二
高田御蔵米白河佐藤屋平左衛門殿ノ須賀川稲 荷屋次右衛門殿へ請払帳 明治五年四月	横長美	一冊	一五七
奉差上御請書之事(駅間里程改正に付請書) 踏瀬駅組頭佐川林平外二名 福島県駅通御掛御中 (宛) 壬申(明治五年カ) 五月	縦紙	一通	一七六
雇人馬賃錢引下方御届奉申上候書附 白河駅通 元ノ役常盤彦四郎外五駅元ノ役六名(明治初年カ)	半	一冊	一五九
駄賃帳 踏瀬宿問屋見習箭内保太郎 子七月	横美半折	一冊	一五五
(踏瀬宿分繼立人馬書上) 子ノ丑	折紙	一通	一六五
覚(御鶴・御用狀箱等受取) 矢吹宿問屋登助 踏瀬宿(宛) 丑二月八日	縦紙	一通	一四四
(宿定人馬勤高に付伺書) 右四ヶ宿(小田川・ 太田川・踏瀬・大和久) 役人共 丑九月	折紙	一通	一七二
買馬之通 勝次郎 卯三月五	横美半折	一冊	一九五
買馬之通 惣助 卯三月五	横美半折	一冊	一九七
(買人馬等書上) (卯五月ノ八月)	横長美	一冊	一三七
(踏瀬外三ヶ宿分諸勘定帳) (卯)	横美半折	一冊	一五五
覚(人馬繼立証文請取) 踏瀬宿問屋箭内名左衛 門 民政御裁判所(宛) 辰一〇月	縦紙	一通	一四六

覚(秋田藩主通行に付下賜金百正請取書) 踏 瀬宿検断箭内名左衛門 秋田様御内(宛) 辰一一 月二九日	包紙入 縦紙	一通	一三九
※(御廻村順路書上等綴) 巳九月二二日		一綴	一七五
巳十一月五日御下向佐竹様御通行(人馬書上) 巳一一月五日	横長美	一冊	一四一
(佐竹様御通行に付繼立人馬書上帳) (巳一一 月)	横長美	一冊	一五三
(繼立人馬書上帳) (巳一一月カ)	横長美	一冊	一五二
(武家方繼立人馬書上帳) 巳ノ午	横長美	一冊	一六六
(武家方通行に付枝払二人差出すよう通達) 大和久宿帳場 ふませ箭内様 午四月二九日	小切紙	一通	一七四
(本多丹下様・戸田七内様御下りに付人馬書上) (午閏五月朔日)	(二冊)綴	一綴	一四二
四ヶ宿指引控帳 仲ま 午七月朔日改	横美半折	一冊	一六八
覚(鶴・老中よりの用狀等受取) 宿検断 久左衛門 踏瀬宿検断名左衛門殿 未三月朔日	縦紙	一通	一四三
記(奥州道中各宿助郷高・人馬繼立方法書上) 未三月一四日	縦紙	一通	一七四
(人馬繼立に付書留) 戌九月	横長美	一冊	一四〇
(戌年入金等勘定帳) (亥)	横美半折	一冊	一八〇
乍恐以書付御侘奉申上候事(荷繼の際過分の 金子を取った件に付託狀) 踏瀬宿役人鹿藏 戸 田右衛門様・御家来様 三月一二日	縦紙	一通	一三三
(紛失荷物送付の件に付書狀) 仙台中松木軍 藏 踏瀬宿箭内名左衛門様 四月一四日	横切綴紙	一通	一四五

口上（人馬買錢に付口上書） 平九郎 保太郎様 四月一八日	小切紙 一通 一七五二	（踏瀬宿繼立人馬書上）	横長美 一冊 一四〇九
口上（買人馬買錢に付口上書） 佐藤平九郎 ふませ箭内保太郎様 四月二二日	小切紙 一通 一七五二	（繼立人馬書上帳）	横長美 二冊 一五四〇
（預けてある品物につき八月中には片付ける旨の書状） 米沢小野清藏 踏瀬ノ問屋様 四月二二日	横切紙 一通 二六六四	（繼立人馬書上帳）	横長美 一冊 一五四一
（武家方通行に付御先私差出すべき旨通達） 太田川石射弥次右衛門 ふませ箭内名左衛門様 四月二五日	小切紙 一通 一七〇〇	覚（繼立賃錢書上）	横長美 一冊 一五四三
（本庄市三郎様御書付請取書） 吉村下組 踏瀬宿問屋箭内名左衛門様 五月朔日	小切紙 一通 二八〇六	覚（買人馬買錢等書上帳）	横切紙 一通 一五八七
（梅沢九十郎、中村晋平兩人通行に付書状） 太田川石射弥次右衛門 ふませ箭内名左衛門様 五月二二日	横切紙 一通 二五二	甲子年人馬雇錢覚	折紙 一通 一五八八
（繼立人足差出に付用状） 太田川石射弥次右衛門 踏瀬箭内名左衛門様 五月二八日	横切紙 一通 二二〇六	（武家方繼立人馬書上帳）	横長美 一冊 一六〇二
覚（米相場書上） 問屋名左衛門 上（宛） 九月二二日	堅切紙 一通 一八〇〇	（諸家印鑑）	横長美 一冊 一六八九
口上（金拾両出金願の書状） 佐藤平九郎 ふませ箭内名左衛門様 九月二四日	横切紙 一通 二四〇〇	※（宿助郷関係書類一括）	三〇通 一七三七
（大名衆通行の節馳走贈物等無用の旨口上覚） 兵部省様ら福島表江岡山藩御兵隊様御通行ニ付諸人用	横切紙 一通 二四〇〇	以書付御届申上候事（仙台から江戸への木綿荷物盗難に付届書）	一括 一七三八
口上覚（秋元氏通行に付人馬繼立の口上覚）	横切紙 一通 二四〇〇	（金包みののし紙）	堅紙 一通 二二五九
（繼立人足等書上帳）	小切紙 一通 二四〇六	（交通関係諸書付一括）	一二枚 二七三五
（踏瀬宿繼立人馬書上）	折紙 一通 二四〇八	※（踏瀬宿絵図等一括）	（一二通） 二七四五
			二通 二九二一
			四鋪



助郷

人馬割出帳

御大名様御通行寄人馬割出帳 奥州道中踏瀬宿  
安政五年三月

横長美 一冊 一四九

定助郷人馬割出帳 踏瀬宿 文久二年二月

横長美 一冊 一五〇

(官軍通行に付大和久・太田川両宿へ助郷寄人馬割出帳) 已(明治二年)二月

横長美 一冊 一五八

(助郷村々寄人馬割出帳) 踏瀬宿 戊二月

横長美 一冊 一五三

(助郷村々寄人馬割出帳) (戊)

横長美 一冊 一五三

覚(助郷村々寄人馬割出帳)

横長美 一冊 一五四

議定書

以書付奉申上候事(宿助郷争論熟談に付取極書) 助郷村々拾三ヶ村庄屋・海道四ヶ宿検断 安永九年二月

堅藤紙 一通 一四一

(助郷人馬勤方に付宿助郷議定書) 大和田村外十ヶ村庄屋二名・踏瀬宿外三ヶ宿間屋六名 高田御預り所御役所(宛) 文化七年四月

堅藤紙 一通 二八六

為取替一札之事(助郷勤方に付議定書) 沢井村組頭惣代伝左衛門外六ヶ村庄六名 四ヶ宿間屋衆中(宛) 天保六年二月

堅藤紙 一通 一六七

為取替一札之事(助郷勤方に付議定書) 上新城村助郷惣代岡崎利助外三ヶ村庄三名 四ヶ宿間屋衆中(宛) 天保七年二月

堅藤紙 一通 一六九

為取替一札之事(助郷勤方に付議定書) 助郷惣代中ノ目村組頭忠次右衛門外三ヶ村庄三名 四ヶ宿検断問屋衆中(宛) 天保九年二月

堅藤紙 一通 一六九

指出申取極之事(吉村助郷役勤方に付取極書) 吉村長百姓弥七外二名 右(小田川・太田川・踏瀬) 三ヶ宿御検断衆中(宛) 天保一〇年八月二〇日

堅藤紙 一通 一四六

義定為取替一札之事(助郷勤方に付議定書) 助郷式拾四ヶ村惣代深谷甚右衛門外一名 四ヶ宿検断衆中(宛) 天保一三年二月二日

堅藤紙 一通 一七〇

儀定為取替一札之事(助郷勤方に付議定書) 助郷村々惣代明岡村組頭七三郎外五ヶ村庄五名 四ヶ宿御間屋衆様 天保一五年二月二四日

堅藤紙 一通 一七一

儀定為取替一札之事(助郷勤方に付議定書) 下新城村組頭庄右衛門外三ヶ村庄二名 小田川宿外三ヶ宿間屋衆中(宛) 弘化二年二月

包紙入 一通 一七三

儀定為取替一札之事(助郷勤方に付議定書) 増見村組頭久右衛門外二四ヶ村役人二四名 四ヶ宿御間屋衆中(宛) 弘化三年三月三日

堅藤紙 一通 一七三

議定為取替一札之事(昇役一件に付助郷勤方議定書)(後欠) 弘化三年三月

包紙入 一通 一七三

(助郷人馬勤方に付願書及び議定書) 弘化三年十一月

横長美 一冊 一八三

為取替議定書之事(宿助郷出入内済に付人馬勤方議定書) 小田川宿間屋平九郎外三ヶ宿間屋四名 助郷廿五ヶ村庄屋衆中(宛) 弘化三年十一月

堅藤紙 一通 一八四

為取替申議定之事(宿助郷出入内済に付人馬勤方議定書) 白川郡町屋村庄屋勇右衛門外八ヶ村役人八名 小田川外三ヶ宿間屋衆中(宛) 弘化三年十一月

包紙入 一通 一八五

為取替申議定書之事(宿助郷出入内済に付人馬勤方議定書)(控) 小田川宿間屋平九郎外三ヶ宿間屋四名 助郷村々庄屋衆中(宛) 弘化三年十一月

堅藤紙 一通 一八五

為取替申議定書之事(宿助郷出入内済に付人馬勘方議定書) 弘化三年二月  
議定添書之事(宿助郷出入内済に付議定添書) 関和久村庄屋角之助外二三ヶ村役人二四名 小田川駅外三ヶ駅間屋衆中(宛) 弘化三年二月  
為取替申一札之事(宿・助郷人馬勘方に付議定書) 小田川宿・太田川宿・踏瀬宿間屋各一名・大助郷四ヶ村名主四名・取扱人立合一名 弘化三年二月  
為取替申議定之事(宿・助郷人馬勘方に付議定書) 当御支配所町屋村庄屋祐右衛門外二四名 四ヶ宿間屋衆中(宛) 弘化四年五月／年番名主鎌田村寿助外一名奥書  
為取替申議定之事(宿・助郷人馬勘方に付議定書) 当御支配所町屋村庄屋勇右衛門外二九名 弘化四年五月／年番庄屋鎌田村寿助外一名奥書  
儀定為取替一札(助郷勘方に付議定書) 助郷村々町屋与平次外二三ヶ村三名 四ヶ宿間屋衆中(宛) 嘉永三年三月  
差出置一札之事(宿方・大助助郷役勘方に付取極書) 踏瀬宿取扱人利八 石川郡大助四ヶ村役人(宛) 嘉永七年四月  
議定為取替一札之事(助郷勘方に付議定書) 増尾村勝吉外二五ヶ村二五名 四ヶ宿間屋衆中(宛) 安政二年二月  
議定為取替一札之事(宿助郷人馬勘方に付議定書) 関和久村重蔵外二二名 四ヶ宿御間屋衆中(宛) 安政七年三月  
差出し申議定一札之事(石川郡吉村下組以後は助郷正路に勤める旨一札) 右村(吉村下組) 百姓代梅蔵外三名 小田川宿佐藤平九郎殿外三ヶ宿四名(宛) 文久元年四月

堅綴紙 一通 一七〇五十三  
堅綴紙 一通 一七〇六  
包紙入 一通 一三八四  
包紙入 一通 一三八十一  
包紙入 一通 一三八五十二  
包紙入 一通 一七〇七  
堅綴紙 一通 一四〇六  
包紙入 一通 一七〇八  
堅綴紙 一通 一七〇九  
堅綴紙 一通 一七〇九

為取替申議定書之事(助郷役勘方取極議定書) 御代田村庄屋三瓶庄右衛門外六ヶ村庄屋六名 四ヶ宿惣代箭内名左衛門殿外四ヶ宿惣代一名・助郷惣代三名(宛) 元治元年正月二十九日  
為取替議定書之事(助郷勘方に付議定書) 三代田村三瓶庄右衛門外六ヶ村六名 助郷惣代三名・踏瀬外三ヶ宿四名(宛) 慶応二年正月  
取究議定書之事(人馬繼立請負に付請負人議定書) 佐藤平九郎外七名 慶応二年二月  
為取替議定書之事(新助郷六ヶ村助郷役勘方議定書) 御代田村三瓶富次郎外六ヶ村六名 助郷惣代三名・四ヶ宿四名(宛) 慶応四年正月  
為取替議定一札之事(人馬繼立に付宿助郷議定書) 助郷村々惣代中新城村仲蔵外十四ヶ村十名 慶応四年二月  
為取替議定書之事(助郷勘方取極議定書) 御代田村真壁孫三外四ヶ村四名 小田川宿佐藤平九郎殿外三ヶ宿三名(宛) 明治二年九月  
為取替議定書之事(田母神村助郷勘方に付議定書) 田母神村大越勇四郎 小田川宿佐藤平九郎殿外三ヶ宿三名(宛) 明治二年二月  
為取替議定書之事(助郷勘方に付議定書) 御代田村三瓶富次郎外三ヶ村三名 小田川宿佐藤平九郎殿外三ヶ宿三名(宛) 明治三年三月二十四日  
議定書之事(宿助郷人馬繼立方に付議定書) 四ヶ宿助郷泉田村長百姓吉之丞外二七ヶ村二七名 佐藤平九郎殿外四名(宛) 明治四年一月  
為取替申議定之事(宿助郷出入内済に付人馬繼立方議定書)

堅綴紙 一通 一六六  
包紙入 一通 一七〇  
堅綴紙 一通 一六八  
包紙入 一通 一六三  
堅綴紙 一通 一七二  
堅綴紙 一通 一六六  
包紙入 一通 一六三  
包紙入 一通 一七二  
包紙入 一通 一六六  
包紙入 一通 一七四  
包紙入 一通 一七五  
堅綴紙 一通 一七六  
堅綴紙 一通 一七七  
堅綴紙 一通 一七七

昇 役

助郷人馬不參賃昇銭調取立牒 踏瀬宿 弘化四年六月

横長美 一冊 一〇四

添儀定書之事(助郷昇役滞りなく勤める旨添議定書) 助郷村々惣代中畑村熊吉外二名 四ヶ宿問屋衆中(宛) 嘉永六年二月

堅籬紙 一通 一〇五

乍恐以書付御届奉申上候(石川郡上川部村昇役金滞納分等皆済の旨届書) 小田川宿檢断平九郎外一名 塙御役所(宛)

堅紙 一通 一〇六

覚(石川郡吉村昇役銭滞納分済方取極証文) 村惣代藤吉外村役人二名 ふませ宿箭内名左衛門殿 安政二年九月

包紙入 一通 一〇七

乍恐以書付御届奉申上候(石川郡吉村昇役銭滞納分勘定相済に付届書) 小田川太田川踏瀬右三宿惣代平九郎・名左エ門 塙御役所(宛) 安政二年九月

堅紙 一通 一〇八

差出し申証文之事(吉村昇役銭滞納分年賦済方証文) 石川郡吉村下組百姓代梅藏外三名 小田川太田川踏瀬宿御問屋衆中(宛) 文久元年四月

堅籬紙 一通 一〇九

不參人馬買揚銭并昇役銭取調帳 右三ヶ宿(小田川太田川踏瀬) 惣代小田川宿問屋平九郎外一名 塙御役所(宛) 文久二年三月

横長美 一冊 一〇三

乍恐以書付御利解下奉願上候(三ヶ宿と定助郷四ヶ村との昇役銭をめぐる出入内済に付願下ヶ願書) 白川郡小田川宿問屋平九郎外八名 塙御役所(宛) 文久二年四月二三日

堅籬紙 一通 一〇二

助合村々昇賃銀請取帳 四ヶ宿惣代 元治元年三月

横長美 一冊 一〇五

差出申証文之事(曲木村昇役金滞納分済方取極証文) 松平大蔵少輔領分曲木村百姓代清八外四名 小田川宿佐藤平九郎殿外二ヶ宿二名・助郷惣代三名(宛) 元治二年四月

堅籬紙 一通 一六七

差出申証文之事(曲木村昇役金滞納分済方取極証文) 松平大蔵少輔領分石川郡曲木村長百姓外三名 小田川宿問屋佐藤平九郎殿外一ヶ宿問屋二名・助合惣代三名(宛) 元治二年四月

包紙入 一通 一六七

昇役金取立 箭内 丁卯(慶応三)年二月己巳(明治二)二月

横美半折 一冊 一〇〇

(昇賃等勘定帳)

横長美 一冊 一〇四

八ヶ宿助郷村々昇役探 踏瀬宿会所 明治元年一〇月

横長美 一冊 一〇二

※会所入用控帳 明治元年一〇月改

昇役金控 箭内控 明治四年二月

横長美 一冊 一〇三

辛未昇役金控帳 踏瀬駅元締役 明治四年二月改

横美半折 一冊 一〇六

乍恐以書付奉願上候(助郷人馬昇役金滞納分済方日延願書) 右村(田村郡田母神村)役人惣代組頭惣三郎 小田川宿御出役中村貞之助様 子二月二二日

堅紙 一通 一〇三

乍恐以書付奉願上候(助郷人馬昇役金等滞納に付願書) 曲木村役人代寅藏 小田川宿御出役中村貞之助様 子二月二四日

包紙入 一通 一〇六

覚(当年分昇役金納入一札) 荏生村役元 海道四ヶ宿問屋衆中・惣代衆中(宛) 丑二〇月一五日

横切籬紙 一通 一〇三

覚(助郷村々昇役金滞納分督促書) 四ヶ宿惣代踏瀬宿箭内名左衛門 右村々御役人中(宛) 丑十一月二日

横長美 一冊 一〇七

(当年分昇役金十六兩としてほしい旨用状)  
村々堤村外十二ヶ村 踏瀬宿筋内名左衛門様外四名  
(寅) 三月四日

口上(助郷村々昇役金取立預ヶ方に付口上書)  
助郷村々一統 踏瀬宿筋内名左衛門様 卯二月一  
四日

差出申一札之事(石川郡吉村詰人馬雇揚銭滞  
分濟方日延願書) 吉村与頭倉吉 小田川太田川  
踏瀬宿御問屋中(宛) 卯五月二日

乍恐以書付奉願上候(石川郡吉村昇役銭滞分  
濟方日延願書) 百姓代市藏・与頭倉吉 御掛り  
御役人中様 卯五月二日

覚(昇銭支払書) 荏生村役元 踏瀬宿検断所  
(宛) 申二月一〇日

口上(昇賃取立の件に付書状) 北平山村穂積  
踏瀬宿筋内様 七月朔日

(助郷勤昇役にしてほしい旨用状) 上川辺役元  
踏瀬宿検断様 一〇月八日

記(昇銭等勘定書) 中川部村 踏瀬宿(宛) 一  
二月三日

助郷村々昇役銭等勘定書

乍恐以書付奉願上候(昇役銭滞納分濟方日延  
願書)(下書) 御掛り御役人中様

寅年昇役金覚

御所替ニ付増加助人馬願諸人用控帳 四ヶ宿  
弘化三年三月

加助郷・増助郷

包紙入 一通 一六六

包紙入 一通 一四七〇

包紙入 一通 一六四一

包紙入 一通 一六四二

小切紙 一通 一六六

横切紙 一通 一六四

横切紙 一通 一六四〇

横切紙 一通 一六四

横切紙 一通 一六四

横切紙 一通 一六四

横切紙 一通 一六四

乍恐以書付奉願上候(宿・定助郷困窮に付当  
分助郷触当願書) 定助郷廿六ヶ村惣代白川郡下  
新城村庄屋勝右エ門外一名・大和久宿外三ヶ宿検断  
問屋四名 大竹左馬太郎様御役所(宛) 嘉永七年  
四月

覚(異国船渡来に付増加助郷願書) 定助郷廿  
六ヶ村惣代二名・小田川宿外三ヶ宿検断問屋四名  
大竹左馬太郎様御役所(宛) 嘉永七年四月

乍恐以書付奉願上候(定助郷困窮に付加助郷  
仰せ付けられたい旨願書) 定助郷式拾六ヶ村惣  
代白川郡中新城村庄屋重次右衛門外四名 大竹左馬  
太郎様御役所(宛) 嘉永七年一月

乍恐以書付奉願上候(定助郷村々困窮に付大  
助郷仰せ付けられたい旨願書) 白川郡中畑村  
庄屋長左衛門外二五ヶ村村役人二五名 嘉永七年一  
月

乍恐以書付奉願上候(宿・定助郷困窮に付増  
助郷仰せ付けられたい旨願書) 定助郷式拾六ヶ  
村惣代白川郡増見村庄屋市郎兵衛外二名・小田川宿  
外三ヶ宿検断五名 大竹左馬太郎様御役所(宛)  
嘉永七年二月/辰二月小田川宿検断平九郎外五  
名継添書

(加助郷触当願書等綴) (嘉永七年カ)

増加助郷願ニ付諸人用立替帳 四ヶ宿 安政三年三  
月五

(増助郷願書) 定助郷廿六ヶ村惣代二名・四ヶ宿  
検断四人 飯原祐左衛門様・町田正右衛門様 安政  
三年一〇月

増加助郷願差村高家数人別調帳写 箭内 安政三  
年十一月

増加助郷差村高家数人別調帳写 安政三年二月

横長美 一通 一四三

横長美 一通 一四三

横長美 一通 一四六一

横長美 一通 一四六一

横長美 一通 一四七

横長美 一通 一四五

横長美 一通 一四九三

横長美 一通 一四九四

横長美 一通 一四九六

横長美 一通 一四九七

(増助郷仰せ付けられたい旨四ヶ宿・定助郷村々願書) 定助郷村々惣代下新城村庄屋勝右衛門外二名・四ヶ宿検断五名 飯原祐左衛門様・町田正右衛門様 辰(安政三年カ) 一一月	堅綴紙 一通 一四七
御証文論所地御改飯原祐左衛門様町田正右衛門様中村晋平様御出役諸入用調帳(増助郷願に付) 小田川宿外三ヶ宿問屋四名・助郷惣代四名 安政四年一二月	横長美 一冊 一四九
御勘定酒井隠岐守様御奉行所被仰渡御請書控(増助郷・代助郷仰渡に付) 小田川外三ヶ宿・定助郷廿六ヶ村・増助郷九ヶ村 万延元年一二月一八日	横長美 一冊 一五〇
酒井隠岐守様御奉行所増助合被仰付御請証文 小田川太田川踏瀬大和久四ヶ宿 万延元年一二月一八日	美 一冊 一六八
酒井隠岐守様御奉行所増助合被仰付御請証文 矢吹中畑新田久來石三ヶ宿 万延元年一二月	美 一冊 一六八
増助郷御願并御下知済諸入用覚帳 宿助惣代 万延二年二月	横長美 一冊 一五〇
増助郷一件諸入用差引帳 小田川宿・太田川宿・踏瀬宿 文久二年二月	横長美 一冊 一五〇
小田川太田川踏瀬大和久四ヶ宿江増助合高帳 白川郡小田川宿問屋庄屋平九郎外四ヶ宿十三名 御奉行所様 文久二年	美 一冊 一五〇
増助郷御願立諸入用引替帳 小田川宿太田川宿踏瀬宿控人 文久三年五月	横長美 一冊 一五〇
増助郷一件諸入用調帳 四ヶ宿 定助郷御惣代衆中(宛) 文久三年八月八日	横長美 一冊 一五〇
去ル辰年以来増助郷一件宿助惣代料渡方帳 四ヶ宿 文久三年八月九日改メ	横長美 一冊 一五〇

加助郷人馬昇賃銀割返帳 四ヶ宿惣代 文久三年八月	横長美 一冊 一六四
乍恐以書付奉願上候(通行量増大のため増助郷願書) 小田川太田川踏瀬三宿惣代太田川宿問屋弥次右衛門 御奉行所様 文久三年	横長美 一冊 一四六
増助郷人馬昇賃銀割合帳 四ヶ宿惣代 文久四年二月	横長美 一冊 一六二
増助郷人馬昇賃銀割合帳 四ヶ宿惣代 慶応三年二月	横長美 一冊 一六九
※増助郷人馬賃銀割合帳 助郷惣代踏瀬集会所 慶応三年二月	横長美 一冊 一三九
※増助郷昇金割返帳 助郷惣代 慶応四年二月	横長美 一冊 一三九
増助郷村々昇金調帳 明治二年二月	横長美 一冊 一六七
加助願二付諸入用ひかひ帳 四ヶ宿 辰三月	横長美 一冊 一五七
増助合願二付諸入用控帳 四ヶ宿 辰三月	横長美 一冊 一五七
(踏瀬外三ヶ宿助郷村高及び増助郷願い奉る村名書上帳) 定助郷惣代下新城村庄屋勝右衛門・四ヶ宿検断五人 辰一〇月	横長美 一冊 一五〇
増助合願二付諸入用(辰一巳)	折紙 一通 一五八
口上覚(増助郷願諸入用金高等に付口上覚) 三ヶ宿問屋共 御年番所(宛) 戌四月二日	折紙 一通 一五〇
乍恐以書付奉願上候(小田川宿外三ヶ宿・定助郷村々困窮に付増助郷願書)(後欠)	折紙 一通 一四七
助郷諸事	
就御尋乍恐奉書上御歎之事(助郷役輕減願書) 白川郡滑津村川原田村二子塚村惣名代滑津村庄屋半藏・同伊兵衛 寛保四年	堅綴紙 一通 一四四

就御尋々恐奉書上御歎之事（助郷役輕減願書）  
白川郡滑津村川原田村二子塚村惣名代滑津庄屋両人 寛保四年

就御尋々恐奉書上御歎之事（助郷役輕減願書）  
〔後欠〕（寛保四年カ）

乍恐以書付申上候事（二子塚村外三ヶ村助郷役輕減願書）  
二子塚村庄屋惣左衛門外六名 御奉行所（宛） 延享元年十一月

以書付奉願上候事（日光法会の人馬歎方に付請書）  
半藏外百姓四五名・長百姓一名・組頭三名 村御役人（宛） 明和元年三月

差上申一札之事（宿助郷出入御裁許御請証文）  
訴訟方白川郡小田川太田川踏瀬大和久四ヶ村惣代太田川村檢断平左衛門外十名 御評定所（宛） 安永八年二月二十五日

乍恐以書付奉願上候事（助郷村々歎方等閑に付願書）  
小田川宿外三ヶ宿檢断五名 御奉行所（宛） 天明二年五月

差上申御請書之事（四ヶ宿助郷勤方に付請書）  
助郷連印 御奉行所（宛） 天明二年六月

未十月二日夕詰酒井大学頭様御通相滯候人馬一札之事 天明七年十月

小田川太田川踏瀬大和久四ヶ宿定助郷并大助郷村々高書上帳 箭内氏 享和二年三月

指上申御請書之事（四ヶ宿詰人馬勤方に付助郷村々請書）  
四ヶ宿助郷下新城村庄屋伝右衛門外二十ヶ村庄屋二三名 御奉行所（宛） 享和三年四月

助郷村々高附ヶ并定夫錢割附帳 踏瀬宿檢断所・問屋 文化一四年四月

堅綴紙 一通 一四四二

堅綴紙 一通 一四四三

堅綴紙 一通 一四四六

堅綴紙 一通 一三四

堅綴紙 一通 二六七

堅綴紙 一通 一四八三

堅綴紙 一通 一七九

堅綴紙 一通 二七四

美 一冊 一四八三

堅綴紙 一通 二七四二

横長美 一冊 一四八四

乍恐以書付奉願上候事（大助四ヶ村助郷役輕減願書）  
石川郡小高村外三ヶ村庄役人十三名 浅河御役所（宛） 文政六年二月

熟談内済奉願上候書付（小田川外三ヶ宿と大助郷四ヶ村との出入内済に付吟味下ヶ願書）  
石川郡曲木村外三ヶ村庄役人四名・白川郡小田川宿外三ヶ宿檢断四名・取扱人二名 浅川御役所（宛） 文政六年二月

小田川太田川踏瀬大和久四ヶ宿人馬繼立之儀  
二付御下知済被仰渡御請書写 文政二〇年二月  
乍恐以書付奉願上候（繼立人馬領分中惣割にしてほしい旨願書）  
金山村長百姓伝吉外村役人三名 川保御役所（宛） 天保七年四月

乍恐以書付奉願上候（繼立に付助郷人馬仰せ付けられたい旨願書）  
白川郡金山村百姓代伝吉外村役人二名 川保御役所（宛） 天保七年四月

差出申一札之事（石川郡吉村以後助郷役滞りなく勤める旨一札）  
吉村百姓代弥吉外村役人二名 四ヶ宿檢断衆中（宛） 天保七年四月

乍恐以書付奉願上候（助郷役輕減願書）  
白川領分泉田村外六ヶ村惣代松崎村庄屋清八外一名 塙御役所（宛） 弘化三年閏五月

御大名様人馬調牒 助郷式拾四ヶ村 弘化三年一〇月

乍恐以書付御訴訟奉申上候（踏瀬村外三ヶ村問屋取斗方不宜に付助郷村々訴状）  
白川郡大谷地村長百姓庄之助外十四ヶ村庄役人四三名 塙御役所（宛） 弘化三年一〇月

御尋二付乍恐以書付御答奉申上候（宿・助郷争論に付宿方返答書）  
小田川村外三ヶ村問屋五名 塙御役所（宛） 弘化三年一〇月

堅綴紙 一通 一五四五

堅綴紙 一通 二八五

美 一冊 一六四六

堅綴紙 一通 一四四七

堅綴紙 一通 一四四七二

堅綴紙 一通 一六三

堅綴紙 一通 一四八

横長美 一冊 一三六

横長美 一冊 一四四九

横長美 一冊 一四八七

済口一札之事(人馬割賦をめぐる宿助郷争論の済口証文) 助郷式拾五ヶ村惣代上新城村庄屋理助外三名 御年番御名主寿助殿 弘化三年十一月	堅縦紙 二通	一六七
差入申証文之事(助郷人馬不参銭払方滞一件に付差入証文) 右川辺村役人四名・吉村村役人二名 海道四ヶ宿問屋衆中(宛) 弘化四年五月一日	包紙入 堅縦紙 一通	一五〇
乍恐以書付奉願上候(宿助郷出入熟談に付願下願書) 小田川宿外三ヶ宿検断五名・助郷一三ヶ村役人二五名・取嘆人二名 塙御役所(宛) 弘化四年五月	堅縦紙 一通	一四〇
差上申御請書之事(助郷村々の触当人馬増加反対の願書に対する理解への請書) 小田川宿検断問屋平九郎外六名 飯田文右エ門様萩野寛一様 嘉永四年三月	堅縦紙 一冊	一五九
家数人別助郷高御繼立人馬辻相調書上帳 踏瀬宿検断問屋名左衛門 飯田文右衛門様・萩野寛一様 亥(嘉永四年カ) 三月	横長美 一冊	一五八
差出申一札之事(助郷役以後割賦通り勤める旨一札) 上川辺村組頭長三郎外二名 小田川太田川踏瀬右三ヶ宿検断所(宛) 嘉永七年正月三日	堅縦紙 一通	一六六
乍恐以書付御吟味下ヶ之儀奉願上候(宿・大助郷村々人馬差出方出入吟味下ヶ願書 白川郡荏生村名主栄作外七名 塙御役所(宛) 嘉永七年四月六日	堅縦紙 一通	一四四
乍恐以書付奉願上候(石川郡吉村助郷人馬代銭滞納に付三宿願書) 小田川宿検断平九郎外二名 塙御役所(宛) 安政二年四月	横切紙 一通	一四八
乍恐以書付奉願上候(石川郡上川部村・同郡吉村助郷役不勤に付吟味願書) 小田川宿検断平九郎外一ヶ宿検断二名 大竹左馬太郎様御手代本庄市三郎様 安政二年四月	堅縦紙 一通	一六〇

(石川郡上川部村助郷役不勤に付吟味願書) [下書・前欠] 平九郎外二名 大竹左馬太郎様御手代本庄市三郎様 卯(安政二年) 五月一三日	横切紙 一通	一六五
乍恐以書付奉願上候(石川郡上川部村助郷役不勤に付吟味願書) 白川郡小田川宿検断平九郎外二ヶ宿検断二名 大竹左馬太郎様塙御役所(宛) 安政二年六月一日	堅縦紙 一通	一六九
乍恐以書付奉願上候(石川郡上川部村助郷人馬代銭滞納に付宿方願書) 四ヶ宿検断 塙御役所(宛) 安政二年六月	横切紙 一通	一四九
乍恐以書付奉願上候(石川郡上川部村助郷役不勤に付吟味願書) 小田川宿検断平九郎外二ヶ宿検断二名 塙御役所(宛)	堅縦紙 一通	一六六
助郷人馬雇銭取立帳 踏瀬宿 安政三年三月	横長美 一冊	一四二
西海道宿々助郷高帳 箭内 安政三年一月	横長美半折 一冊	一四九
差出申一札之事(関和久村助郷役不勤に付詫一札) 白川領関和久村問屋吉兵衛外五名 踏瀬宿庄屋箭内名左衛門様・河原田村庄屋後見加藤半兵衛様 安政五年二年二九日	包紙入 堅縦紙 一通	一七三
御請印帳(助郷勤方に付請書) 下新城村組頭勇藏外三名 多田銃三郎様御手代中村貞之助様 元治元年一二月	半 一冊	一三九
乍恐以書付奉願上候(石川郡曲木村助郷勤等閑に付願書) 小田川宿外三ヶ宿役人惣代太田川宿問屋弥次右衛門外一名 塙御役所(宛) 元治二年二月	堅縦紙 一通	一五三
丁卯助郷村々取扱 箭内(慶応三々四年)	横長美半折 一冊	一五〇
助郷人馬参着調 踏瀬宿 慶応四年二月	横長美 一冊	一五二
四ヶ宿三宿笠石宿助郷高調帳 踏瀬宿会所 慶応四年八月	横長美半折 一冊	一五三

乍恐以書附奉願上候（官軍通行の際の人足差出方に付願書） 石川郡曲木村百姓代二名・組頭二名・名主二名 小田川宿太田川宿踏瀬宿大和久宿右四ヶ宿御用掛山辺律四郎様 慶応四年八月

奉差上御請証文之事（人馬繼立に付宿助郷請書） 上四ヶ宿助郷中新城村外五ヶ村五四名・笠石宿外七ヶ宿二名 塙御取締御出役先御役所（宛） 慶応四年八月

奉差上御請書之事（宿助郷人馬勘方議定の通り急度相守る旨請書） 四ヶ宿・下三宿・笠石宿助郷五ヶ村五二名・笠石宿外七ヶ宿二名 塙御取締役所（宛） 慶応四年八月

居村繼立人馬取調書上帳 上川辺村庄屋健之助・下川辺村組頭孫左工門・中川辺村庄屋昇平 塙御取締役所様 慶応四年一〇月

助郷高取調書上帳 踏瀬宿檢断問屋筋内名左衛門 磐城平民政御裁判所（宛） 明治元年一〇月

助郷村々定曲尺 踏瀬宿 明治二年正月改  
定助郷人馬着到面付控帳 式番 踏瀬宿問屋所 明治二年五月<sup>5</sup>  
四ヶ宿定助合村々江道法覚 踏瀬宿筋内義信所 明治二年六月写

乍恐以書付奉願上候（踏瀬宿外二ヶ宿への助郷免除願書） 田母神村名主願人勇四郎 白川県御役所（宛） 明治二年一一月

乍恐以書付奉願上候（駅法改正に際し助郷勤方に付願書） 四ヶ宿駅長 白川県駅通御役所（宛） 明治三年五月

踏瀬詰人足日々帳 中川辺村役元 明治三年七月朔日<sup>10</sup>

包紙入 一通 一五七

包紙入 一通 一七三

堅綴紙 一通 一七三

美 一冊 一三六

美 一冊 一五九

横長美 一冊 一五九

横美半折 一冊 一五〇

包紙入 一通 一四六

（繼立賃銭・助郷村々書上帳） 右宿（踏瀬宿）組頭白岩利八・元々役筋内名左衛門 白川通駅御役所（宛） 明治三年一一月

助郷村々定曲尺 踏瀬宿筋内武三良藤原義方 明治五年正月改

差出置申一札之事（惣助郷賄料勘定に付一札） 助郷惣代中畑村勝三郎外四名 踏瀬宿隣平殿 明治五年一月

以引当拝借仕金子事（助郷村々借金証文） 助郷惣代中畑村勝三郎外七名 踏瀬宿筋内名左衛門殿 明治五年二月

当駅総村々控帳 陸羽道中踏瀬駅 壬申（明治五年九）二月<sup>6</sup>

以書付奉願上候事（四ヶ村助郷役重役免除願書） 四ヶ村庄屋・大庄屋 丑正月

（曲木村分不参買揚人馬書上帳） 小田川宿問屋 平九郎 丑三月

（助郷預り金等勘定帳） 筋内名左衛門 御惣代 井戸沼敬之助様外二名 丑八月二五日

覚（助郷役輕減願書） 四ヶ宿助郷惣代関根永朔外三名 四ヶ宿御問屋中様 丑八月

覚（買揚殘金書上） 佐藤三九郎 御惣代衆中様 寅三月七日

乍恐以書付奉願上候（大助郷四ヶ村人馬不参に付願書） 控 小田川太田川踏瀬三ヶ宿檢断三人 塙御役所（宛） 寅四月五日

以書付申上候事（四ヶ宿助郷村々難決の旨書上） 中野目組川部村庄屋嘉兵衛外十四名 卯九月

横長美 一冊 一五二

横美半折 一冊 一五三

堅綴紙 一通 一六〇

包紙入 一通 一六〇

横美半折 一冊 一七四

堅綴紙 一通 一四九

横長美 一冊 一五九

横長美 一冊 一六三

包紙入 一通 一六八

折紙 一通 一六八

横切紙 一通 一六六

堅綴紙 一通 一四六

堅綴紙 一通 一四七



(助郷人馬遅不参に付取締方願書) 四ヶ宿惣代  
小田川宿検断問屋佐藤平九郎外三名 仙台高橋勝一  
郎様 辰閏四月一四日

横長美 一冊 一五六一

(助郷勤人馬書上帳) 長百姓鹿蔵・与頭利八・庄  
屋間屋箭内名左衛門 辰九月

横長美 一冊 一五元

相定申済口証文之事(小田川外三ヶ宿と助郷  
四ヶ村との争論済口証文) 小田川宿外三ヶ宿惣  
代大田川宿検断郷五兵衛外十五名 辰九月

縦縞紙 一通 一六五一

※(御廻村順路書上等級) 已九月二日

覚(助郷村々への金銭割付帳) 午

横長美 一冊 一五

覚(助郷入費借用証文) 定助郷村々一同 四ヶ  
宿元々衆中様 未二月一四日

折紙 一通 一五三

覚(助郷村々へ渡し金書上帳) 亥八月

横長美 一冊 一五七

(宿助集会開催に付書状) 三ヶ宿間屋 大和久  
芳賀市右衛門様・同常五郎様 二月一二日

横切紙 一通 一五八

乍恐以書附奉願上候事(四ヶ宿助郷村々負担  
過重に付願書) 中野目組中 閏四月

縦紙 一通 一四七五

差上申一札之事(吉村雇人馬賃錢殘金済方に  
付一札) 吉村役人金五郎外二名 踏瀬宿御名主箭  
内名左衛門様 一二月二五日

包紙入 一通 一五元

※(助郷村々人馬差出帳)

横長美 一冊 一〇七六

乍恐以書付御吟味下ヶ之儀奉願上候(踏瀬宿  
外二ヶ宿と大助郷四ヶ村との争論内済に付吟味  
下ヶ願書)〔後欠〕

縦縞紙 一通 一四七

乍恐以口上書奉願上候事(踏瀬宿外三ヶ宿助  
郷村々助郷役勤方改正願書)〔後欠〕

縦縞紙 一通 一四八

乍恐以書付奉願上候事(滑津村外三ヶ村助郷  
役重役免除願書)

縦縞紙 一通 一四七九

助郷勤高帳書拔

縦紙 一通 一五五

(川部村・吉村不参人馬書上帳)

横長美 一冊 一五七二

覚(助郷村々へ金銭割合帳)

横長美 一冊 一六〇一

覚(二子塚村分金銭勘定)

横切紙 一通 一六三

乍恐以書付奉願上候(石川郡上川部村・同郡  
吉村助郷役不勤に付吟味願書)

縦縞紙 一通 一六四三

※(宿助郷諸勘定帳)

横長美 一冊 一六五六

覚(宿助郷諸勘定帳)

横長美 一冊 一六五七

※(宿助郷関係書類一括)

一括 一七八

覚(助郷村々人馬勤方に付覚書)

横長美 一冊 一七六四

触・達 等

覚(駄賃錢二割増定書) 奉行 宝永四年七月

縦縞紙 一通 一五二

覚(宿々へ触書) 延享四年三月

縦縞紙 一通 一六九三

定(往還雇人足・飛脚等に付定書) 延享四年  
三月

縦縞紙 一通 一六九三

日光御社参供奉御役附 安永五年四月

堅美半 一冊 一三三

(助郷村々人馬差出方に付廻状) (天保一二)  
文久三年

一二通 一六三

駅令(谷口蔵書) 箭内義直 弘化四年一〇月写

堅美半 一冊 一三三

(助郷村々人馬差出方に付廻状) (安政三) 文  
久三年

一三通 一六二

御大名様御参勤御下向写 箭保之書 万延元年五月	横美半折 一冊 二三七	(繼立人馬取調書上) (雛形) 白川郡小田川宿問屋	堅紙 一通 二四九
久世大和守様5宿々人馬割増錢有来之外三割増被仰付御達書 奥州道中白川宿 文久二年二月	横長美 一冊 二五六	五駅便覽拔書 此ぬし箭内性	横美半折 一冊 二六四一
久世大和守様5宿々人馬割増錢有来之外三割増被仰付御達書 奥州道中白川宿 文久二年二月	半美 二冊 二五七	(五駅便覽)	半 一冊 二六四二
日光御法会に付参向之公家衆并御用掛諸役人其外旅館旅宿性名帳 踏瀬宿之住人箭内保太郎義信 慶応元年閏五月七日写	横美半折 一冊 二三〇	五駅便覽	堅美半 一冊 二六五
(勤王のため人馬繼立に励むべしとの教諭) 山辺俊之誌 慶応四年八月	美 一冊 三九三	他宿	
御大名様御参勤御下向写覚附 (幕末)	横美半折 一冊 二三三	奥州道中白坂宿助郷帳 水村馬守・稲下野守 白坂宿問屋年寄・右助郷村々名主百姓 (宛) 延享元年一〇月	美 一冊 一四八〇
(官軍引揚に付宿駅へ申渡) 大政官出張白川口會計官 辰 (明治元年) 一〇月	堅紙 一通 二三六	差上申一札之事 (笠石宿・助郷村々出入一件裁許請書) 訴訟方石川郡笠石宿役人惣代問屋龍藏外六名 御評定所 (宛) 文政四年二月	堅紙 一通 二四八五
記 (宿助郷人馬繼立方に付達書) 庶務局 駅々役人中 (宛) 明治三年二月	美 一冊 三九	奥州道中芦野宿増助郷願書并取締役奥書右差村掛書上 嘉永七年	半 一冊 一五二
駒通御規則写 大田川宿本家石射氏 明治三年三月	半 一冊 一四〇一	差上申一札之事 (矢吹宿外二ヶ宿の助郷高免除・増助郷設定の裁許に対する宿・助郷請書) 石川郡矢吹宿役人惣代兼中畑新田宿役人惣代問屋彦治外二十名 御奉行所 (宛) 万延元年二月一八日/岩瀬郡長沼宿勢至堂宿役人惣代割元紋十郎外五名奥書	堅紙 一通 一四六一
駒通御規則写 踏瀬駅箭内氏 明治三年三月	半 一冊 一四〇二	差上申一札之事 (矢吹宿外二ヶ宿助郷高免除并増助郷仰渡に付請書) 石川郡矢吹宿役人惣代兼中畑新田宿役人惣代問屋彦次外二十名 酒井隠岐守様御奉行所 (宛) 万延元年二月/岩瀬郡長沼宿勢至堂宿役人惣代割元紋十郎外五名奥書	横長美 一冊 一四九八
郵便規則 駒通司 午二月	堅紙 一通 二四四		
松平肥後守京都御警衛人数通行人馬触高中勘兵衛 右村々名主・組頭 (宛) 亥七月	折紙 一通 三四五		
(宿々問屋場へ役人附置人馬繼立方改めるべき旨達書) 三月	堅紙 一通 二五八		
申渡 (官軍人馬繼立に付民政局通達) 棚倉取締役所 助郷庄屋江 (宛) 一〇月一四日	美 一冊 二四三		
覚 (往還宿々へ達書) 郡代所 一〇月	堅紙 一通 二七二		

乍恐以書付奉願上候(通行量増大のため当分助郷仰せ付けられたい旨白川宿・助郷村々願書) 奥州道中白川宿役人惣代問屋年寄常盤彦之助外一名 道中御奉行所様 文久二年二月

折紙 一通 一四三

乍恐以書付奉願上候(太田川宿先問屋弥次右衛門梓弥市郎に問屋見習弥次右衛門弟卷太に後見仰付られたい旨願書) 願人卷太・親類惣代赤羽村庄屋国二郎 塙御役所(宛) 文久四年二月

堅繼紙 一通 五五

差上申一札之事(長沼勢至堂両宿助郷勤方に付御請証文) 岩瀬部長沼勢至堂右両宿役人惣代勢至堂宿問屋慎平外十名 慶応元年一〇月二日

包紙入 堅繼紙 一通 一六九

(根田宿外四ヶ宿人馬賃銭割増関係書類写) 慶応元年

横長美 一冊 一五八

御国恩之御自愛を以無賃繼立奉願上候(箭保明写) 陸奥国伊達郡松沢村百姓衆八 陸奥国外三十二ヶ国宿村在町御問屋衆中様・御年寄衆中様・御百姓衆中様 慶応二年八月

横長半折 一冊 一五八

(人馬御繼立損益調書上帳・道橋普請仕法書調帳等) 岩代国岩瀬郡須賀川宿免願人逸作 明治三年

美 一冊 一四〇

御証文御触書(白板・白川・芦野・鍋掛四宿当分助郷村々書上) 寅

横長美 二冊 一五四

御朱印御証文領主人馬繼立遣訳(奥州道中白川宿) 白川検断・町年寄 辰一二月

横切繼紙 一通 一三四〇

(矢吹・久米石・中畑新田助郷人馬割帳)

横長美 一冊 一五四

覚(鍋掛・芦野・白川等各宿助郷村々書上)

横長美 一冊 一五四

(野州芦野宿差村書上)

横長美 二冊 一七三

駒 付 役

役 儀

覚(駒付役御扶持方渡し手形) 塙御役所 駒付役小林仲右エ門(宛) 弘化二年二月

堅切紙 一通 二〇七

乍恐以書付奉願上候(小林仲右衛門から梓良助への駒付役譲役願書) 小林仲右衛門 寺西直次郎様塙御役所(宛) 弘化二年二月/浅川町駒付役矢吹茂次右衛門奥書 弘化二年二月

包紙入 堅繼紙 一通 二〇三

入置申一札之事(金子借用し、駒付役御用勤めは名左衛門に任せる旨一札) 二子塚村駒附役小林仲右衛門外二名 踏瀬村箭内名左衛門殿 嘉永七年二月

包紙入 堅繼紙 一通 二〇四

(二子塚村駒付役小林仲右衛門病氣に付分金取立方駒代金渡方等は名左衛門が代行する件書留) 安政二年三月

横長美 一冊 二〇三

為取替置一札之事(駒附役譲渡証文) 二子塚村駒付役譲渡人小林仲右衛門・同人伴同良助外二名 踏瀬村引受人箭内名左衛門殿 安政二年八月

包紙入 堅繼紙 一通 二〇五

為取替置一札之事(駒附役譲請証文) 踏瀬村譲請人箭内名左衛門外一名 二子塚村譲渡人小林仲右衛門殿 安政二年八月

包紙入 堅繼紙 一通 二〇六

乍恐以書付奉願上候(二子塚村駒附役小林仲右衛門退役願書) 右退役願人小林仲右衛門・踏瀬村庄屋後役願人名左衛門外三名 大竹左馬太郎様浅川御役所(宛) 安政二年九月/白川郡中新城村駒付役小針十次右衛門外二名及び小林仲右衛門外四名奥書

堅繼紙 一通 二〇七

(小林仲右衛門・箭内名左衛門への駒付役扶持  
方渡し手形) (安政二年・慶応三年)

袋入 一五通 二〇二

御尋ニ付以書付奉申上候 (二子塚村小林仲右  
衛門駒附役由緒書) 小林仲右衛門代踏瀬村検断  
庄屋名左衛門 浅川御役所 (宛) 安政四年一月

堅綴紙 一通 二〇六

駒付役被仰付候御書付

包紙入 二通 二〇九

1 (呼出状) 浅川御役所 踏瀬村庄屋名左衛門  
(宛) 已 (安政四年) 九月二〇日

小切紙 一通 二〇七

2 (駒付役の義に付呼出状) 塙御役所 踏瀬  
村庄屋名左衛門 (宛) 已 (安政四年) 九月八  
日

小切紙 一通 二〇七

乍恐以書附奉願上候 (箭内名左衛門病身に付  
駒付役御免願書) 右願人箭内名左衛門・長百姓  
鹿藏組頭馬之助・同利八 塙御役所 (宛) 文久三  
年十一月・慶応二年三月・慶応三年四月

包紙入 一通 二〇四

乍恐以書付奉願上候 (箭内名左衛門駒附役御  
免願書) 右願人箭内名左衛門外三名 多田銃三郎  
塙御役所 (宛) 慶応三年三月

堅綴紙 一通 二〇六

駒附役并酒造株譲渡之始末ケ條書ヲ以左ニ申  
上候事 小林仲右衛門 箭内名左衛門様 卯月十  
一日

堅綴紙 一通 二〇四

(御扶持方請取るべき旨書付) 塙御役所 駒付  
役小林仲右衛門 (宛) 已 二月一日・未 二月  
二三日・午 二月一日

堅切紙 一綴 (三通) 一九六

浅川矢吹茂次右衛門書状 (箭内名左衛門に駒付  
役相続方仰付られる旨) 浅川矢吹茂次右衛門 踏  
瀬村箭内名左衛門様 九月二〇日

封紙入 一通 三六三  
横切綴紙

為取替置一札之事 (駒附役譲渡証文) [下書]

堅紙 一通 二〇五十二

駒御用留

駒御用留 箭内 安政二年二月

横美半折 一冊 二〇六二

駒御用書留 箭内義信 慶応二年三月改

横美半折 一冊 二〇七五

駒御用留 箭内義信代 明治三年正月 (同四年  
三月)

横美半折 一冊 二〇七

駒御用留 踏瀬駅住居箭内義信代 明治四年三月  
(同八年八月)

横美半折 一冊 二〇七九

駒改

当歳駒

当辰出生駒相調書上帳 右村 (白川郡高木村)  
長百姓忠八・組頭与作・庄屋伝右衛門 二子塚村御  
駒付役小林仲右衛門殿 安政三年二月

横長美 一冊 一九七二

当辰出生駒相調書上帳 二子塚村長百姓一名・  
組頭二名・兼帯庄屋名左衛門 駒附役小林仲右衛門  
殿 安政三年二月

横長美 一冊 一九七三

辰当才駒相調書上帳 (白川郡) 太田輪村長百姓  
組頭各一名・若栗新田嘉左衛門新田長百姓組頭各一  
名・右村々庄屋太田輪村弥三郎 二子塚村駒御附所  
(宛) 安政三年二月

横長美 一冊 一九七四

当辰出生駒相場改書上帳 右村白川郡 (滑津村  
上組) 組頭十右衛門・同直三郎・庄屋半藏 小林仲  
右衛門殿 安政三年二月

横長美 一冊 一九七五

当辰出生駒取調書上帳 白川郡 (川原田村) 長  
百姓源兵衛・組頭岩藏・庄屋為三郎 二子塚村御駒  
附所小林仲右衛門殿 安政三年二月

横長美 一冊 一九七六

当已出生駒相調書上帳 (高木村) 長百姓忠八・組頭房藏・庄屋伝右衛門 御駒附所箭内名左衛門殿 安政四年二月四日	横長美	一冊	一九七
覚 (白川郡松原新田村当才駒書上) 松原新田長百姓久吉・組頭伝五郎・兼帯金山村庄屋鈴木伝六郎 駒附所 (宛) 安政四年二月	折紙	一通	一九七・一・三綴
覚 (白川郡関場村当才駒書上) 長百姓米右衛門・組頭林之助・庄屋佐藤宣藏 駒附所 (宛) 安政四年二月	折紙	一通	一九七・二
当已出生駒相調書上帳 (白川郡川原田村) 組頭岩藏・同平重・庄屋為三郎 御駒附所箭内名左衛門殿 安政四年二月	横長美	一冊	一九七
当已出生駒相調書上帳 二子塚村長百姓忠兵衛・組頭喜代松・同源右衛門 踏瀬宿御駒役所 (宛) 安政四年二月	横長美	一冊	一九八
当已出生駒相調書上帳 (白川郡) 太田輪村長百姓組頭各一名・若栗新田村長百姓組頭各一名・右村々庄屋太田輪村弥三郎 踏瀬宿御駒附所 (宛)	横長美	一冊	一九八
当才駒子相調書上帳 (白川郡) 滑津村上組百姓代林左衛門・組頭直三郎・庄屋半藏 御駒附箭内名左衛門殿 安政四年二月	横長美	一冊	一九八
当才駒子相調書上帳 (白川郡) 滑津村下組長百姓甚五兵衛・組頭利市・庄屋雄助 踏瀬宿御駒附箭内名左衛門殿 安政四年二月	横長美	一冊	一九八
当已午出生駒相改帳 駒附役箭内名左衛門 安政四年二月	横美半折	一冊	一九四
当才駒相調書上帳 右村 (白川郡太田輪村) 長百姓伝三郎・組頭留吉・庄屋弥三郎 踏瀬村御駒附所 (宛)	横長美	一冊	一九三
当才駒相調書上帳 右村 (白川郡高木村) 長百姓忠八・組頭与作・庄屋伝右衛門 踏瀬村御駒附所 (宛)	横長美	一冊	一九七・一・三綴
当才駒相改書上帳 右村 (白川郡滑津村上組) 長百姓茂左衛門・組頭 [ ]・庄屋半藏・駒附役箭内名左衛門殿 安政五年一月	横長美	一冊	一九七・二
当午出生駒相改帳 (白川郡滑津村下組) 庄屋雄助・組頭梅吉・惣百姓甚右衛門 安政五年一月	横長美	一冊	一九八
当午出生駒相調書上帳 (二子塚村) 長百姓平重・組頭喜代松・同初吉 踏瀬宿御駒役所箭内名左衛門殿 安政五年二月	横長美	一冊	一九八
戌年出生駒改帳 踏瀬村駒附所 文久二年二月	横美半折	一冊	一九七・二
亥年出生駒改帳 踏瀬村駒附所 文久三年二月	横美半折	一冊	一九八・三
当午出生駒相調書上帳 右村 (白川郡川原田村) 長百姓栄左衛門・組頭岩藏・同平十・庄屋為三郎 踏瀬村駒附役箭内名左衛門殿 寛政五年一月	横長美	一冊	一九八
未当才駒御改帳 (白川郡滑津村両組) 長百姓二名・組頭二名・庄屋二名 踏瀬村御駒附所 (宛) 安政六年一月	横長美	一冊	一九八・一・五綴
覚 (二子塚村馬書上)	折紙	一通	一九八・二
当未老才駒書上帳 (白川郡川原田村) 長百姓徳次郎・組頭宇平・同勝吉・庄屋為三郎 踏瀬宿御駒附所 (宛) 安政六年二月	横長美	一冊	一九八・三
当未老才駒書上帳 右村 (白川郡太田輪村) 長百姓伝三郎・組頭留吉・庄屋弥三郎 踏瀬宿御駒附所 (宛) 安政六年二月	横長美	一冊	一九八・四
当未出生駒毛附相改書上帳 (白川郡高木村) 長百姓忠八・組頭忠三郎・庄屋伝右衛門 踏瀬宿御駒付所 (宛) 安政六年一月	横長美	一冊	一九八・五
当申生駒相調書上帳 白川郡滑津村上組長百姓林左衛門・組頭直三郎・庄屋半藏 御駒附箭内名左衛門殿 万延元年一月	横長美	一冊	一九七



寅当才駒相調書上帳 (白川郡) 太田輪村長百性組頭各一名・若栗新田村長百性組頭各一名・右村々庄屋文右衛門 踏瀬村御駒附所 (宛) 慶応二年二月	横長美 一冊 二〇六
寅出生駒取調書上帳 (二子塚村) 長百性喜代松・組頭市藏・庄屋惣兵衛 慶応二年二月	横長美 一冊 二〇七
寅出生駒取調書上帳 (白川郡) 滑津村両組長百性二名・組頭二名・庄屋二名 駒附役箭内名左衛門殿 慶応二年二月	横長美 一冊 二〇〇
当卯出生駒相調書上帳 右村 (白川郡滑津村両組) 長百性一名・組頭二名・庄屋二名 駒附役箭内名左衛門殿 慶応三年一月	横長美 一冊 二〇八
御出生駒改帳 駒附役箭内名左衛門 慶応三年一月	横美半折 一冊 二〇九
辰出生駒毛附取調書上帳 右村 (白川郡高木村) 百性代紋之助・組頭辰藏・庄屋佐市右衛門 踏瀬宿駒附役箭内名左衛門殿 明治二年三月	横長美 一冊 二〇一
未出生駒牝馬取調書上帳 二子塚村長倉忠太・長倉常三郎・小林惣兵衛 踏瀬村御駒方箭内名左衛門殿 明治四年二月	横長美 一冊 二〇五
未出生駒牝馬取調書上 白河郡滑津村長百性二名・与頭二名・庄屋二名 踏瀬村御駒方箭内名左衛門殿 明治四年二月	横長美 一冊 二〇九・一・二綴
記 (当未出生馬取調書上) 白河郡川原田村近藤柳右衛門・鈴木宇平 踏瀬村箭内名左衛門殿 明治四年二月	折紙 一通 二〇九・二
未出生駒并女馬改帳 踏瀬村駒方所 (明治四年九月)	横美半折 一冊 二〇三
丑出生駒改帳 箭内名左衛門 一月	横美半折 一冊 二〇四
寅出生駒改帳 箭内名左衛門 一月	横美半折 一冊 二〇五

式 歳 駒

当辰式歳駒改廻村帳 二子塚村駒附役小林仲右衛門手控 安政三年三月	横美半折 一冊 一九七
当巳式才駒改廻村帳 駒附役 安政四年三月	横美半折 一冊 一九八
当午式歳駒改廻村帳 駒付役箭内名左衛門 安政五年三月	横美半折 一冊 一九五
当午式才駒相改書上帳 (白川郡川原田村) 組頭平十・同名藏・庄屋為三郎 踏瀬宿御駒附所箭内名左衛門殿 安政五年三月	横長美 一冊 一九六
当未式才駒改帳 踏瀬村駒附所 安政六年三月	横美半折 一冊 一九三
当未式才駒改廻村牒 駒附役箭内名左衛門 安政六年三月	横美半折 一冊 一九三
当申式才駒改廻村帳 駒附役箭内名左衛門 安政七年三月	横美半折 一冊 一九五
式才駒改書上帳 右村 (白川郡川原田村) 長百性徳次郎・組頭勝吉・同半平・庄屋能登次 踏瀬宿箭内名左衛門様 文久元年三月	横長美 一冊 二〇二
当巳式才駒取調書上帳 白川郡川原田村長百性金右衛門・組頭良平・庄屋茂平 駒附役箭内名左衛門殿 明治二年三月二日	横長美 一冊 二〇三
当巳式才駒取調書上帳 白川郡滑津村両組長百性林左衛門・組頭助藏・庄屋忠左衛門・同半藏 駒附役箭内名左衛門殿 明治二年三月二日	横長美 一冊 二〇三
当巳式才駒取調書上帳 二子塚村長百性市三郎・組頭常三郎・庄屋惣兵衛 駒附役箭内名左衛門殿 明治二年三月二日	横長美 一冊 二〇六
当巳式才駒相調書上帳 (白川郡) 太田輪村長百性組頭一名・若栗新田村長百性組頭各一名・右村々庄屋保之助 踏瀬村御駒附所 (宛) 明治二年三月	横長美 一冊 二〇四

式歲駒牝馬改帳 踏瀨駒方 明治三年一月

(式才駒書上) 右村(清津村カ) 組頭二名・庄屋二名 踏瀨村御駒附役矢内名左衛門殿 子十一月

羅 駒

御羅駒相調書上帳

石川町御羅駒相調書上帳 二子塚村駒付役小林仲右衛門 浅川御役所(宛) 弘化三年四月

石川町御羅駒相調書上帳 二子塚村駒付役小林仲右衛門 浅川御役所(宛) 弘化四年五月

石川町御羅駒代金帳(控) 二子塚村駒付役小林仲右衛門 浅川御役所(宛) 安政二年三月

石川御羅駒相調書上帳(控) 二子塚村駒附役小林仲右衛門病氣ニ付名左衛門代印 浅川御役所(宛) 安政三年三月

石川御羅駒相調書上帳 二子塚村駒附役小林仲右衛門 浅川御役所(宛) 安政四年三月

御羅駒一件 踏瀨村駒附役箭内名左衛門 安政五年三月

※1 石川町御羅駒代金相調書上帳 踏瀨村駒附役箭内名左衛門 浅川御役所(宛) 安政五年四月

※2 (分金取立分・駒代金渡方書上帳) 3 石川御羅駒相調書上帳 踏瀨村駒附役箭内名左衛門 浅川御役所(宛) 文久二年三月

4 石川御羅駒相調書上帳 踏瀨村駒附役箭内名左衛門 浅川御役所(宛) 安政五年三月

石川御羅駒相調書上帳 踏瀨村駒付役箭内名左衛門 浅川御役所(宛) 安政七年閏三月

横長半折 一冊 二〇六

折紙 一通 二〇九・二

横長美 一冊 二〇五

横長美 一冊 二〇七

横長美 一冊 二一〇

横長美 一冊 二一四

横長美 一冊 二一七

袋入 四冊 二九二

横長美 一冊

横長美 一冊

横長美 一冊

横長美 一冊 二六八

石川御羅駒相調書上帳 踏瀨村駒付役箭内名左衛門 浅川御役所(宛) 文久元年三月

石川御羅駒御用書物入 箭内 文久三年三月

※1 (馬手形) 2 石川御羅駒代金相調書上帳 踏瀨村駒付役箭内名左衛門 浅川御役所(宛) 文久三年四月

※3 亥年出生駒改帳 踏瀨村駒附所 文久三年二月

※4 亥御羅駒代金取立帳 駒附役箭内名左衛門 文久三年三月

5 石川御羅駒相調書上帳 踏瀨村駒付役箭内名左衛門 浅川御役所(宛) 文久三年三月

※6 御羅駒代金渡方并分金取立帳 踏瀨村駒附所 文久三年三月

石川御羅駒相調書上帳 踏瀨村駒附役箭内名左衛門 小名浜御役所(宛) 元治元年三月

石川御羅駒相調書上帳 踏瀨村駒附役箭内名左衛門 浅川御役所(宛) 元治二年三月

石川御羅駒相調書上帳 踏瀨村駒附役箭内名左衛門 浅川御役所(宛) 慶応二年三月

石川御羅駒相調書上帳 踏瀨村駒付役箭内名左衛門 浅川御役所(宛) 慶応三年三月

石川御羅駒相調書上帳 踏瀨村駒附役箭内名左衛門 浅川御役所(宛) 慶応四年三月

当午御羅駒相調書上帳 駒方名左衛門 白河県勸業局御役所(宛) 明治三年四月

当午御羅駒相調書上帳 駒方名左衛門 白河県御役所(宛) 明治三年

横長美 一冊 二五五

袋入 五冊 二六〇

小切紙 一三三 通

横長美 一冊

横長半折 一冊

横長半折 一冊

横長美 一冊

横長美 一冊 二九三

横長美 一冊 二九三

横長美 一冊 二九三

横長美 一冊 二九二

横長美 一冊 二九三

横長美 一冊 二九〇

横長美 一冊 二六八



御羅駒代金取立帳

御羅駒代金分銀取立牒 箭内 弘化三年三月	横美半折 一冊 一九〇六
御羅駒代金取立帳 二子塚村駒付役小林仲右衛門 弘化四年三月	横美半折 一冊 一九〇八
御羅駒代金取立帳〔断簡〕 駒附役小林仲右衛門 代箭内名左衛門 安政二年三月	一通 一九一二
御羅駒代金取立帳 箭内 安政三年三月	横美半折 一冊 一九一三
御羅駒代金取立帳 箭内 安政四年三月	横美半折 一冊 一九一六
御羅駒代金取立帳 箭内名左衛門 安政五年三月	横美半折 一冊 一九二〇
御羅駒代金取立牒 箭内 安政六年三月	横美半折 一冊 一九二三
〔石川カ〕御羅駒御用書物入 踏瀬宿駒附役箭内名左衛門 文久二年三月	袋入 二冊 一九二七
1 戊御羅駒代金取立牒 駒附役箭内名左衛門 文久二年三月	横美半折 一冊 一九二七
※2 戊年出生駒改帳 踏瀬村駒附所 文久二年二月	横美半折 一冊 一九二七
※亥御羅駒代金取立帳 駒附役箭内名左衛門 文久三年三月	横美半折 一冊 一九三〇・四
子御羅駒代金取立帳 駒附役箭内名左衛門 元治元年三月	横美半折 一冊 一九三三
御羅駒代金取立帳 踏瀬村駒附役箭内名左衛門 元治二年三月	横美半折 一冊 一九三三
御羅駒代金取立帳 踏瀬村駒附役箭内名左衛門 慶応二年三月	横美半折 一冊 一九三八
御羅駒代金取立帳 踏瀬村箭内名左衛門 慶応三年三月	横美半折 一冊 一九四二

御羅駒代金取立帳 駒附役箭内名左衛門 慶応四年三月

横美半折 一冊 一九四四

石川御羅駒代金取立帳 箭内氏 明治二年三月

横美半折 一冊 一九四六

御羅駒代金取立帳 箭内義信 明治〇年三月

横美半折 一冊 一九五一

御羅駒代金渡方并分金取立帳

御羅駒代金渡方并分金取立帳 踏瀬村駒附所 文久元年三月

横長美 一冊 一九四四

御羅駒代金渡方并分金取立帳 踏瀬村駒附所 文久二年三月

横長美 一冊 一九四六

石川御羅駒御用書物入 箭内 元治元年三月

袋入 一通 一九六〇

1 (御羅駒分金取立分・駒代金渡方・馬喰取立分書上帳) 寅三月

横長美 一冊 一九六〇

2 覚 (御羅場勘定書) (文久二年・慶応三年)

折紙 一通 一九六〇

※御羅駒代金渡方并分金取立帳 踏瀬村駒附所 文久三年三月

横長美 一冊 一九〇六

(御羅駒分金取立分・駒代金渡方・馬喰取立分書上帳) 丑 (慶応元年カ) 三月

横長美 一冊 一九六六

(御羅駒分金取立・駒代金渡方書上帳) 子三月

横長美 一冊 一九七〇

※(分金取立分・駒代金渡方書上帳)

横長美 一冊 一九二一

御羅駒代金相調書上帳

石川町御羅駒代金相調書上帳 二子塚村駒附役小林仲右衛門 浅川御役所 (宛) 安政二年四月

横長美 一冊 一九二三

石川町御羅駒代金相調書上帳 二子塚村駒附役小林仲右衛門 浅川御役所 (宛) 安政三年四月

横長美 一冊 一九二五

石川町御羅駒代金相調書上帳 二子塚村駒附役小林仲右衛門 浅川御役所 (宛) 安政四年四月

横長美 一冊 一九二八



乍恐以書附奉願上候(佐市右衛門所持の馬浅川御用場にて御羅御付られたい旨願書) 右(白川郡高木村) 佐市右衛門外二名 駒附役箭内名左衛門殿 元治二年三月	包紙入 一通 一五三
以書付奉願上候(白川郡金山村平三郎所持の馬病氣に付御羅御免願書) 庄屋鈴木伝六郎 中新城村御駒附所(宛) 元治二年四月二七日	堅紙 一通 一五八
石川御羅駒一件相調書上帳 白川郡踏瀬村駒附役箭内名左衛門・田村郡中津川村同村上寛一郎・白川郡中新城村同小針六右衛門・石川郡浅川町同矢吹齊右衛門 白川民政御取締御役所(宛) 明治二年三月五日	美 一冊 一五五
駒羅見込書上書(駒羅に付是迄取扱向及び新規見込等書上) 白川石川岩瀬田村四郡駒方四人 午(明治三年) 正月	半 一冊 一五七
記(明治維新に付羅駒規定改定書) 午(明治三年) 二月	半 一冊 一五五
(羅駒規則) 午(明治三年) 二月	美 一冊 二〇〇
記(石川町分羅駒代金算加小役等書上) 石川町駒方武助・踏瀬村同名左衛門・中新城村同六右衛門・浅川町同斎右衛門 白河県勸業御役所(宛) 明治三年四月	横長美 一冊 一五九
(出頭を命ずる急書付) 塙御役所 踏瀬村庄屋名左衛門(宛) 寅四月九日	包紙入 一通 一五三
(小林仲右衛門代として石川町駒羅へ罷出るべき旨書付) 浅川御役所 踏瀬村庄屋名左衛門(宛) 卯三月一八日	小切紙 一通 一五三
覚(二子塚村分金納入督促状) 卯三月	横切紙 一通 一五九
覚(羅駒代金書上) 箭内名左衛門 矢吹茂次右御門様 卯四月二九日	横切紙 一通 一五九

(小林仲右衛門代として石川町駒羅へ罷出るべき旨廻状) 浅川御役所 踏瀬村庄屋名左衛門(宛) 辰三月一四日	包紙入 一通 一六一
(小林仲右衛門代として石川町駒羅へ罷出るべき旨書付) 浅川御役所 踏瀬村庄屋名左衛門(宛) 巳三月一九日	包紙入 一通 一五九
(白河春羅に付出頭を命ずる書付) 塙御役所 踏瀬村庄屋名左衛門(宛) 巳八月一三日	包紙入 一通 一五三
覚(羅駒相違ない旨一札) 川原田村庄屋為三郎 踏瀬村駒附役箭内名左衛門殿 午二月	小切紙 一通 一五二
(出頭を命ずる書付) 浅川御役所 踏瀬村庄屋名左衛門(宛) 亥五月六日	包紙入 一通 一五三
※(羅駒・種駒の件に付書簡) 小林仲右衛門 箭内名左衛門(宛) 三月二四日	堅紙 一通 二七〇
覚(川原田村分羅駒分金未納分書上) 箭内名左衛門 加藤半兵衛様 四月一五日	横切紙 一通 一五二
覚(先の改の節帳落の馬書上) 為三郎 箭内名左衛門様 一二月二日	小切紙 一通 一五三
※(馬手形)	小切紙 一通 一五二
(馬手形)	小切紙 一通 一五二
仮議定之事(白川町の駒羅を秋から春に廻すに付議定書) 白川町駒付藤内外五名・郡中惣代 塙御役所(宛)	横切紙 一通 一五三
覚(川原田村分羅駒分金取立額書上)	横切紙 一通 一五三
(馬手形)	小切紙 一通 一五三
(馬手形)	小切紙 一通 一五三

(馬手形)

(駒羅代金書上)

種 駒

拝借仕種駒年賦金之事 (石川郡大畑村) 長百姓 弥右衛門・組頭鉄藏・庄屋忠七 浅川町御駒附所 (宛) 天保二三年三月	堅藤紙	一通	二〇六
拝借仕種駒代金之事 滑津村下組勝五郎親類次右 衛門外八名 踏瀬村箭内名左衛門殿 安政二年三月	包紙入 堅藤紙	一通	二〇七
乍恐以書付奉願上候 (種駒不足に付金子拝借 願書) (白川郡太田輪村) 長百姓広吉・結頭留吉・ 庄屋弥三郎 一子塚村御駒附所 (宛) 安政二年三 月	堅紙	一通	二〇八
以書附奉願上候 (種駒拝借願書) 右村 (白川 郡滑津村下組) 長百姓二名・組頭二名・庄屋一名 踏瀬村箭内名左衛門殿 安政二年三月	堅紙	一通	二〇九
種駒代金貸附帳 駒附役箭内名左衛門 安政二年 三月	横美半折	一冊	二〇〇
以書附奉願上候 (種駒拝借願書) 右村 (二子 塚村) 願人久之丞外三名 小林仲右衛門殿 安政三 年三月	包紙入 堅紙	一通	二〇四
拝借仕種駒代金之事 右村 (白川郡滑津村下組) 忠三郎組合米八外四名 二子塚村駒付役小林仲右衛 門殿 安政三年三月	包紙入 堅藤紙	一通	二〇四
種駒年賦証文之事 関場村願人栄藏外五名 駒付 御役所 (宛) 安政三年三月	堅藤紙	一通	二〇四
拝借仕年賦証文之事 (種駒拝借) 二子塚村借用 人久之丞外五名 二子塚村小林仲右衛門殿	包紙入 堅藤紙	一通	二〇四

箭内家文書目録(その二) 駒付役

以書付奉願上候 (種駒拝借願書) (石川郡大草 村) 庄屋市右衛門 浅川駒附御役所 (宛) 安政四 年三月二七日	堅紙	一通	二〇四
拝借仕種駒代金之事 (二子塚村) 拝借人忠兵衛 外四名 一子塚村御駒附所 (宛) 安政四年三月	堅紙	一通	二〇六
乍恐以書付奉願上候 (種駒拝借願書) 右村 (白川郡高木村) 長百姓忠八・組頭与作・庄屋伝右 衛門 御役所 (宛) 安政四年三月	堅紙 1041・二同 包紙入	一通	二〇七
乍恐以書付奉願上候 (種駒拝借願書) 右村 (白川郡高木村) 長百姓忠八・組頭与作・庄屋伝右 衛門 塙御役所 (宛) 安政四年三月	堅紙	一通	二〇七
以書付奉願上候 (種駒拝借願書) 右村 (白川 郡滑津村下組) 願人重五郎外四名 御駒附箭内名左 衛門殿 安政五年二月	包紙入 堅藤紙	一通	二〇八
拝借仕種駒代金之事 右村 (白川郡滑津村下組) 勝五郎組合源藏八名 踏瀬宿駒附御役箭内名左衛門 殿 安政五年三月	堅藤紙	一通	二〇九
以書付奉願上候 (種駒拝借願書) (白川郡若栗 新田村) 組合平八外三名 踏瀬村御駒附役箭内名左 衛門殿 安政五年三月	包紙入 堅紙	一通	二一〇
拝借仕種駒代金子事 (白川郡高木村願人) 定吉 親類柳藏外三名 踏瀬村御駒附所 (宛) 安政六年 三月	包紙入 堅藤紙	一通	二一五
種駒拝借証文之事 白川郡川原田村拝借人文右衛 門外六名 踏瀬宿御駒附所 (宛) 安政六年三月	包紙入 堅藤紙	一通	二一五
乍恐以書付奉願上候 (種駒拝借願書) (白川郡 川原田村) 長百姓徳次郎外二名 踏瀬村駒附箭内名 左衛門殿 安政六年三月	包紙入 堅紙	一通	二一五
拝借仕種駒年賦金之事 右 (白川郡川原田村) 拝借人吉郎治外五名 踏瀬村御駒附所 (宛) 文久 元年三月	包紙入 堅藤紙	一通	二一五

乍恐書付を以奉願上候(種駒拝借願書) 右村 (白川郡滑津村上組) 長百姓茂左衛門外二名 御駒 附役箭内名左衛門殿 文久二年三月 包紙入 一通 二七五	種駒拝借人別相調書上帳 踏瀬村駒附役箭内名 左衛門 浅川御役所(宛) 文久三年一月 横長美 一冊 二七五	拝借種駒代金之事 右村(白川郡滑津村下組) 拝 借人袈松外四名 踏瀬宿駒附御役箭内名左衛門殿 文久三年三月 包紙入 一通 二七五	以書附御届奉申上候(拝借種駒病死に付届書) 右村(白川郡滑津村下組) 長百姓甚五兵衛外二名 踏瀬村駒附御役箭内名左衛門殿 文久三年八月 包紙入 一通 二七五	以書附御届申上候(拝借種駒病死に付届書) [下書] 右村(白川郡滑津村下組) 長百姓・組頭・ 庄屋 踏瀬村駒付役箭内名左衛門殿 文久三年九月 小切紙 一通 二七五	以書付御届申上候(拝借種駒病死に付届書) 右村(滑津村下組) 長百姓直右衛門外二名 踏瀬村 御駒付所(宛) 文久二年九月 包紙入 一通 二七五	乍恐以書附御届奉申上候(白川郡滑津村袈松 松拝借の種駒死亡に付見分届書) 踏瀬村駒付 役箭内名左衛門 御役所(宛) 文久三年一〇月 包紙入 一通 二七五	乍恐以書付奉願上候(種駒拝借願書) 右(白 川郡高木村) 長百姓忠八外二名 踏瀬村駒附役箭内 名左衛門殿 文久四年三月 包紙入 一通 二七〇	拝借仕種駒代金之事 右村(白川郡滑津村下組) 願人伊之吉外五名 踏瀬村駒附御役箭内名左衛門殿 元治元年三月 包紙入 一通 二七一	乍恐以書付奉願上候(種駒不足に付金子拝借 願書) 右(白川郡太田輪村) 願人源左衛門外三名 踏瀬村御駒付所(宛) 元治一年三月 包紙入 一通 二〇五
種駒拝借金年賦証文之事(白川郡) 太田輪村拝 借人源左衛門外三名 踏瀬村御駒附役箭内名左衛門 殿 元治二年三月 包紙入 一通 二七二	以書附奉願上候事(父駒拝借願書) 二子塚村 願人惣左衛門外三名 踏瀬村箭内名左衛門様 慶応 二年三月 包紙入 一通 二七三	種駒代金拝借金年賦証文之事 滑津村上組拝借人 右藏右衛門外五名 駒附役踏瀬村箭内名左衛門殿 慶応二年五月 包紙入 一通 二七四	覚(白川郡川原田村文右衛門種駒願書) 庄屋 能登次 御駒附所(宛) 子三月一七日 小切紙 一通 二七六	(馬代金年賦返納分書上) (子)未 種駒代返納午済口 駒付所 午十一月一七日 折紙 一通 二七九	※(種駒・種駒の件に付書簡) 小林仲右衛門 箭 内名左衛門様 三月二十四日 包紙入 一通 二七〇	覚(拝借種駒に関する申付廻達) 二子塚村駒 付小林惣左衛門 川原田村外二十七ヶ村庄屋中(宛) 四月一〇日 横長美 一冊 二七一	(当村忠三郎駒代金借用の件に付書簡) 祐輔 箭内名左衛門様 七月九日 包紙入 一通 二七二	(種駒貸付方取調に付書簡) 小林仲右衛門 箭 内名左衛門 八月三〇日 包紙入 一通 二七三	駒付役諸事 辰御廻駒帳 二子塚村駒付小林武助 文化五年四 月 袋入 一通 二〇六

1 辰御廻駒御役金錢相調書上帳 滑津組前田川組組外四ヶ村二子塚村駒付小林武助 駒御奉行所 (宛) 文化五年四月 2 辰御役金割合之覚	横長美 一冊
乍恐以書付奉願上候 (駒附役持場村替願書) 踏瀬村駒附役箭内名左衛門・中新城村駒附役小針六右衛門 浅川御役所 (宛) 安政五年四月／安政五年六月塙御役所宛箭内名左衛門・小針六右衛門奥書	包紙入 一通 二五三
一札之事 (駒附役持場村替に付村方請書) 百姓惣代清三郎・組頭林之助・庄屋定藏 中新城村駒付役小針六右衛門殿・踏瀬村駒付役箭内名左衛門殿 安政五年五月	堅紙 一通 二五三
村高種駒女馬取調書上帳 右村 (白川郡川原田村) 長百姓榮之助・組頭宇平・同良平・庄屋茂平 踏瀬村駒方所 (宛) 明治三年三月晦日	美 一冊 二〇七
(牧馬掛心得規則等) 明治三年	半 一冊 二〇五
拝借金証書之事 石川町村駒方武助・踏瀬村同名左衛門・中新城村同六右衛門・浅川町村同齋右衛門 白河県勸業御役所 (宛) (明治三年カ)	堅紙 一通 二六六
牧牛馬御掛り 駒方役江御渡書附 (書上雛形) 踏瀬村駒方控 明治四年正月	半 一冊 二〇六
乍恐以書附御届奉申上候 (持馬死亡届) 右村 (白河郡滑津村) 馬主小室耕吉外四名 白河県御役所 (宛) 明治四年二月	堅紙 一通 二〇三
乍恐斃馬容舁書 (白河郡滑津村) 馬医諸根助太郎・小室耕吉 村御役元 (宛) 明治四年二月／馬主小室耕吉外三名奥書	堅紙 一通 二〇四
卒未駒駄改帳 (踏瀬村・拾軒新田・七軒新田) 踏瀬村馬目附龜右衛門・長百姓源右衛門・組頭理八・駒方庄屋箭内名左衛門 白河県牧牛馬掛御役所 (宛) 明治四年三月一四日	美 一冊 二六七

箭内家文書目録(その二) 駒付役・箭内家

旅籠帳 駒方箭内名左衛門 午	横美半折 一冊 一五五二
覚 (十右衛門外八名分馬喰馬指代金御取立方願書) (二三) 七一一一八四の包紙に使用 箭内名左衛門 未五月 (日附馬喰旁名前等書上)	折紙 一通 三二一六
箭 内 家	折紙 一通 二〇五九一
由 緒 ・ 格 式	折紙 一通 二五七三
(帶刀許可状) 安孫右外三名 組外踏瀬村庄屋箭内名左衛門方 (宛) 宝曆九年八月二五日 (箭内名左衛門に年寄格申付けの旨書付) 岡権九・山止兵・上十郎兵 組外踏瀬村庄屋箭内名左衛門方 (宛) 享和三年四月一八日 (箭内名左衛門に大庄屋格申付けの旨書付) 遠友左・関十右・三嘉右・井九右 組外踏瀬村庄屋箭内名左衛門殿 文化四年三月二八日 白川左兵衛佐義親旧臣性名 (白河家靈廟修復に付献金者書上) 仙台白川七郎内富田勇右衛門 嘉永四年四月改メ 由緒書 踏瀬村検断・庄屋名左衛門 浅川御役所 (宛) 安政四年二月 諸御用記録 (領主の変遷・箭内家系図・由緒書等) 箭内性 元治元年二月 結城義親公家臣箭内氏拜書御用書留 (先祖書) 箭内義信拜書 元治二年三月	横美半折 一冊 二六〇三 折紙 一通 五七六 包紙入 一通 五七五 折紙 一通 二六〇三 横美半折 一冊 二六〇三 半 一冊 二六〇 横美半折 一冊 四二五 横美半折 一冊 二六九一

永代定式記録〔系図・所持地等書上〕 箭内

横美半折 一通 二八五

# 酒 造

指上申酒造御請書之事〔酒造高減石に付〕 滑津組二子塚村酒造人庄屋小林惣左衛門外同村組頭三名 天明七年一〇月

縦紙 一通 一八五

酒造相調書上帳〔名左衛門酒造米高・酒造道具等書上〕 踏瀬村三役人 内田良平殿 天保一〇年二月

美 一通 一八六

乍恐以書付奉申上候〔酒造株取得経緯書上〕 右〔踏瀬宿〕稼人庄屋名左衛門・組頭理八 篠田藤四郎様塙御役所〔宛〕 天保二二年二月

縦紙 一通 一八七

酒造道具入用帳 箭内 天保二二年八月

横美半折 一通 一八九

覚〔壳渡した酒造道具類書上〕 大和久壳渡シ人才次外二名 踏瀬宿箭内名左衛門様 弘化二年一二月

縦紙 一通 二五六

酒壳帳 清□□内〔弘化〕二年

横長美 一通 一八〇

酒造仕入帳 淀屋多重 弘化四年八月

横美半折 一通 一八三

酒壳子控帳 淀屋 弘化五年正月

横長美 一通 一八四

※借用申金子之事〔箭内家の酒造以外は壳賣しない旨の取り決めあり〕 借用人久来石宿清五郎 踏瀬宿箭内名左衛門様 嘉永元年一月

縦紙 一通 二〇三

乍恐以書付奉願上候〔中石井村治平台宿村へ移住後も酒造を続けたい旨願書〕 右台宿村富三郎・名主重兵衛・中石井村治平・名主宗内 荒井清兵衛様塙御役所〔宛〕 嘉永二年一月

縦紙 一通 一八九

借用証文之事〔高久田村小前苗代肥しに焼酎相四十二俵借用〕 白川領高久田村セ話人文吉・同勘兵衛 踏瀬宿酒屋他重郎殿 嘉永六年三月

縦紙 一通 一八九

酒造仕入帳 此主箭内 安政二年九月〔同五年〕

横美半折 一通 一八三

酒壳帳 安政三年正月

横長美 一通 一八六

酒之通 箭内 二子塚村忠兵衛殿 安政五年正月

横美半折 一通 一八三

酒壳帳 踏瀬宿箭内 安政五年正月

横長美 一通 一八七

酒造仕込帳 箭内蔵・杜氏政蔵 安政五年八月

横美半折 一通 一八四

酒壳帳 安政六年正月

横長美 一通 一八六

酒壳帳 箭内 安政七年正月

横長美 一通 一八九

酒壳帳 箭内 文久三年正月

横長美 一通 一八五

差出申一札之事〔酒造株譲渡証文〕〔紙背に田谷善右衛門の借金証文あり〕 石川郡中野目村議人庄屋田谷善右衛門・立会人踏瀬村箭内名左衛門 白川郡関和久村庄十郎殿 元治元年一〇月

縦紙 一通 一九〇

借用申金子之事 中野目村借主田谷善右衛門・判人踏瀬村箭内名左衛門 関和久村酒屋庄重郎殿 元治元年一二月

縦紙 一通 一九〇

桶屋雛形有増記〔酒造道具寸法書上〕 大和久住桶屋職千代蔵信 慶応三年四月

折紙 一通 一八六

酒造仕入牒 箭内蔵淀屋杜氏 明治四年一〇月

横美半折 一通 一八六

酒造米并壳立代銭書拔 箭内蔵 明治五年五月改

横美半折 一通 一八八

酒造御鑑札御書替税并増石税金御下ケ願一件 諸入用 第三拾三区酒造人 明治五年五月

横長美 一通 一八〇

(箭内名左衛門醬油製造鑑札下付願書及許可通知) 願人箭内名左衛門外二名 福島県令安場保和殿 明治八年三月	一綴 一八六	堅紙 一通 二七六二
清酒桶御検査願 矢吹組踏瀬村願人箭内名左衛門外三名 福島県権令山吉盛典殿 明治一〇年一〇月二日/山吉盛典朱筆奥書	一冊 一八三三	美 一冊 一八三九
酒造組合條約書上申 踏瀬村箭内名左衛門 明治一〇年一〇月八日	一冊 一八三三	半 一冊 一八四〇
桶御検査願 踏瀬村製造人箭内名左衛門 第九区区长荒川留七殿 (明治) 一〇年一〇月二〇日	一冊 一八六一	折紙 一冊 一八六一
清酒桶御検査願 矢吹組踏瀬村人箭内名左衛門外一名 福島県権令山吉盛典殿 明治一〇年一〇月二五日	一冊 一八三一	美 一冊 一八三一
清酒桶御検査願 矢吹組踏瀬村願人箭内名左衛門外一名 福島県権令山吉盛典殿 明治一〇年一〇月二五日	一冊 一八四二	美 一冊 一八四二
記(組合清酒相場定書) 第九区矢吹組惣代酒井喜兵衛 明治一〇年一〇月一日	一通 一八六	堅紙 一通 一八六
(清酒桶石数書上) 第九区副戸長大野甚三郎 明治一〇年一〇月二日	一綴 (六通) 一八三一	一綴 一八三七
酒造御指令書并書類御用留(袋のみ) 箭内 明治一〇年一〇月一四年	一枚 一八三六	袋 一枚 一八三六
清酒増石願 矢吹組踏瀬村箭内名左衛門外三名 福島県権令山吉盛典殿 明治一一年四月二七日/福島県少書記官中條政恒朱筆奥書	一冊 一八三四	美 一冊 一八三四
酒造桶御検査御請書 右(踏瀬村酒造人) 箭内名左衛門外一名 福島県九等属仁井田穩重殿 明治一一年六月一四日	一冊 一八三三	美 一冊 一八三三
酒貸帳 箭内宝蔵 明治一一年	一冊 一八三三	横長美 一冊 一八三三

請書(酒造に付請書) 踏瀬村酒造人箭内名左衛門 第九区戸長根元俣次郎殿 明治一一年	堅紙 一通 二七六二
清酒醸造高御引直之願 酒造営業人願主箭内名左衛門外二名 福島県令山吉盛典殿 明治一二年五月二日/西白河郡長龜卦川尚辰及び福島県令山吉盛典奥書	美 一冊 一八三九
(酒桶検査に付請書及び酒桶御検査願) 明治一二年六月一三日	半 一冊 一八四〇
記(酒・焼酎価格定書) 矢吹組年番 明治一二年七月	一綴 (二通) 一八四〇
清酒醸造高御届 右営業人箭内名左衛門外一名 西白河郡長龜卦川尚辰殿 明治一二年一〇月一日	堅紙 一通 一八四一
十二年度酒類御検査控帳 矢吹組酒造営業人箭内名左衛門 明治一二年一〇月	美 一冊 一八四二
(酒桶御検査願等酒造関係書類綴) (明治一二年)	一綴 (七通) 一八四二
(明治一一年醸造高調等酒造関係書類綴) (明治一二年)	一綴 一八三七
(酒船御開封二付請書等酒造関係書類綴) (明治一二年)	一綴 一八三八
諸器械其他取調受書 矢吹組酒造営業人箭内名左衛門 福島県渡部忠熹殿 明治一三年一月二四日	美 一冊 一七九五
※(明治十三年度醸造分書上、并地所売買二付地券書換願) 明治一三年	折紙 一通 二三九一
(醸造桶御検査願及び酒類醸造営業願) 右願人箭内名左衛門外一名 西白河郡長龜卦川尚辰殿 明治一三年/龜卦川尚辰朱筆奥書	一綴 (二通) 一八三三



明治十二年度酒類御検査控帳 踏瀬邨箭内名左衛門 (明治一三年)	美	一冊	一八四二	(引続酒造営業御免許願等綴) (明治一五年一二年)	一綴	一八五二	
(既御検査受書等酒造関係書類綴) (明治一三年)		一綴	一八四三	十六年度酒検査済石高及八月一日現在酒石高表 (明治一六年八月一日)	堅切紙	一通	一八三二
明治十三年造酒石検査簿 踏瀬村第拾番地箭内名左衛門 (明治一三、一四年)	美	一冊	一八四四	十六年度酒検査済石高及八月一日現在酒石高表 (明治一六年九月)	折紙	一通	一八七四
酒造属スル諸器械調 酒造営業人箭内名左衛門 福島県酒造検査掛矢部政造殿 明治一四年一月	美	一冊	一八五一	明治十六年度造酒石検査簿 踏瀬村字踏瀬拾番地箭内名左衛門 (明治一六、一七年)	美	一冊	一八四八
御届 (酒造米高等書上) 矢吹組酒造営業人箭内名左衛門外一名 西白河郡長亀卦川尚辰殿 明治一四年二月二四日	堅紙	一通	一八四六	酒造米仕払簿 (明治一六、一七年)	半	一冊	一八五一
酒造方法 明治一四年九月		一綴 (一通)	一八四六	明治十六年度酒造米仕払簿 踏瀬村拾番地箭内名左衛門 (明治一六、一七年)	半	一冊	一八五一
諸器械其他御届 (酒造道具等書上、雛形) 明治一四年	美	一冊	一八四〇	酒造蔵出売立簿 (控) 踏瀬村箭内名左衛門 明治一七年一月	半	一冊	一八四一
明治十三年度酒類御検査控帳 踏瀬邨箭内名左衛門 (明治一四年)	美	一冊	一八四三	酒造蔵出売立帳 踏瀬村箭内名左衛門 明治一七年一月	半	一冊	一八四一
(酒造諸器械調書・酒造方法等綴) (明治一四、一五年)		一綴	一八五二	(酒類現在高比較表及び増石御届一綴) 明治一七年二月一日		一綴 (一通)	一八四一
明治十四年度造酒石検査簿 踏瀬村字踏瀬拾番地箭内名左衛門 (明治一四、一五年)	美	一冊	一八四一	(酒造蔵出売立帳及び酒造米仕払簿一綴) (明治一七年四月)		一綴 (一通)	一八四一
粕貫目改帳 箭内蔵 明治一五年一月	横美半折	一冊	一八四九	十六年度酒検査済石高及八月一日現在酒石高表 右村 (踏瀬村) 営業人箭内名左衛門 明治一七年八月一日	堅紙	一通	一八五一
三月一日以後醸造届 踏瀬村十番地箭内名左衛門 福島県酒造検査掛リ君島文蔵殿 明治一五年三月一五日	堅紙	一通	一八四七	十六年度酒検査済石高及八月一日現在酒石高表 右営業人箭内名左衛門 矢吹組惣代大木代吉殿 明治一七年八月一四日	堅切紙	一通	一八五二
酒造仕込帳 箭内名左衛門 明治一五年一二月	横美半折	一冊	一八五〇	酒造場建物并諸器械調書 酒造営業人箭内名左衛門 福島県令三島通庸殿代リ福島県少書記官村上楯朝殿 明治一七年一〇月	横長美	一冊	一八五一
明治十五年度造酒石検査簿 踏瀬村字踏瀬拾番地箭内名左衛門 (明治一五、一六年)	美	一冊	一八四二				

(酒類釀造方法書上) 酒造人箭内 福島県酒造検査員御中(宛) 明治一七年一月七日	横長美	一冊	一八四七・二
(酒造見込種目并石数御届外酒造関係書類綴) (明治一七年一月)	一綴	一八〇一	
酒類釀造方法書(控) (明治一七年度)	美	一冊	一八五九
記(明治十四・十五年度造酒高等書上) (明治一七年度)	折紙	一通	一八四七・三
明治十七年度造酒石検査簿 踏瀬村箭内名左衛門 (明治一七・一八年)	美	一冊	一八六四・四
酒貸控帳 箭内宝蔵 明治一八年二月	横長美	一冊	一八六五
(酒造見込種目并石数御届外酒造関係書類綴) (明治一八・一九年)	一綴	一八〇二	
(酒造見込種目并石数御届外酒造関係書類綴) (明治一九年一〇月)	一綴	一八〇三	
清酒売上ケ帳 踏瀬村箭内名左衛門 明治一九年一月	横長美	一冊	一八六六
(酒桶瓶類容量調査簿等雛形) (板) (明治一〇年代)	美	一冊	一八六九
十九年度酒粕改帳 箭内 明治一〇年五月四日	横美半折	一冊	一八四九・二
酒粕改帳 明治一〇年五月	横美半折	一冊	一八四九・三
(酒造見込種目并石数御届外酒造関係書類綴) 明治一〇年一〇月一四日	一綴	一八〇四	
酒造米元帳 踏瀬村拾番地箭内名左衛門 明治二〇年一〇月	横長美	一冊	一八六三
酒蔵出帳 明治二〇年一月	横長美	一冊	一八六四
粕目方帳 明治二〇年一月	横長美	一冊	一八六六

金 錢 出 入

金 錢 貸 借

乍恐以書付奉願上候(泉崎村の者へ貸金滞に付願書) 踏瀬村庄屋願人名左衛門外一名 塙御役所(宛) 弘化三年六月

覚(金利書上カ) 安政二年三月

乍恐以書付奉願上候(貸金滞濟方御利解願書) 踏瀬村願人庄屋名左衛門 塙御役所(宛) 安政三年二月ノ組頭理八奥書

差出申内済一札之事(鏡沼村・高久田村村役人借用金返済滞出入に付内済一札) 高久田村・鏡沼村村役人七名・取扱人二名 踏瀬村箭内名左衛門殿 安政三年二月ノ塙御役所宛踏瀬村願人箭内名左衛門奥書

差出申内済一札之事(百姓相統金借用返済滞訴訟に付内済一札) (下書) 鏡沼村・高久田村村役人取喚人二名 踏瀬村箭内名左衛門殿 安政三年三月

口入金元利書出し帳 箭内氏 安政五年一〇月

乍恐以書付奉願上候(無利足年賦金滞濟方御利解願書)(二二七三と関連下書) 右(踏瀬村願人) 箭内名左衛門 塙御役所(宛) 安政五年一月ノ右村(踏瀬村) 組頭利八奥書

乍恐以書付奉願上候(泉崎村の者共への貸金返済滞りに付御利解願書)(下書) 右願人庄屋 箭内名左衛門外一名 塙御役所(宛) 安政五年

口入金元利指引勘定帳 箭内 安政六年一〇月

堅籙紙 一通 三〇三

折紙 一通 三七

横長美 一冊 二〇二

堅籙紙 一通 三三

堅籙紙 一通 二五

横長美 一冊 三三八

堅籙紙 一通 三七

堅籙紙 一通 三四

横長美 一冊 三六九

差出申一札之事(金子追加借用に付一札) 二子塚村借用人小林仲右衛門外一名 踏瀬村箭内名左衛門殿 文久元年十一月五日

二子塚村指引帳(金錢貸借勘定帳) 箭内 文久元年二月

改心書ヲ以借用 [ ] (金子借用に際し、以後急度改心する旨一札) 白川郡二子塚村当人小林仲右衛門 踏瀬村箭内名左衛門殿 慶応元年五月二十五日

丑年口入金元利書抄帳 箭内 慶応元年一〇月

金子証文之事(借金返済延期に付一札) 立行寺法道海 踏瀬村箭内名左衛門様 明治二年二月

質地証文之事(金子借用に付) 太田川村借用人繁太郎外二名 ふませ村箭内名左衛門殿 明治四年二月

書入仕証書之事 太田川借用人大友豊治郎外一名 踏瀬村箭内名左衛門殿 明治七年三月

(借金返済をめぐる訴訟に付願書) 踏瀬村箭内名左衛門本人代伯父石射信之助 福島裁判所管内白河区裁判所長二級判事補東郷実政殿 明治一〇年一月二八日

(天保十一年の祖父の借金をめぐる訴訟に付書付) 箭内名左衛門義信筆 明治一〇年二月

(貸金関係帳簿綴) (明治一〇年ノ同二三年)

※1酒代貸一覽 箭内 明治二年六月

2貸金調帳 箭内氏 明治一〇年四月

3二子塚村貸附帳 踏瀬村箭内 明治一四年旧十一月

4川原田村貸附帳 踏瀬村箭内 明治一八年旧一〇月

包紙入 一通 三三〇

横長美 一冊 四五

堅紙 一通 三三九

横長美 一冊 三七一

堅紙 一通 三三五

堅紙 一通 三七〇

包紙入 一通 三三三

堅紙 一通 三三三

横切紙 一通 三〇〇

一綴(五冊) 一八六

横美半折 一冊

横美半折 一冊

横美半折 一冊

横美半折 一冊

5小田川太田川口入金調帳 踏瀬村箭内氏 明治一七年旧一〇月	横美半折 一冊	三三九三
小田川村貸附帳 主箭内氏 明治一〇年一月	横美半折 一冊	三三九三
(貸金滞訴訟関係諸書類雛形) (明治一〇年)	半 一冊	三三三
(川原田村民への貸金書上) (明治一三年カ)	横長美 一冊	三六六
(金錢精算に付書付) 斎藤郡書記 箭内名左衛門殿 明治一四年二月二日	折紙 一通	三三九三
酉年他村貸金元帳 箭内義信 明治一八年旧一月	横長美 一冊	三三九一 二二九一〇綴
戌年他村貸金元帳 箭内氏 明治一九年旧一月	横長美 一冊	三三九一
亥年他村貸金元帳 箭内 明治二〇年旧一月	横長美 一冊	三三九一三
午年他村貸金元帳 踏瀬住箭内義信代 明治一五年旧一〇月	横長美 一冊	三三九一四
未年口入金控帳 箭内氏 明治一六年旧一〇月	横長美 一冊	三三九一五
申年口入金控帳 箭内氏 明治一七年旧一〇月	横長美 一冊	三三九一六
酉年口入金控帳 箭内 明治一八年旧一〇月	横長美 一冊	三三九一七
戌年口入金控帳 箭内 明治一九年旧一〇月	横長美 一冊	三三九一八
亥年口入金控帳 箭内氏 明治二〇年旧一〇月改	横長美 一冊	三三九一九
子年口入金元帳 箭内氏 明治二一年旧一〇月	横長美 一冊	三三九二〇
約定書(杉木壳渡証) 当村壳渡人箭内六左衛門外一名 箭内名左衛門殿 明治一五年二月二二日	包紙入 一通	一七九一一
借用仕金子之事 借用人村丸山伝蔵外一名 当所箭内名左衛門殿 明治七年旧一二月/一七九九一の包紙に使用	堅紙 一通	一七九一二

二子塚村貸附元帳 踏瀬村箭内 明治一八年旧一〇月	横美半折 一冊	三三九四
支払命令申請書(国分商次郎への貸金請求に付、仮住所届も一紙にあり) 箭内名左衛門 郡山区裁判所御中(宛) 明治二六年一月七日	堅紙 一通	三四四
(箭内名左衛門から西白河郡山野井村大字高倉国分商次郎に対する貸金請求事件関係書類綴) 明治二六年一月七日	一綴 一冊	三三六
(箭内名左衛門から安積郡山野井村大字高倉国分商次郎への貸金関係書類綴) 明治二七年五月	一綴 (六通) 一冊	三七八
明治四拾貳年度貸金調帳 大箭内氏 明治四二年旧二月	横長美 一冊	二七〇一一綴
明治四十一年貸金調 大箭内氏 明治四一年旧二月二七日	横長美 一冊	二七〇一二
明治四十年貸調 (明治四〇年)	横長美 一冊	二七〇一三
明治三十九年貸金調牒 大箭内氏 (明治三九年)	横長美 一冊	二七〇一四
卅八年度貸金調帳 踏瀬箭内氏 明治三八年	横長美 一冊	二七〇一五
明治三十七年貸金調帳 箭内氏 (明治三七年)	横長美 一冊	二七〇一六
明治三拾六年度貸金調 箭内氏 (明治三六年)	横長美 一冊	二七〇一七
明治三五年末貸金現在調 箭内氏 (明治三五年)	横長美 一冊	二七〇一八
明治三拾四年度貸金調帳 箭内氏 (明治三四年)	横長美 一冊	二七〇一九
三拾三年度貸 (明治三三年)	横長美 一冊	二七〇二〇
明治参拾貳年末貸金現在調 (明治三二年)	横長美 一冊	二七〇二一
四十年春貸附控 (明治四〇年カ)	横長美 一冊	二六八

差出置申一札之事(無心金請取証文) 當時十軒新田借家(小林) 仲右衛門 踏瀬宿箭内名左衛門殿 子八月二七日	包紙入 堅紙	一通	三三五
差出置申一札之事(年越支度金借用に付一札) 小林仲右衛門 糶屋平右衛門殿 寅二月大卅日	堅紙	一通	三三六
(年賦金返済受取手形) (小田川佐七・佐中) (踏瀬村箭内名左衛門様) (寅一申)	横長美	一冊	三三七
(年賦金返済受取手形綴) (小田川佐七・佐仲) (踏瀬村箭内名左衛門様) (寅一申)	一綴 (七通)	三三九	
乍恐以書付御届奉申上候(年賦金返済滞出入内済に付届書) 願人踏瀬村庄屋名左衛門外一名 塙御役所(宛) 辰三月	堅紙	一通	三三九
乍恐以書付御届奉申上候(白川御領鏡沼村高久田村年賦金済方に付届書) 踏瀬村願人箭内名左衛門差添人組頭理八 塙御役所(宛) 午一二月晦日	堅紙	一通	三三八
乍恐以書付御届奉申上候(泉崎村百姓二二一名への貸金肥代酒代等返済滞分相済んだ旨届書) 踏瀬村願人箭内名左衛門・差添人組頭理八 塙御役所(宛) 午一二月晦日	堅紙	一通	三三七
覚(貸金書上) 未二月	折紙	一通	二九二
覚(年賦金残受取書) 小田川佐仲 踏瀬村箭内名左衛門様 酉七月一三日	横切紙	一通	三三七
覚(金子用立願書) 海老屋久治郎・北沢市郎右衛門・安藤啓之助 箭内名左衛門様 二月一〇日	横切紙	一通	三三六
覚(金子取立願書) 箭内 矢吹(宛) 五月八日(拝借金等返納延期願の書状) 上新城岡崎平右衛門 踏瀬(箭内)保太郎様 八月二五日	横切紙	一通	三三七
記(借金返済計画書カ) 二月	横長美	一冊	一八〇一二

覚(貸金書上帳断簡)	折紙	一二丁	二九一三
(貸金等書上)	折紙	一通	二九一四
(貸金書上)	折紙	一通	二九三
借用金催促御勸解願答 [断簡]	断簡	一丁	二九〇
(貸金書上帳)	断簡	一枚	二七六十一
借用証文			
借用申金子之事 泉崎村借主倉藏外一名 踏瀬村名左衛門殿 天保二二年三月	堅紙	一通	三六四
借用申金子之事 踏瀬村借主箭内名左衛門外一名 下新城岡崎様 天保二二年一二月	堅紙	一通	三六五
借用申金子之事 踏瀬村借主箭内名左衛門外一名 岩崎渡部新藏殿 天保一三年二月	堅紙	一通	三六六
借用申金子之事 踏瀬村借主箭内名左衛門 下新城村大竹久吉殿 天保一四年二月	堅紙	一通	三六九
借用仕証文之事 踏瀬村借主名左衛門外一名 久五郎殿 弘化四年五月	堅紙	一通	三三〇三
※借用申金子之事(箭内家の造酒以外は売買しない旨の取り決めあり) 借用人久来石宿清五郎 踏瀬宿箭内名左衛門(宛) 嘉永元年一二月	堅紙	一通	三三〇三
借用申金子之事 太田川宿借用人吉之助・同金五・同磯吉外三名 踏瀬宿箭内名左衛門殿 安政六年六月	堅紙	一通	三三〇八
借用申金子之事 太田川宿借用人吉之助・同金五・同磯吉外三名 踏瀬宿箭内名左衛門殿 安政六年六月	堅紙	一通	三三〇八
借用仕金子之事 下新城村借用人長百姓長之介外二名 踏瀬宿箭内名左衛門殿 万延二年一二月	包紙入 堅紙	一通	三六六

分金田証文之事（金子借用証文） 関和久村借用人芳平外一名 踏瀬宿箭内名左衛門殿 文久元年十一月	縦紙	一通	三三五
借用申証文之事 関和久村借用人利惣治外一名 踏瀬宿御苗名左衛門様 文久四年四月	縦紙	一通	三三二
差出置申一札之事（日光へ奉公のため金子借用証文） 一子塚村小林仲右衛門 踏瀬宿箭内名左衛門殿 元治二年三月	縦紙	一通	三三六
借用申金子之事 小田川村百姓借主善蔵外一名 箭内保太郎様 元治二年三月／右村（小田川村）庄屋佐藤平九郎奥書	包紙入 縦紙	一通	三三七
時借証文之事 高木村久仁蔵外一名 踏瀬村箭内名左衛門殿 元治二年四月	縦紙	一通	三三八
借用証文之事 岩瀬郡小川村借用人佐平次外三名 踏瀬村箭内名左衛門殿 慶応元年一〇月	縦紙	一通	三三七
借用申金子之事 太田川借主七之助外三名 踏瀬村箭内保太郎殿 慶応二年九月	縦紙	一通	三三〇
借用申金子之事 借用人河内外二名 箭内様 慶応三年四月一九日	包紙入 縦紙	一通	三三七
借用申金子之事 松倉村借用人角蔵 踏瀬宿箭内名左衛門殿 慶応三年六月／安藤七郎右衛門奥書	縦紙	一通	三三二
借用申金子之事 松倉村借用人勝十外一名 踏瀬宿箭内名左衛門殿 慶応三年二月／安藤七郎右衛門奥書	縦紙	一通	三三三
借用申金子之事 一子塚村借用人忠太郎外一名 踏瀬村箭内名左衛門殿 慶応四年七月	縦紙	一通	三三三
借用申金子之事 借用人矢吹宿出蔵庄右衛門外二名 踏瀬宿箭内名左衛門様 明治元年二月	包紙入 縦紙	一通	一九四

借用申金子之事 借用人太田川定蔵外一名 ふませ村箭内保太郎殿 明治三年十一月	縦紙	一通	三三八
借用申金子之事 一子塚村借用人勝右衛門外一名 踏瀬宿箭内名左衛門殿 明治三年十二月	縦紙	一通	三六九
借用申金子之事 太田川邑借用人金吾外二名 踏瀬村箭内名左衛門様 明治五年二月	包紙入 縦紙	一通	三七一
借用申金子証文 借用人村上重美外一名 箭内名左衛門様 明治六年十一月一八日	縦紙	一通	三三九
借用申金子証文之事 下新城村借用人大竹新左衛門外二名 踏瀬村箭内名左衛門殿 明治六年十二月二日	包紙入 縦紙	一通	三三〇
（金子借用証文） 金子□人矢内富吉外受人二名 箭内名左衛門殿 明治六年十二月二八日	折紙	一通	三三三
借用申金子証文之事 借用人村佐川林平・同丸山鹿蔵外一名 当所箭内名左衛門殿 明治六年十二月二八日	包紙入 縦紙	一通	三三四
借用申金子証文 借用人星広吉外一名 箭内名左衛門様 明治六年十二月二八日	縦紙	一通	三三七
借用申証文之事 小田川借用人真尾岩蔵外一名 箭内名左衛門殿 明治六年十二月／九番組仕長小泉己之助奥印	包紙入 縦紙	一通	三三五
借用申金子証文 借用人村上重美外二名 箭内名左衛門殿 明治七年二月	縦紙	一通	三三六
借用申金子之事 借用人村白岩惣助外一名 当所箭内名左衛門殿 明治七年二月	包紙入 縦紙	一通	三三七
借用申金子之事 借用人石川庄右衛門外一名 箭内名左衛門様 明治七年二月	包紙入 縦紙	一通	三三七
借用申金子之事 借用人箭内富吉外一名 当所箭内名左衛門殿 明治八年正月一〇日	縦紙	一通	三三八

借用申金子証文之事 借用人須藤直吉外二名 箭内名左衛門殿 明治八年二月	縦紙	一通	三四一
借用仕金子之事 借用人村丸山伝蔵外二名 当所箭内名左衛門殿 明治八年旧十一月一六日	縦紙	一通	三三九
借用仕金子之事 借主宇之吉外一名 箭内名左衛門様 明治九年二月一二日	縦紙	一通	三四二
借用仕金子証文之事 借用人村佐川林平外一名 箭内名左衛門様 明治九年二月	包紙入 縦紙	一通	三三三
借用仕金子証書之事 第九区小田川村借用人大越瀬左衛門外二名 踏瀬村箭内名左衛門殿 明治九年一月一日	縦紙	一通	三三六・二綴
借用仕金子証文之事 第九区小田川村長谷川力蔵外二名 踏瀬村箭内名左衛門殿 明治九年一月二日	縦紙	一通	三三七・二
借用仕金子証書之事 第九区小田川村星平蔵外二名 踏瀬村箭内名左衛門殿 明治九年一月一二日	包紙入 縦紙	一通	三四四
借用仕証文之事 借主泉崎室久右衛門・五十嵐本蔵 箭内様 明治九年一月	縦紙	一通	三四四
借用金確証 第九区白河郡中新城村借用人戸倉与次右衛門外一名 踏瀬村箭内名左衛門殿 明治一〇年一月二二日	縦紙	一通	三四六
借用仕金子証書 岩瀬郡小川村借用人牧野佐平治 踏瀬村箭内名左衛門殿 明治一〇年二月一日	縦紙	一通	三四七
借用仕金子証書 岩瀬郡小川村借用人牧野佐平治外一名 踏瀬村箭内名左衛門殿 明治一〇年二月一日	包紙入 縦紙	一通	三四八
借用仕金子証文之事 借主白岩友右衛門外一名 箭内名左衛門殿 明治一〇年旧二月一八日	縦紙	一通	三四五
借用仕金子之事 借主白岩友右衛門外一名 箭内名左衛門殿 明治一〇年旧四月	縦紙	一通	三四六
借用金証書 「三俵安間米社倉御届」が包紙に使用されている」 第十区白河郡真小萱村借用人佐藤忠右衛門外二名 踏瀬村箭内名左衛門殿 明治一〇年六月二五日	包紙入 縦紙	一通	三四七
証(借金証文) 川原田村借用人木村辰太郎外一名 踏瀬村箭内名左衛門殿 明治一二年一月二四日	小切紙	一通	三四三
証(借金証文) 川原田村借用人木村辰太郎外一名 踏瀬村箭内名左衛門殿 明治一二年二月二日	小切紙	一通	三四二
証(借金証文) 川原田村借用人木村辰太郎外一名 踏瀬村箭内名左衛門殿 明治一二年三月四日	小切紙	一通	三四三
借用金証書之事 借用人踏瀬村箭内伝蔵外一名 箭内名左衛門殿 明治一二年一月二八日	縦紙	一通	三七九
借用金証書 借用人右村(踏瀬村)白石卯三郎外一名 箭内名左衛門殿 明治一二年旧二月二八日	包紙入 縦紙	一通	三四六
借用金証書 借用人箭内六左衛門外一名 箭内名左衛門殿 明治一二年三月二日	包紙入 縦紙	一通	三四九
借用金証書 借用人星林之助外一名 箭内名左衛門殿 明治一二年三月一〇日	縦紙	一通	三四五
借用証(借金証書) 西白川郡太田川村十四番地借用人石射弥治右衛門外二名 踏瀬村箭内名左衛門殿 明治一二年四月二七日/右村(太田川村)戸長代り用係渡辺庫太奥書	包紙入美	一冊	三五〇
仮借用証 太田川村借用人溝井久作外二名 踏瀬村箭内名左衛門殿 明治一二年一〇月三日	包紙入 縦紙	一通	三四六
借用金証書 当村借用人佐々木平右衛門外一名 当村箭内名左衛門殿 明治一二年一月二五日	縦紙	一通	三四六

借用金証書 借用人佐川林平外一名 箭内名左衛門殿 明治二年旧二月二日	包紙入 一通 三五二
借用金証書 借用人箭内安吉外一名 箭内名左衛門殿 明治三年一月四日/戸長代り用掛溝井佐仲奥書	美 一冊 三三六・一 三三六・二 綴
借用金証書 借用人箭内安吉外一名 箭内名左衛門殿 明治三年一月八日/戸長代り用掛溝井佐仲奥書	美 一冊 三三六・二
借用金証券 須賀川村借用人永田惣吉外二名 踏瀬村箭内名左衛門殿 明治三年四月二五日	豎紙 一通 三三二
借用金証書 岩瀬郡笠石村十二番地借用人小林加吉外一名 踏瀬村箭内名左衛門殿 明治三年九月一日	豎紙 一通 三三三
借用金証書 踏瀬村借用人丸山梅藏外一名 当村箭内名左衛門殿 明治三年二月三日	豎紙 一通 三三五
田地抵当金子借用証 踏瀬村借用人丸山梅藏外一名 当村箭内名左衛門殿 明治三年二月三日/戸長代り用係溝井佐仲及び箭内名左衛門奥書	美 一冊 三三六
借用金証書 踏瀬村借用人丸山祐次郎外一名 箭内名左衛門殿 明治四年四月二日/戸長代理用掛溝井佐仲及び箭内名左衛門奥書	美 一冊 三三三
畑抵当金子借用証 踏瀬村式拾五番地借用人箭内富吉外一名 当村箭内熊藏殿 明治四年六月六日/戸長代理用係溝井佐仲奥書	美 一冊 三三五
畑抵当金子借用証 借用人箭内富吉外一名 箭内名左衛門殿 明治四年六月八日/戸長代理用係溝井佐仲奥書	美 一冊 三三五
借用金証書 踏瀬村借用人深谷嘉市 同村箭内名左衛門殿 明治四年九月二六日	豎紙 一通 三三六
借用金確証 借用人白石定右衛門外一名 箭内名左衛門殿 明治一四年一月一日/戸長代り用掛溝井佐仲奥書	包紙入 一通 三五五
田地抵当借用金証書 踏瀬村借用人丸山梅藏外一名 同村箭内名左衛門殿 明治一五年一月二日	美 一冊 三五六
借用金証書 西白河郡太田川村借用人溝井安五郎外二名 踏瀬村箭内名左衛門殿 明治一五年三月二三日	豎紙 一通 三五七
金員借用証書(明治十四年一月「營業鑑札番号及人名記」が包紙に使われている) 同郡(西白河郡)中畑村借主円谷丑藏外一名 踏瀬村箭内名左衛門殿 明治一五年旧五月七日	豎紙 一通 三五八・一 三五八・二 同 包紙入
(円谷丑藏への柏代金貸付につき書状) 小針東五郎 箭内名左衛門様(明治一五年カ) 五月二二日	封筒入 横切紙 一通 三五八・二
借用金証文 借用人丸山梅藏外一名 箭内名左衛門殿 明治一六年一月二日	豎紙 一通 三五八・二
借用金証書 踏瀬村借用人丸山祐次郎外一名 当村箭内名右衛門殿 明治一六年旧四月二日	豎紙 一通 三五七
借用金証書 踏瀬村借用人箭内六左衛門外一名 同村箭内名左衛門殿 明治一六年九月二五日/太田川村組戸長吉田稔及び箭内名左衛門奥書	美 一冊 三三六〇
借用金証書 岩瀬郡笠石村借用人小林勝三外一名 踏瀬村箭内名右衛門殿 明治一六年二月一六日	美 一冊 三五九
借用之証書 中新城村借用人亀森甫 箭内名左衛門殿 明治一六年二月二六日	豎紙 一通 三六二
借用金証書 西白河郡下新城村借用人大竹佐吉外一名 踏瀬村箭内名左衛門殿 明治一七年一月一日	豎紙 一通 三六三



借用金証書 西白河郡太田川村借用人久保木源左衛門外一名 踏瀬村箭内名左衛門殿 明治一十七年一月二三日	縦紙	一通	三六〇	年賦証文之事(借金年賦返済に付) 借用人七軒庄十外二名 当所箭内殿 明治五年二月二日	縦紙	一通	三三三
借用金証 踏瀬村借用人星野忠吉 箭内名左衛門殿 明治一十七年	美	一冊	三六四	借用仕年賦金証文 小田川村借用人長谷川伊之吉外二名 踏瀬村箭内名左衛門殿 明治六年一〇月	縦紙	一通	三七二
借用金証文 借用人星広吉外一名 箭内名左衛門殿 明治一八年二月二八日	縦紙	一通	三六六	借用仕金子証文 第十三区小田川村借用人長谷川伊之吉外一名 箭内名左衛門殿 明治六年一〇月	縦紙	一通	三七二
借用金証 借用人箭内安吉外一名 箭内名左衛門殿 明治一〇年一月一八日	縦紙	一通	三六七	年賦証文之事(借金年賦返済に付) 借用人白石卯三郎外一名 箭内名左衛門殿 明治八年旧一二月	縦紙	一通	三四〇
地所書入金買借用証 西白河郡踏瀬村借用人箭内安吉同村証人白岩子之吉 踏瀬村箭内名左衛門殿 明治一二年四月	折紙	一通	八二一 今一・二一綴	年賦証文之事 大和田村借主鈴木定兵衛外一名 踏瀬村箭内名左衛門殿 明治九年一二月六日	縦紙	一通	三三五
特別約定証書(返済滞りの際の措置について) 踏瀬村借用人箭内安吉同村証人白岩子之吉 踏瀬村箭内名左衛門殿 明治一二年四月	横切紙	一通	八二三	年賦証文之事(借金年賦返済に付) 小田河村星平蔵・同鈴木清治 踏瀬村箭内名左衛門殿 明治一〇年五月	縦紙	一通	三三九
覚(金子借用証文) 郡山宿渡辺屋金蔵 踏瀬宿箭内名左衛門殿 午九月五日	縦紙	一通	三三七	年賦金証書(借金年賦返済に付) 借用人白岩惣助外一名 箭内殿 明治一〇年旧一二月二九日	包紙入 縦紙	一通	三四二
年賦証文之事(借金年賦返済に付) 踏瀬箭内名左衛門 岩崎渡辺新蔵殿 天保一三年二月	縦紙	一通	三六七	借用金年賦証書 借用人箭内伝蔵外一名 箭内名左衛門殿 明治一一年一二月二八日	縦紙	一通	三四三
借用金年賦証文之事 借用人庄右衛門外二名 箭内名左衛門殿 明治三年六月	包紙入 縦紙	一通	三三八	借用金年賦証書 当村借用人白岩惣助外一名 当村箭内名左衛門殿 明治一一年一二月一八日	包紙入 縦紙	一通	三四四
年賦証文之事(借金年賦返済) 借用人村平吉外二名 当所箭内名左衛門殿 明治四年一二月二〇日	縦紙	一通	三三〇	年賦証書(借金に付) 借用人太田川村久保木清之助外一名 ふませ村箭内名左衛門殿 明治一二年旧一二月三〇日	縦紙	一通	三六〇
年賦金証文之事(借金年賦返済に付) 当村借用人惣助外一名 箭内名左衛門殿 明治四年一二月二八日	縦紙	一通	三三七	年賦金証書 借用人太田川村大友豊次郎外一名 ふませ村箭内名左衛門殿 明治一二年一二月	縦紙	一通	三四九
年賦証文之事(借金年賦返済に付) 借用人拾軒芳蔵外一名 当所箭内殿 明治五年二月一二日	縦紙	一通	三三三	年賦借用金工添書(無尽当圖で年賦借用金を返済する旨) 借用人石川庄助外一名 箭内名左衛門殿 明治一四年三月一日	縦紙	一通	三三六
				年賦金証文之事 借用人星広吉外一名 箭内名左衛門殿 明治一六年一月二六日	縦紙	一通	三三九

借用金年賦記 西白河郡下新城村借用人渡辺善助  
外二名 踏瀬村箭内名左衛門殿 明治一八年二月  
一〇日

包紙入  
堅紙 一通 三六五

年賦償還金円借用証書 債務者川崎村箭内儀八  
昭和三年五月一四日

美 飯一冊 三九三

### 酒造関係金子借用

借用申金子之事 (酒造仕入金ニ差支) 踏瀬宿借  
主箭内名左衛門外二名 北平山村清藏殿・庄右衛門  
殿 天保一三年八月

堅紙 一通 二八八

借用申証文之事 (仕入金差支に付) 踏瀬村借主  
箭内名左衛門外一名 赤羽村江尻又吉殿 天保一四  
年六月

堅紙 一通 三九〇

借用申金子之事 (酒造仕入金ニ差支) 踏瀬宿借  
主箭内名左衛門外二名 北平山村御苗清藏殿 天保  
一四年一〇月

堅紙 一通 二八九

拝借仕金子之事 (酒造仕入金ニ差支御役所御備金  
拝借) 踏瀬村借主庄屋名左衛門外一名 松田孝平  
殿 天保一四年一月

堅紙 一通 二八〇

借用仕金子之事 (名左衛門酒造鑑札質入) 須乗  
村借用人弥市右衛門外一名 入方鈴木定左衛門殿  
天保一五年二月

堅紙 一通 三九二

借用仕金子之事 (名左衛門酒造鑑札質入) 須乗  
村借用人弥市右衛門外一名 入方鈴木定左衛門殿  
天保一五年二月

堅紙 一通 三九二

借用申金子之事 (酒造仕入金ニ差支) 踏瀬村借  
用人箭内名左衛門外二名 北平山村清藏殿 天保一  
五年一〇月

堅紙 一通 二九二

拝借証文之事 (酒造仕入金ニ差支御役所御備金拝  
借) 踏瀬村借主庄屋名左衛門外一名 松田孝平殿  
天保一五年一月

堅紙 一通 二九二

借用申金子之事 (名左衛門酒造鑑札引当) 埧村  
借主直右衛門・受入天照寺 植田村豊吉殿 弘化二  
年三月

堅紙 一通 三九五

拝借仕金子之事 (酒造米買入金ニ差支) 踏瀬村  
庄屋名左衛門外一名 斎藤旦那様 弘化二年十一月

堅紙 一通 二八三

借用申金子之事 (酒造仕入金ニ差支) 踏瀬村借  
用人名<sup>左</sup>左右衛門外一名 下新城村長重殿 弘化三年  
二月

堅紙 一通 二八四

借用申金子之事 (酒造仕入金ニ差支) 踏瀬村借  
主名左衛門外一名 下新城村長重殿 弘化三年二  
月

堅紙 一通 二八五

奉差上引宛証文之事 (酒造株引宛に金子預り)  
踏瀬村庄屋名左衛門外一名 沢又左衛門様 弘化四  
年十二月

堅紙 一通 二八六

借用申金子之事 (酒造仕入指支) 踏瀬村借主名  
左衛門外三名 新屋敷村定右衛門殿 嘉永元年一〇  
月

堅紙 一通 二八七

無 尽

差出申証文之事 (豊年講無尽中り金請取に付  
一札) 埧升屋直右衛門外一名 踏瀬村箭内名左衛  
門様・惣御連中 弘化二年二月二七日

堅紙 一通 三九九

万無尽一件 箭内

袋入一括 三六六

1掛金通 石川十会講会所 踏瀬矢内名左衛門  
様 安政五年一月

横美半折 一冊

2永統開運講 甘露王寺世話人 踏瀬箭内名左  
衛門様 安政六年二月

横美半折 一冊

3白川鬼門薬師諸堂修履帰檀頼母子 会主鬼  
門薬師別当甘露王寺外二寺四名

横美半折 一冊

4白川専念寺本堂再建頼母子 (板) 会主大  
慈山専念寺外九名 (万延二年)

横美半折 一冊

5甲子温泉道普請頼母子講 会主湯守菊地鉄  
藏外九名 文久元年三月

横美半折 一冊

6 覺 (宿々往来道橋手入頼母子加入依頼書) 世話人根田宿永山岩太郎外一九名	横長美 一冊 (四通)
7 (一人別金額書上)	折紙 一通
8 相統講割合 石川町会主鈴木謙次外一二名 午十一月	三六八・九一括
9 (増圖の件等通知) 石川十会講会所 未正	小切紙 一通
10 覺 (掛金受取書) 上新城村会所 踏瀬宿箭 内様 申一〇月一八日	小切紙 一通
11 覺 (無尽懸金請取書) 上新城村会所 踏瀬 村箭内様 申一〇月一八日	小切紙 一通
12 議定書 (無尽仕法に付) 金山村会所正金寺 申一〇月一〇日	折紙 一通
13 覺 (掛金受取書) 会所 (石川郡中畑駅問屋 14 覺 (金錢請取書) 会所 箭内様 三月二七 日	小切紙 一通
15 (無尽掛金請取書) 甘露王寺世話人 踏瀬 箭内名左衛門様	小切紙 一通
16 覺 (金子受取書) 関心 踏瀬村箭内名左衛 門様 午十一月三日	堅切紙 一通
17 覺 (金錢受取書) 中畑会所 箭内様 九月 二七日	小切紙 一通
18 覺 (金錢請取書) 太田川兵三郎 箭内様 西九月五日	小切紙 一通
19 覺 (金錢請取書) 大田川石射 ふませ箭内 様 一〇月五日	小切紙 一通
無尽太宝恵 箭内 万延元年九月改	横長半折 一冊 二六三
豊来講掛溜頼母子無尽帳 白川南町世話人角屋 捨藏外七名 万延二年二月	横長美 一冊 二六四
無尽太宝恵 箭内 文久四年二月改	横長半折 一冊 二六五
手控 (金錢出入帳) 箭内 天保一〇年七月	横長小 一冊 二五七
太宝恵 (農業経営・貸金・奉公人給金等書上帳) 箭内 天保一六年正月	横長美 一冊 二六二

諸人用小遣控帳 箭内氏 弘化三年正月	横長美 一冊 二五七
金錢出入帳 箭内 安政六年九月	横長美 一冊 二六六
大宝恵 (経営帳簿) 元治元年正月	横長美 一冊 二六七
白米諸品通 惣代 箭内様 元治元年四月より	横長半折 一冊 二七〇
諸品請納控 箭内 慶応元年十一月	横長半折 一冊 二七六
肴之通 亀屋□(弥カ) 三郎 踏瀬箭内様 慶応 二年正月	横長半折 一冊 二七三
金錢出入帳 箭内 慶応二年一〇月	横長美 一冊 二七六
大宝恵 (経営帳簿) 慶応三年九月	横長美 一冊 二七九
現金御泊通 白河内池屋武兵衛 ふませ箭内様 明治三年正月	横長半折 一冊 二七三
塩之通 箭内 岩城屋林平殿 (明治カ) 一〇年旧 四月	横長半折 一冊 二七六
大宝恵 (経営帳簿) 箭内義信 明治一〇年五月	横長美 一冊 二八〇
金錢出入帳 明治一〇年八月	横長美 一冊 二八二
貯金調 (明治二年)	美 仮一冊 二九五
記 (諸品代金受取綴) 大野屋福藏 上様 (明 治一五年)	一綴 一八三三 (一通)
記 (諸品代金受取綴) (明治一五年)	一綴 一八三四 (一通)
米買入帳 箭内名左衛門 明治一六年二月、明 治一八年度	横長半折 一冊 二七七
枯材売渡証 踏瀬村箭内(名左衛門) 鐵道局出張 所御中(宛) 明治一九年一月二〇日	折紙 一通 三三一 三三一・二一括

記（松材木本数并人夫人数等書上）

資金帳 芦野在勤之際箭内氏 明治二二年四月ヨリ

日記帳 箭内多十郎 明治二二年六月

家事會計記録帳 家事會計記録掛佐藤真太郎 明治二三年一月ヨリ

諸雜費控帳 箭内氏 明治二四年八月

現金白米之控 伊藤熊藏 箭内様 明治二四年一月

金錢出入帳 箭内氏 明治二五年四月

家計一切帳第一号 箭内藏 明治二五年

會計簿一 箭内大藏省會計主任 明治二六年九月二四日改之

（諸品代金請取書等綴）（明治二八〜二九年）

所得金調書仕訳（箭内家の所得書上）（明治二九年）

（貸付金書上等綴）（明治三九年〜四〇年カ）

四十一年春買入金仕訳（疏曹等買入） 明治四一年旧三月二四日

箭内日記帳（産業組合中央金庫出資者名簿の上から書かれてゐる） 箭内氏 大正一五年度〜昭和五年八月

仮日記帳続（金錢出納簿） 昭和一四年二月〜一〇月

肥料代金調（近代）

横切綴紙 一通 三三上

横美半折 一冊 二七八

横長美 一冊 二四三

横美半折 一冊 二八三

横長美 一冊 二八四

横半半折 一冊 二七九

横長美 一冊 二八五

美 一冊 二八六

横半半折 一冊 二八七

一綴（一冊十通） 二六五

美 一冊 二七三

二綴 二九一

横長美 一冊 二四二

半 一冊 二五五

半 仮一冊 二〇四

横長美 一冊 二八三

（金錢書上等一括）（近代）

正金受払仕訳（近代）

（諸買物代書上等一括）（近代）

記（諸品代金受取）（西白河郡矢吹町仲西力藏）（近代）

覚（金錢受取書） 佐藤平左衛門 箭内名左衛門様 寅八月一四日

取極一札之事（山立木売買証文） 山買人村林右衛門・文十・仙吉・文太・三左衛門 箭内名左衛門殿 寅一一月

覚（金錢出入帳）（已一一月〜午四月）

おほへ（箭内上納金書上） 午四月三日

覚（諸品代書上） 申正〜三月

記（金子受取証文） 箭内 専右衛門殿 酉一二月大晦日

記（菓子折等代金受取書） 白河玉屋久之助 酒井様 一月一九日

（諸品代金受取綴）（三月〜四月）

（金錢勘定につき書状）（小田川） 清左衛門 箭内名左衛門様 四月二一日

（諸品代金受取綴）（四月）

記（古新金切替に付書上）（須賀川本町） 八木屋勘二郎 箭内名左衛門様 一二月二八日

一括（五通） 三六七

折紙 一通 二七九

一括（二冊二綴） 二六五

横切綴紙 一通 二七四

小切紙 一通 二七三

縦紙 一通 二六一

横長美 一冊 二八九

小切紙 一通 二九二〇

横長美 一冊 二三〇

小切紙 一通 二九

横切綴紙 一通 二七三

一綴（四通） 一八三三

横切綴紙 一通 二〇一

一綴（六通） 一八三一

横切綴紙 一通 二八九

(金銭出入帳)

横長美 一冊 三〇三

土地

地券

地券 福島県 踏瀬村持主箭内安吉(宛) 明治一  
一年一〇月二〇日 縦紙 四通 一四九一

地券 福島県 白河郡二子塚村持主斎藤伊之吉  
(宛) 明治一二年一〇月二〇日 縦紙 三通 一四九三

地券 福島県 白河郡二子塚村持主稲田喜代松  
(宛) 明治一二年一〇月二〇日 縦紙 一通 一四九四

地券 福島県 白河郡踏瀬村持主小林長之助(宛)  
明治一一年一〇月二〇日 縦紙 二通 一四九五

地券 福島県 西白河郡踏瀬村持主箭内名左衛門  
(宛) 明治一四年一二月二〇日 縦紙 一六通 一四九六

地券 福島県 踏瀬村持主箭内名左衛門外八名  
(宛) 明治一四年一二月二〇日 縦紙 一通 一四九七

地券 福島県 西白河郡二子塚村持主吉田嘉蔵  
(宛) 明治一八年三月五日 縦紙 一通 一四九八

地券 福島県 西白河郡太田川村持主久保木源左  
衛門(宛) 明治二〇年一月七日 縦紙 一通 一四九九

(地券包紙) (二四九一六・七の包紙) 縦紙 一通 一四九八

小作

証(金子借用に付引当田地小作証書) 小作人  
丸山祐次郎外一名 箭内名左衛門殿 明治九年三月  
一八日 縦紙 一通 三七五

(小作米証)

1 小作米証書 小作人佐川庄三郎外一名 箭内  
名左衛門殿 明治一六年一月三〇日 包紙入 三通 二七五

2 田地小作米証 踏瀬村小作人箭内民蔵・同佐  
川庄三郎 同村箭内名左衛門殿 明治一八年  
三月一〇日 縦紙 一通

3 借用金年賦証書 踏瀬村借用人佐川代助 踏  
瀬村箭内名左衛門殿 明治一九年一月一三日 横切縦紙 一通

預り証(小作残米預り証) 西白河郡吉子川村大字  
二子塚預り口丹内忠口外一名 川崎村大字踏瀬箭内  
名左衛門殿 明治一三年一月二日 横切縦紙 一通 二七六

小作貸金取立帳 踏瀬箭内氏 明治二四年度 横長美 一冊 二七九

小作米証書 箭内氏 明治二五年五月(明治二三  
年大正四年) 一綴 二七〇七

田畑小作収納帳定期貸金差引帳 箭内名左衛門  
義重 明治二五年一二月改 美 一冊 二七九

(小作米品評会の通知) 西白河郡地主会 川崎  
村幹事箭内名左衛門殿 明治四〇年一月八日 半 一冊 一八〇四

覚(小作米書上カ) 申 折紙 一通 二九一五

土地関係諸事

差上申一札之事(箭内名左衛門の持地を借請  
け家作するにつき差出一札) 借用人安兵衛・踏  
瀬村平衛門・五本松清左衛門 踏瀬村箭内名左衛門  
様 文久二年四月 包紙入 一通 七

永代譲証書(借金返済不可能に付畑永代譲渡) 借  
用人須藤直蔵外二名 箭内名左衛門殿 明治九年四  
月二二日 包紙入 一通 三四三

(地券書換願、質地届書綴)

一綴 (五通) 八

1 地所売買ニ付地券書換願 西白河郡踏瀬村 売渡人箭内六左衛門・同郡同村買受人箭内名 左衛門 西白河郡長富田通信殿 明治二〇年 五月一七日	堅紙	一通	
2 地所売買ニ付地券書換願 踏瀬村売渡人箭 内六左衛門・同村買受人箭内名左衛門 西白 河郡長荒賀直哉殿 明治一六年八月	堅紙	一通	
3 地所質入御届 踏瀬村質地人主村上重美・同 村証人箭内三左衛門・矢吹村質取主石井有信 西白河郡長龜掛川尚辰殿 明治一二年七月 一二日	堅紙	一通	
4 地所質入御届 踏瀬村質地人主須藤直藏・同 村証人箭内三左衛門・矢吹村質取主石井有信・ 戸長代り用掛渡辺庫太 西白河郡長龜掛川尚 辰殿 明治一二年七月一二日	堅紙	一通	
5 地所質入御届 踏瀬村質地人主箭内三左衛門・ 同村証人須藤直藏・矢吹村質取主石井有信・ 戸長代り渡辺 西白河郡長龜掛川尚辰殿 明 治一二年六月一二日	堅紙	一通	
※(明治十三年度醸造分書上并地所売買ニ付地券 書換願) 明治一三年	折紙	一通	二五九
※(地所永代売渡証券及び地券書換願下書) 明治 一五年五月	折紙	一通	二五九
借用金証書 踏瀬村村上重美失踪ニ付借用人石川 卯之吉外一名 箭内名左衛門殿 明治一五年八月七 日	堅紙	一通	三五九・三綴
地所永代売渡証券 踏瀬村村上重美失踪ニ付代理 石川卯之吉外一名 箭内名左衛門殿 明治一五年八 月七日	堅紙	一通	三五九・三綴
地券証紛失ニ付再授与願(願意許可する旨の通 達が付属) 踏瀬村願人箭内六左衛門・同村保証人 佐川庄三郎・西白河郡太田川村外十一ヶ村戸長岡崎 泰助 西白河郡長富田通信殿 明治一〇年一月一二 日	一綴 (二通)	一六	

委任状(田地を箭内名左衛門に売渡すに付) 西白 河郡二子塚村稲田喜代松 明治一〇年五月	堅紙	一通	五
証(田地売渡金受取証) 西白河郡二子塚郷吉田 嘉藏代人同郡同村丹内忠助 踏瀬郷箭内名左衛門殿 明治一二年一月一二日	小切紙	一通	三六
(印鑑証明願・地所所有証明願綴) 明治一二年 二月	一綴 (五通)	二六六	
(山野火入関係書類綴) 明治一二年五月	一綴 (三通)	三五	
1 山野火入御届 西白河郡川崎村元踏瀬持主箭 内名左衛門・西白河郡太田川外十一ヶ村戸長 佐藤武三郎 矢吹分署長警部補別府彦磨殿 明治一二年五月四日	堅紙	一通	
2 (火入予定地所図面) 府彦磨 西白河郡川崎村平民箭内名左衛門 (宛) 明治一二年五月五日	堅切紙	一通	
廿三年以降田地買受帳 箭内 明治一三年一月	横美半折	一冊	一八六六
地所売戻シ証書(買受地を明治一九年一〇月二〇 日限り元金で請戻させる旨の証書) 西白河郡川崎 村大字踏瀬箭内名左衛門 西白河郡矢吹村大字大和 久星栄助殿 明治一五年三月二四日	堅紙	一通	六
(買受地所買戻期限延期につき証書) 西白河郡 川崎村大字踏瀬箭内名左衛門 同郡同村小林萬藏殿 明治一六年三月二八日	堅紙	一通	六
萱場野火入届 西白河郡川崎村大字踏瀬字踏瀬十 番地箭内名左衛門 西白河警察署矢吹分署長警部吉 元徳法殿 明治一七年四月一〇日	堅紙	一通	九
日本勧業銀行川崎製糸会社関係書類 箭内氏 明治一三年	半	一冊	三六二
(元日本勧業銀行との貸借契約による抵当権の 一部解除の件等に関する書類綴) (大正五年)		一綴	三八五

割当額及競売価格予想調

各自所有地調

(原野開墾に付日本勸業銀行よりの借入金返済方一件書類)

(貸借金・貯金等書上) (大正カ) 六年二月

(耕地整理組合の紛争に関する書付) 昭和一〇年八月三〇日

地所売増金証書

田別覚(留蔵外三人への田地配分)

(留蔵・弥吉持地反別書上)

### 郵便馬車会社

郵便馬車会社規則〔板〕 明治六年六月

議定書〔郵便馬車会社設立に付〕 根田小分社永山郡次外九駅小分社十名 明治六年八月一五日

馬車御開業二付駅々確定書 永山郡次外十名 明治六年八月一六日

証(郵便馬車会社開業に付身元金仮証書) 石射信之助・芳賀源左衛門 佐藤竹三郎殿・箭内名左衛門殿 酉(明治六年カ) 八月一六日

半 一冊 三八五十三  
半 一冊 三八五十四

(七冊一通一綴) 一括 三八五十五

堅紙 一通 三八四

小切紙 一通 三四八十三

堅紙 一通 一九六

折紙 一通 三九四

折紙 一通 三九一七

半 一冊 一四四

美 一冊 一四三

美 一冊 一四六

包紙入 一通 一四三  
堅紙 一通 一四三

### 内国通運会社

繼立所取扱人名御届 内国通運会社福島分社々長鈴木孝四郎外一名 福島県令山吉盛典殿 (明治) 一二年二月

往還諸御用留 内国通運会社取扱方箭内 明治一二年二月ヨリ(明治一五年八月)

賃銭控 踏瀬駅内国通運会社 明治一二年三月

(太田川村石射信之助中牛馬会社社荷物取扱所開設関係書類綴) 明治一二年二月九日

(内国通運会社関係書類綴) (明治一三年)

御届書 (太田川村に運送会社設立に付届書)

西白河郡太田川村字居平廿九番地久保木為吉外一名 福島県令山吉盛典殿 明治一四年七月

賃金表 (繼立取扱人箭内名左衛門の踏瀬村からの繼立人馬賃金表) 明治一五年七月八日

### 積金同盟会

(積金同盟会貸附帳) (明治三二年)

積金之通 積金同盟会 星文十殿 (明治三五年)

積金之通 積金同盟会 佐川高之助殿 (明治三五年)

(一綴一通) 一綴 一七三

横美半折 一冊 一三七

横美半折 一冊 一五二

(一綴一通) 一綴 一四〇

(一冊一通) 一綴 一四八

堅紙 一通 一四二

美 一冊 一五三

(一綴一通) 一綴 一三三

横美半折 一冊 一三九

折紙 一通 一三九





延期願(借金返済延期願書) 小林定藏 組合長 箭内名左衛門殿 昭和二年一月二八日	縦紙	一通	三九四
組合株共有株本組合へ提供人名(人名書上) 元踏瀬信購組合 昭和二年八月	半	一冊	一七七
証(整理事務費受取) 谷崎一郎 踏瀬信用購買 組合組合長箭内名左衛門殿 昭和四年一月二一 日	縦紙	一通	一七六
(産業組合清算関係書類綴) 踏瀬信用購買組合 清算人箭内名左衛門 福島県知事橋本清吉殿 昭和 四年一月	縦紙	一通	一七〇
組合員脱退ニ付特別約束之要件 (昭和)	縦紙	一通	一七〇
(信用組合設立に關し教示を得たき旨書状) [下書] 箭内名左衛門 加納子爵殿執事(宛)	半	一冊	一七六
(産業組合清算関係書類綴)	一綴	一綴	一七六
産業組合ニ対する疑義五則	封筒入 一括	一冊	一八四
奉公人・職人			
給金帳			
諸職人下男女給金帳 踏瀬宿箭内氏 天保一三年 正月	横長美	一冊	二六〇
諸職人下男女給金帳 踏瀬駅箭内氏 弘化四年正 月	横長美	一冊	二六二
諸職人下男女給金帳 踏瀬箭内氏 嘉永三年正月 (嘉永四年)	横長美	一冊	二六三
諸職人下男女給金帳 踏瀬宿箭内氏 嘉永五年八 月	横長美	一冊	二六四
諸職人下男女給金帳 箭内氏 安政二年正月 (安政五年)	横長美	一冊	二六五
奉公人・職人関係諸事			
乍恐以書付奉願上候(質物奉公人欠落に付願 書) 願人庄屋名左衛門・差添組頭理八 塙御役所 (宛) 天保一二年六月	縦紙	一通	三〇四
乍恐以書付奉願上候(質物奉公人欠落に付願 書) 願人庄屋名左衛門・組頭理八 塙御役所(宛) 天保一二年八月晦日	縦紙	一通	三〇一
乍恐以書付奉願上候(質物奉公人欠落一件内 落一件内済に付願書) 下大里村組頭重吉外四名 白川御役所(宛) 丑(天保一二年)二月	縦紙	一通	三〇二
乍恐以書付奉願上候(質物奉公人欠落一件内 済に付吟味下げ願書) 踏瀬村願人庄屋名左衛門・ 組頭理八 塙御役所(宛) 天保一二年三月	縦紙	一通	三〇五
奉公人請状之事(下書) 白川領三城目村奉公人 忠兵衛・鶴吉 踏瀬村名左衛門殿 天保一二年二 月	縦紙	一通	三〇六
奉公人請状之事(二二〇四、二二〇五の一件の人 代り) 白川領下大里村奉公人忠太・忠次郎外四名 名左右衛門殿 天保一二年二月	縦紙	一通	三〇七
奉公人請状之事(下書) 小田川村奉公人嘉市外 二名 踏瀬村名左衛門殿 嘉永元年二月	縦紙	一通	三〇八
奉公人請状之事(下書) 横田領泉田村奉公人辰 右衛門・女房たれ 御公料踏瀬村箭内名左衛門殿 嘉永二年二月	縦紙	一通	三〇九

奉公人請狀之事〔下書〕 岩瀬郡高久田村奉公人  
たれ・受人たれ 踏瀬宿箭内名左衛門殿 嘉永五年  
一二月

豎紙 一通 三三〇

奉公人請狀之事〔下書〕 白川領鏡沼村奉公人た  
れ 踏瀬村箭内名左衛門殿 嘉永七年一二月

豎紙 一通 三三三

奉公人請狀之事〔下書〕 白川領白子村奉公人庄  
吉 踏瀬村箭内名左衛門殿 安政四年一二月

豎紙 一通 三三三

奉公人請狀之事 白川領関和久村奉公人鶴松外三  
名 踏瀬宿箭内名左衛門殿 文久二年一二月

豎紙 一通 三三四

借用申金子之事 矢吹村借用人山口桃藏外一名  
踏瀬村箭内名左衛門殿 明治八年二月三日

豎紙 一通 三三五一  
三三二・二同 包紙入

奉公人請狀之事 石川郡矢吹村山口辰之助外二名  
踏瀬村箭内名左衛門殿 明治八年二月三日

豎紙 一通 三三五一

質物証書一札之事〔質物奉公に付〕 第九区白河  
郡河原田村借用人木村辰太郎外一名 踏瀬村箭内名  
左衛門殿 明治一年一月三日／右村〔河原田村〕  
什長加藤清左衛門奥書

豎紙 一通 三三六一  
三七六・二同 包紙入

質物証書之事〔質物奉公に付〕 第九区白河郡河  
原田村木村勘助妹奉公人くの外二名 踏瀬村箭内名  
左衛門殿 明治一年二月二日

豎紙 一通 三七六・二

約定為取替証〔貸金の代わりに溝井安五郎長男久  
作を日雇として召仕う旨約定書〕 踏瀬村箭内名左  
衛門 太田川村溝井安五郎殿 明治二年一〇月一  
二日

豎紙 一通 三三七

約定為取遣証〔星広吉金子借用に付同人子供  
を奉公させる旨約定書〕 借用人星広吉外四名  
箭内名左衛門殿 明治七年一月二日

美 一冊 三八二・一  
二八二・一三綴

借用金証書 借用人星広吉外二名 箭内名左衛門  
殿 明治七年一月二日

豎紙 一通 三八二・二

約定為取替証〔星広吉金子借用に付同人子供  
を奉公させる旨約定書〕 箭内名左衛門 星広吉  
殿 明治一七年一月二日

豎紙 一通 三八二・二  
二八二・一三綴

## 生活

### 冠婚葬祭・見舞・音信贈答

役附小遣帳 箭内 安政二年正月一日

横長美 一冊 二五八・一  
二五八・一九綴

芳之介産立并初節句祝受納帳 箭内儀信 天保  
一三年四月

横長美 一冊 二五八・二

小林母不幸二付見舞請納帳 箭内名左衛門 弘  
化二年一〇月二〇日

横長美 一冊 二五八・三

常照院宝雲道覚居士十三廻忌法事諸覚帳 箭  
内名左衛門 文政九年四月一二日

横長美 一冊 二五八・四

病中見舞貫ひ 箭内隠居 西七月

横長美 一冊 二五八・五

役附牒 箭内 弘化四年一二月四日

横長美 一冊 二五八・六

香奠受納覚帳 箭内名左衛門 文化六年一二月二  
六日

横長美 一冊 二五八・七

円心道安居士拾七年忌法事〔箭内名左衛門義受  
父〕 文化一〇年八月二七日

横長美 一冊 二五八・八

香典請納覚□ 富永半四郎 文化六年一二月二六  
日

横長美 一冊 二五八・九

焼失見舞請納一村限帳 箭内名左衛門義直代  
天保二年四月二九日夜

横長美 一冊 二五八・五

祝儀不幸其外配り控帳 箭内 嘉永五年八月ヨ  
リ

横長美 一冊 二五八・九

真光院十七回忌并真照院七回忌速逝悟入童子七回忌取越仏事執行覚帳 箭内氏 嘉永六年八月一九日	横長美 一冊 二五八〇
おやす三拾三年賀祝請納帳 箭内 嘉永七年二月二七日	横長美 一冊 二五六二
香奠請納帳〔箭内芳之助父他重郎義方三才で病死〕安政二年正月一日	横長美 一冊 二五六二
見光院宝惠乘覚居士三回忌取越法事帳 箭内保太郎 安政三年十一月一日	横長美 一冊 二五六四
真光院廿一回忌仏事執行覚帳 箭内氏 安政四年八月一九日	横長美 一冊 二五六五
祝儀請納帳 箭内保太郎 安政五年四月五日	横長美 一冊 二五六六
春暁院三十三回忌取越真照院十三回忌并速成悟入童子十三回忌仏事執行覚帳 箭内氏 安政六年十一月四日	横長美 一冊 二五六七
見光院七回忌取越法事帳 箭内保太郎 万延元年十一月一日	横長美 一冊 二五九二
御年玉暑中御年尾 箭内控 文久二年二月	横長美 一冊 二五九〇
常照院五十回忌并真光院式十七回忌真照院十七回忌速逝悟入童子十七回忌取越仏事執行覚帳 箭内 文久三年四月二二日	横長美 一冊 二五九一
多十郎初節句祝請納帳 箭内多十郎 慶応二年四月一〇日誕生	横長美 一冊 二五九二
役附牒〔箭内義直母病死に付〕 慶応三年八月二二日	横長美 一冊 二五九四
香奠請納帳〔箭内名左衛門母死去に付〕 慶応三年八月二二日	横長美 一冊 二五九五

香奠請納帳〔箭内名左衛門母死去に付〕 慶応三年八月二二日	横長美 一冊 二五八六
小使帳〔箭内義直母病死に付〕 慶応三年八月二二日	横長美 一冊 二五八七
多十郎産立祝ひ請納帳 箭内氏 慶応三年十一月二七日	横長美 一冊 二五八九
年玉請納帳 箭内 慶応四年正月	横長美 一冊 二五九〇
胎養院三回忌真光院三十三回忌取越法事執行覚帳 箭内 明治二年八月二二日	横長美 一冊 二六〇〇
〔見光院取越拾七回忌法事帳〕 庚午(明治三年九)十一月一日	横長美 一冊 二六〇九
祝儀請納帳 箭内竹三郎 明治三年二月九日	横長美 一冊 二六〇二
役附帳〔箭内名左衛門祖父義直死去に付〕 明治四年四月四日	横長美 一冊 二六〇三
不幸小入用帳 明治四年四月四日	横長美 一冊 二六〇四
香奠請納帳〔箭内名左衛門祖父義直死去に付〕 明治四年四月	横長美 一冊 二六〇五
香奠請納帳〔箭内名左衛門義信祖父義直死去に付〕 明治四年四月	横長美 一冊 二六〇六
祝儀受納帳〔おたき〕 明治四年一〇月三日	横長美 一冊 二六〇七
誉昌院一周忌法事帳 箭内氏 明治五年四月四日	横長美 一冊 二六〇八
香代受納帳 踏瀬宿箭内名左衛門 明治五年六月二日	横長美 一冊 二六〇九
香代受納帳〔義信長女きう逝去に付〕 明治六年一月六日	横長美 一冊 二六一一

箭内武二郎夫婦佐藤氏家督ニ付祝納請納 箭内氏 明治六年一月十五日	橫長美 一冊 二六〇
胎養院七回忌菅昌院三回忌法事記 箭内 明治六年旧四月四日	橫長美 一冊 二六七
三十三賀祝受納帳 (おはん) 明治七年四月三日	橫長美 一冊 二六三
祝儀受納帳 (おくら) 明治七年四月一九日	橫長美 一冊 二六三
見光院廿一回忌取越観覺妙香信女三回忌取越法事帳 箭内 明治七年旧十一月一日	橫長美 一冊 二六四
靈前見舞請納帳 箭内名左衛門 明治八年九月九日	橫長美 一冊 二六五
歳暮簿 主箭内氏 明治九年旧十二月、明治二〇年	橫美半折 一冊 二六六
菅昌院七回忌法事帳 箭内氏 明治一〇年旧四月四日	橫長美 一冊 二六七
(菅昌院七回忌法事に付書上) 明治一〇年旧四月四日	折紙 一通 二六八
出産ニ付并初節句祝請帳 箭内氏 明治一一年旧正月一四日出生	橫長美 一冊 二六〇
見舞受納帳 (病氣に付) 箭内義信母 明治一二年旧七月	橫長美 一冊 二六二
胎養院十三回忌并真照院三十三回忌取越速逝悟入童子三十三回忌仏事執行覚帳 箭内 明治一二年旧八月二二日	橫長美 一冊 二六三
年贅受納 箭内 明治一四年一月	橫美半折 一冊 二六三
祝儀受納帳 祝主箭内多十郎 明治一五年四月一日	橫長美 一冊 二六四
年贅請納 箭内 明治一六年一月	橫美半折 一冊 二六五
菅昌院十三回忌胎養院十七回忌観覺妙香信女十三回取越法事覚帳 箭内 明治一六年旧四月四日	橫長美 一冊 二六六
盆供請 箭内 明治一六年旧七月六	橫美半折 一冊 二六六
年贅受納 箭内 明治一七年正月	橫美半折 一冊 二六六
於つう祝儀受納牒 (婚姻) 箭内 明治一七年年二月二八日	橫長美 一冊 二六〇
年贅受納 箭内 明治一八年旧正月元日 (新二月一五日)	橫美半折 一冊 二六二
年甫受納 箭内 明治一九年二月	橫美半折 一冊 二六三
胎養院廿一回忌并菅昌院十七回忌見光院三十三回忌観覺妙香信女取越仏事執行帳 箭内 明治一九年旧二月一日	橫長美 一冊 二六四
年贅受納 箭内 明治二一年二月 (旧正月)	橫美半折 一冊 二六七
歳暮請納 箭内 明治二一年旧二月ヨリ	橫美半折 一冊 二六六
年贅受納 箭内 明治二二年旧正月	橫美半折 一冊 二六六
諸入費控帳 (父箭内名左衛門義信死去に付) 明治二二年五月三十一日	橫長美 一冊 二六二
御見舞受納 箭内義信母 明治二二年五月	橫長美 一冊 二六四
見舞受納帳 (箭内多十郎祖母方江受ル) 明治二二年六月二日	橫長美 一冊 二六三
盆礼受納帳 (亡父名左衛門義信新盆) 受主箭内名左衛門義重 明治二二年	橫長美 一冊 二六四
五五年賀祝儀受納帳 受主箭内名左衛門 明治二三年四月五日	橫長美 一冊 二六五



(普請作料書上綴) 田中桂作 箭内様 (明治二八年)

諸普請下指簿 踏瀬大箭内 明治三九年一月

(造作作料見積及び居宅普請費用概目) (近代)

(屋敷絵図)

信仰・旅

道中独案内図〔板〕 文化五年九月改正再版

飯豊山道中小使控牒 踏瀬宿箭内他十郎義方 嘉永元年八月六日出立

金剛山参詣道中記 箭内 嘉永五年正月四日 (一一日)

道中小遣控帳〔石尊々富士山へ〕 踏瀬駅箭内保太郎 文久元年六月二日出立

道中小遣控〔石尊江〕 文久元年六月二日出立

湯殿山参詣錢別受納帳 箭内保太郎 慶応元年六月一日出立

湯殿山道中日記 箭内 (保太郎) 慶応元年六月一日同七月九日

湯殿山道中 箭内 慶応元年六月一日同七月九日

旅籠帳 奥州道中踏瀬宿箭内保太郎 慶応元年六月

二岐入湯費控 箭内 明治一一年旧九月一四日同八月

一綴 二七〇一  
一冊 二七〇三

一綴 二七〇四  
(二冊)

二綴 二九〇五

30×80cm 一鋪 二七四四

横長小 一冊 二五八六

横長小 一冊 二五八六

横長小 一冊 二五八六

横長小 一冊 二五八六

横長小 一冊 二五八六

横長小 一冊 二五八六

横長小 一冊 二五八六

横長小 一冊 二五八六

横長小 一冊 二五八六

二岐入湯出費簿 小針衆五郎・箭内名左衛門 明治一〇年旧六月二四日同七月三日

二岐入湯出費簿 箭内家 明治九年一〇月七日同八月

二岐入湯小使控 踏瀬村箭内氏 明治七年一〇月八日同二〇日

日光東京横浜江ノ嶋鎌倉御錢別受納帳 箭内義信母 明治一〇年九月

旅籠帳 踏瀬村八番地箭内名左衛門母同やす 明治一〇年九月

那須道中記 箭内多十郎義重 明治一四年閏七月一三日 (一六日)

道中日記〔筑波山・成田山・東京・横浜・日光等〕 踏瀬村箭内名左衛門 明治一五年四月一八日同五月六日

道中日記〔筑波山・成田山・東京・横浜・日光等〕 踏瀬村箭内名左衛門 明治一五年四月一八日 (同五月六日)

東京横浜横須賀日光錢別受納帳 箭内氏はん 明治一八年四月二二日発足・五月六日帰着

石尊富士江之嶋鎌倉横浜横須賀宗吾靈筑波三山成田山参詣二付錢別受納 箭内多重朗 明治一七年八月二〇日出発・九月一六日帰着

旅籠帳 踏瀬村十番地箭内はん外三名 明治一八年四月

(慈眼寺増築関係書類綴) (明治三二年)

(墓地内立木買受契約証等綴) (明治四三年九月)

横半半折 一冊 二七四二

横半半折 一冊 二七四三

横半半折 一冊 二七四四

横半半折 一冊 二六九

横半半折 一冊 二七四九

横半半折 一冊 二五五

横半半折 一冊 二五五

横半半折 一冊 二五五

横半半折 一冊 二五五

横半半折 一冊 二五五

横半半折 一冊 二五五

横半半折 一冊 二五五

横半半折 一冊 二五五

横半半折 一綴 一八〇五

(慈眼寺改築に付経費受取証等一括) (明治四四年)	一綴 二七二	清明見通占上擲錢ノ象(持主惠教、写) 天保一五年八月写	半小 一冊 二四三
湯殿山参詣道中記 箭内 甲子七月(七日)同八月(二日)	横美半折 一冊 二五三	五穀人豊紀 土御門殿御門人鳴津大定先生撰・仙台書鋪金華房発版 嘉永三年	半小 一冊 二四三
手控(石尊への道中日記) 箭内 寅七月二日、同一六日	横長小 一冊 二六八	上総之山仁王神靈験録 天応山観音教寺蔵板 嘉永五年九月	半 一冊 二四七
手控(石尊への道中日記) 箭内 寅七月二日出立	横長小 一冊 二六八	南都名所記 南都大仏西門前絵図屋庄八版 嘉永五年二月改	半 一冊 二四六
金剛山道中小使 奥州道中踏瀬宿問屋 (午正月五日)同(一日)	横長半 一冊 二五八	五穀人豊紀 土御門殿御門人鳴津大定紀法撰 嘉永六年	半小 一冊 二四三
(湯殿山講中氏名書上) 世話人馬之助外五名 亥七月二七日	横長美 一冊 三〇〇	百姓心得の種(天保一〇年三月白川領熊村長左衛門述、写) 箭内保太郎書 安政四年正月	半小 一綴(二冊) 二五八
記(酒代請取) 箭内清十 寺世わ人御中(宛) 旧二月一八日	小切紙 一通 一八三	種蒔三番叟哥(写) 箭内信義書 安政四年一〇月二二日	横美半折 一冊 二四四
(飯豊山講中名簿並講金受取覚)	折紙 一通 三〇三	算額盤術(写) 箭内保太郎 安政五年一〇月	横美半折 一冊 二四二
蔵書		算額術(写) 箭内保太郎 安政五年一〇月	横美半折 一冊 二四三
書籍等		万見聞集(写) 箭内義信 万延元年閏三月再書	横美半折 一冊 二四六
婚略指南 人(写) 安永五年二月	横美半折 一冊 二五五	算術指南寛(写) 箭内保太郎 万延二年正月	横美半折 一冊 二四四
奥州小坂通道中記(写) 富田典宴 文化一〇年四月写	竖半半 一冊 二六九	早引万寿節用集 文久元年	半 一冊 三〇〇
寺西元栄誌外岡北海題額木村定良書(代官寺西封元治蹟、写) 文政二年二月	美 一冊 二四七	筆法伝書全(写) 箭内保太郎 文久二年二月写	半 一冊 二四五
易六十四卦(写) 所持惠教 天保一三年四月	半小 一冊 二五七	花挿之寸法秘訣(写) 箭内保太郎義信 文久二年閏八月二五日写	横美半折 一冊 二四九
		算術稽古(写) 箭内義信 文久四年正月	横美半折 一冊 二四六
		当山流軍学兵法極秘之伝(写) 学主箭内保太郎(元治元年)	横美半折 一冊 二五九

(普請作料書上綴) 田中桂作 箭内様 (明治二八年)

諸普請下指簿 踏瀬大箭内 明治三九年一月

(造作作料見積及び居宅普請費用概目) (近代)

(屋敷絵図)

信仰・旅

道中独案内図 (板) 文化五年九月改正再版

飯豊山道中小使控牒 踏瀬宿箭内他十郎義方 嘉永元年八月六日出立

金剛山参詣道中記 箭内 嘉永五年正月四日 (一一日)

道中小遣控帳 (石尊<sup>ち</sup>富士山へ) 踏瀬駅箭内保太郎 文久元年六月二日出立

道中小遣控 (石尊江) 文久元年六月二日出立

湯殿山参詣銭別受納帳 箭内保太郎 慶応元年六月一九日出立

湯殿山道中日記 箭内 (保太郎) 慶応元年六月一九日同七月九日

湯殿山道中控 箭内 慶応元年六月一九日同七月九日

旅籠帳 奥州道中踏瀬宿箭内保太郎 慶応元年六月

二岐入湯費控 箭内 明治一一年旧九月一四日同十八日

一綴 二七〇二

半 一冊 二七〇三

一綴 (二冊) 二七〇四

二鋪 二九三十五

〆〇〆〆〆〆 鋪 二七四四

横長小 一冊 二五七六

横半半折 一冊 二五七一

横長小 一冊 二五八六

横長小 一冊 二五八七

横長美 一冊 二五八九

横美半折 一冊 二五三一

横美半折 一冊 二五三一

横美半折 一冊 二五三一

横美半折 一冊 二五三一

二岐入湯出費簿 小針桑五郎・箭内名左衛門 明治一〇年旧六月二四日同七月三日

二岐入湯出費簿 箭内家 明治九年一〇月七日同十四日

二岐入湯小使控 踏瀬村箭内氏 明治七年一〇月八日同二〇日

日光東京横浜江ノ嶋鎌倉御銭別受納帳 箭内義信母 明治一〇年九月

旅籠帳 踏瀬村八番地箭内名左衛門母同やす 明治一〇年九月

那須道中記 箭内多十郎義重 明治一四年閏七月一三日 (一六日)

道中日記 (筑波山・成田山・東京・横浜・日光等) 踏瀬村箭内名左衛門 明治一五年四月一八日同五月六日

道中日記 (筑波山・成田山・東京・横浜・日光等) 踏瀬村箭内名左衛門 明治一五年四月一八日 (同五月六日)

東京横浜横須賀日光銭別受納帳 箭内氏はん 明治一八年四月二二日発足・五月六日帰着

石尊富士江之嶋鎌倉横浜横須賀宗吾霊筑波三山成田山参詣二付銭別受納 箭内多重朗 明治一七年八月二〇日出発・九月一六日帰着

旅籠帳 踏瀬村十番地箭内はん外三名 明治一八年四月

(慈眼寺増築関係書類綴) (明治三二年)

(墓地内立木買受契約証等綴) (明治四三年九月)

横半半折 一冊 二七四二

横美半折 一冊 二七四三

横美半折 一冊 二七四四

横長美 一冊 二六九

横美半折 一冊 二七四一

横美半折 一冊 二五五

横美半折 一冊 二五五一

横美半折 一冊 二五五一

横長美 一冊 二六三

横長美 一冊 二六三

横美半折 一冊 二七四二

一綴 二六八

一綴 二八五



(慈眼寺改築に付経費受取証等一括) (明治四四年)		一綴	二七二
湯殿山参詣道中記 箭内 甲子七月(七日)同八月一日	横美半折	一冊	二五三
手控(石尊への道中日記) 箭内 寅七月二日、同一六日	横長小	一冊	二六六
手控(石尊への道中日記) 箭内 寅七月二日出立	横長小	一冊	二六六
金剛山道中小使 奥州道中踏瀬宿問屋 (午正月五日)同(一日)	横長半	一冊	二五八
(湯殿山講中氏名書上) 世話人馬之助外五名 亥七月二十七日	横長美	一冊	三〇〇
記(酒代請取) 箭内清十 寺世わ人御中 (宛) 旧二月一八日	小切紙	一通	一八三
(飯豊山講中名簿並講金受取覚)	折紙	一通	三〇三
蔵書			
書籍等			
婚略指南 人(写) 安永五年二月	横美半折	一冊	二五五
奥州小坂通道中記(写) 富田典宴 文化一〇年四月写	竖半半	一冊	二六九
寺西元栄誌外岡北海題額木村定良書(代官寺西封元治蹟、写) 文政二年二月	美	一冊	二四七
易六十四卦(写) 所持患教 天保一三年四月	半小	一冊	二五七
清明見通占上擲錢ノ象(持主患教、写) 天保一五年八月写		半小	一冊 二四三
五穀人豊紀 土御門殿御門人嶋津大定先生撰・仙台書錦金華房發版 嘉永三年	半小	一冊	二四三
上総芝山仁王神靈驗録 天応山観音教寺蔵板 嘉永五年九月	半	一冊	二四七
南都名所記 南都大仏西門前絵図屋庄八版 嘉永五年十一月改	半	一冊	二四六
五穀人豊紀 土御門殿御門人嶋津大定紀法撰 嘉永六年	半小	一冊	二四六
百姓心得の種(天保一〇年三月白川領熊村長左衛門述、写) 箭内保太郎書 安政四年正月	半小	一綴(二冊)	二五八
種時三番叟哥(写) 箭内信義書 安政四年一〇月二二日	横美半折	一冊	二四四
算類盤術(写) 箭内保太郎 安政五年一〇月	横美半折	一冊	二四二
算類術(写) 箭内保太郎 安政五年一〇月	横美半折	一冊	二四三
万見聞集(写) 箭内信義 万延元年閏三月再書	横美半折	一冊	二四八
算術指南覚(写) 箭内保太郎 万延二年正月	横美半折	一冊	二四四
早引万寿節用集 文久元年		一冊	三〇〇
筆法伝書全(写) 箭内保太郎 文久二年二月写	半	一冊	二四五
花挿之寸法秘訣(写) 箭内保太郎信義 文久二年閏八月二十五日写	横美半折	一冊	二四九
算術稽古(写) 箭内信義 文久四年正月	横美半折	一冊	二四六
当山流軍学兵法極秘之伝(写) 学主箭内保太郎(元治元年)	横美半折	一冊	二五九

赤穂義士四拾七性名帳〔写〕 箭内義信再書写 慶応二年四月	横長美	一冊	二四〇〇
関軍記全〔豊臣政権期までの陸奥国戦乱史、写〕 踏瀬宿之住人箭内保太郎義信写 慶応二年写	美	一冊	二六八
関東鎮台日誌 第一、第十、第十一〔内第六一 第九一綴〕 慶応四年六月、七月	半小	七冊 一綴	二九二
鎮将府日誌 第一、第三、第五、第廿四 慶 応四年八月、明治元年一〇月	半	一三三冊	二九四
算法記〔写〕 箭内義方 明治五年正月	横美半折	一冊	二四七一
明治文抄 卷二 高橋易直編輯 明治一〇年八月 八日版權免許	半	一冊	二四六
聞書〔陰陽道関係、写〕 箭内〔明治一五年カ〕	横美半折	一冊	二五八
奥州平泉関山中尊寺案内記 著述人故菅野良観・ 出版人岩手県平民菅野澄源 明治二〇年一〇月出版	半	一冊	二四六
維新史料 第四十二編―第五十二編 明治二二 年一〇月、明治二三年三月	半	一〇冊	二九六
心理学 明治二四年		一冊	三〇三
高等国文卷二 明治二八年三月		一冊	三〇二
天朝正学序 明治二九年一二月		一冊	三〇七
教育倫理の基 明治三四年二月		一冊	三〇〇
産業組合大全 明治四一年七月		一冊	三〇四
新日本 大喪儀記念号 大正元年一〇月		一冊	三〇九
公有林野の管理及施業 大正五年三月		一冊	三〇三
福島県之蚕糸業 合理的栽桑並育蚕法 大正一 二年一〇月		一冊	三〇五

農民の政治的地位 協調会農村課 大正二二年一 二月		一冊	三〇九二
小作料はいくらが相当か 一九三		一冊	三〇五八
皇族画報 大正一三年二月		一冊	三〇五一
現代思想評論家総覧 大正一三年		一冊	三〇四八
産業組合法発布二十五周年記念講演集 大正一 四年七月		一冊	三〇六七
教育夏期講習録 大正一四年		一冊	三〇四五
産業組合要覧 大正一四年		一冊	三〇七〇
杉山報徳社創立五十年祝典記 大正一五年一〇 月		一冊	三〇八一
(上好問施業森林組合及び林業書目録) 大正一 五年一〇月、昭和三年一月	一綴 (二冊)		三〇三三
満蒙を廻りて 大正一五年		一冊	三〇五四
独逸の産業組合金融に於ける保証金額見返貸 付制度 昭和三年一〇月		一冊	三〇六六
蚕糸要鑑 大日本蚕糸会編 昭和五年七月		一冊	三〇二一
家の光 産業組合の力 昭和六年一月		一冊	三〇八三
経済知識 昭和七年九月		一冊	三〇五〇
全国養蚕業組合連合会要覧 全国養蚕業組合連 合会 昭和七年一二月		一冊	三〇四四
農林省農山漁村経済更生計画書樹立方針 昭 和七年二月		一冊	三〇六九
伊達の蚕種業と蚕桑の手引 昭和八年一〇月		一冊	三〇三三

特約取引の得失と是正策 昭和八年二月	一冊	三〇五八	(謡曲の本)〔写〕	美	一冊	二四六四
養蚕実行組合経営指針 全国養蚕業組合連合会 昭和八年	一冊	三〇六六	御絵本 一卷〔写〕 箭内氏持用	半小	一冊	二四六六
農村工業化の話 昭和九年二月	一冊	三〇八二	正風遠州水楊口伝挿花独学全〔写〕 此主保太郎書	半小	一冊	二四六七
全国養蚕業組合連合会第三回総会第四回総会議事録 全国養蚕業組合連合会 昭和九年	一冊	三〇七	茶之湯秘書〔写〕 踏瀬宿住居箭内保明書写之	横美半折	一冊	二四六八
欧米絹業視察報告並蚕糸国策 全国養蚕業組合連合会 (昭和九年カ)	一冊	三〇三三	東北〔謡曲の本、写〕	半小	一冊	二四六九
大楠公 中村孝也著 昭和一〇年三月	一冊	三〇九〇	回向文御書〔日蓮宗教説、写〕	半	一冊	二四七四
議會と選挙の肅正 昭和一〇年八月	一冊	三〇五三	(関軍記抜粋)〔写〕 中畑小針弥太郎 箭内名左衛門様	美	一冊	二四七六
結城宗廣公を偲ぶ 白河町結城会発行 昭和一二一年一〇月	一冊	二四六二	花挿之寸法秘訣〔写〕 箭内氏藏之	横美半折	一冊	二四七九
戦時体制下の農村対策 昭和一三年四月	一冊	三〇四六	(婚略指南)〔写〕	横美半折	一冊	二四八二
公有林と山村生活 昭和一四年五月	一冊	三〇七	周易占本〔写〕	半小	一冊	二四八六
河出書房特売目録 昭和一四年一月	一冊	三〇八八	諸事占本〔写〕	半小	一冊	二四八七
米増産虎の巻 昭和一五年二月	一冊	三〇八一	国尽婚礼鏡〔写〕 比ぬし野木はむ女	美	一冊	二四八九
算盤術稽古〔写〕 箭内義治学之 壬申正月	一冊	二四〇七	聞書〔陰陽道関係、写〕 箭内	横美半折	一冊	二四七〇
仙台御武鑑	一冊	二六六	神道神歌集〔写〕 箭内氏	横美半折	一冊	二四七一
仁ノ説〔写〕 筆者大塩精一郎	一冊	二四一八	大成武鑑 西御丸御役人衆卷之四	半小	一冊	二四七六
算法記〔写〕	一冊	二四七二	(武鑑)	半小	一冊	二四七七
難波戦記〔写〕	一冊	二四四一	江城日誌 第一―第十五	半小	一冊	二四七九
小謡〔写〕 箭内	一冊	二四四三	東望朔置文秘伝書〔陰陽道、写〕 所持経覚山主人	横美半折	一冊	二四八三
年代記〔天皇家をめぐる神話と歴史、写〕	一冊	二四六三	慶安太平記 卷二―五	横美半折	四冊	二四八七





蚕糸界報 四三一、四四二、四四四、四四六、四 五〇、四五四、四五六、四五九、四六〇、四六七、 四七〇、四七五、四七八、四八三、五一四、五一七、 五一八 昭和三年一月、昭和一〇年四月	三四冊 三〇七
山林 五四七、五八六、五八九、五九〇、五九二、 六二三、六二五、六二九、六三一、六三三、六三六、 六三七 昭和三年六月、昭和一〇年二月	五一冊 三〇八
帝国農會時報 三五、三九、四一、四三、四七、 五〇 昭和五年一〇月、昭和七年一月	九冊 三〇〇
福島県農會報 一二四、一二七、一二〇、一二一、 一二五、一二六、一二八、一二九、一二二 昭和五 年一〇月、昭和一四年八月	九冊 三〇一
大日本報徳 三五四 昭和六年一月	一冊 三〇三
日系市民県下滞在住居録〔海外協會會報二八号 附録〕 昭和八年八月	一冊 三〇五
農業 六四七、六五四、六五六、六六二、六六七 、六七一 昭和九年一月、昭和一一年一〇月	一五冊 二九九
墨池 一二九、一五四、一五六、一七二、一七六 、一八三 昭和九年一月、昭和一三年八月	五二冊 三〇五
自然科学と博物館 五八号 昭和九年一〇月	一冊 三〇九
蚕業新報 四一一〇、四三二五〇二・五〇四 昭和九年一〇月、昭和一〇年六月	三冊 三〇〇
農村更生時報 創刊号 昭和一〇年二月	一冊 三〇六
栃木県神職會報 一三九 昭和一一年四月	一冊 三〇六
三越 一五一、一五八 昭和一三年四月、一〇月	二冊 三〇七
新書道 一一五、一一九 昭和一三年八月、一二 二月	二冊 三〇六

村 昭和一四年九月号、一五年五月・一月号 昭 和一四年九月、昭和一五年一月	二冊 三〇三
福島県海外協會會報 四七、五五、五九、六四、 七九、一八・一九、二二四 昭和一五年五月、 昭和一六年一〇月	一一冊 三〇六
社会雑誌 一四、一五 社会 三一、一、一二 社会学雑誌 四一、一、九	一二綴 (一二冊) 三〇六
(雑誌・絵葉書等一括)	一括 三〇四
<b>教育・教養・文化</b>	
(武家法度) 寛文三年八月五日	綴綴紙 一通 二九八七
墨製竜腦製松煙油煙取様共秘伝書四ヶ条 仙 台家中増井主水 白川郡滑津村野木栄蔵殿 文化一 四年十二月二〇日	半 一冊 一七六
小笠原古流鑓形配膳百ヶ條目録〔秘伝伝授書〕 中村喜久馬尚方 箭内名左衛門殿 文政二二年五 月	横切綴紙 一通 二四三
隅田川船遊心 箭内義信 (文久三年書写)	横美半折 一冊 二四七五
明治六年太陽曆〔板〕 (明治六年)	半 一冊 二四六
陸軍武官表〔板〕 明治七年十一月八日改定	堅紙 一通 二五六二
(貸金催促訴訟關係書類・共有地人名簿・箭内 名左衛門長男小学転校願綴) (明治九年、同一 一年)	綴 一綴 二三五
新聞諸書雑誌注文及購求控 箭内多十朗 明治 一四年三月	横美半折 一冊 二七五

修身書 箭内亘 明治一七年五月	横美半折	一冊	二四〇
大塚由成先生教授 農理学 首 箭内 明治一 九年初	半	一冊	二四四七
三等教諭中條澄清教授 諸比例 完 箭内 明 治一九年二月	半	一冊	二四四六
珠算筆記 同乘異除之部 箭内(多十郎) 明治 一九年五月一日改	半	一冊	二四四五
幾何学解式 箭内多 明治一九年一月	半	一冊	二四四四
文章正文 西白河郡町屋村佐藤貫一用 明治一九 年二月	半	一冊	二四四七
普通体操隊列運動法 在栃木県師範学校箭内多十 郎 明治一九年	半小	一冊	二四三
教場雜記 第貳 箭内多 明治一九年	半	一冊	二四三
学窓余筆 完 於栃木県尋常師範学校箭内多十郎 明治一〇年三月三三日写	半小	一冊	二四三
化学之歴史 箭内性 明治二〇年三月二四日謄写	半	一冊	二四四三
幾何学 第一 箭内 明治二〇年五月	半	一冊	二四四一
代数学 箭内多十郎 明治二〇年五月	半	一冊	二四四二
(組長任命書) 栃木県尋常師範学校 第三年生箭 内多十郎(宛) 明治二一年一月一日	縦紙	一通	二六五
志賀先生教授算術筆記簿 (太田川尋常小学校) 尋常四年級箭内キイ 明治二二年九月	横美半折	一冊	二四〇八
(学費計算表) 明治二二年	半	一冊	二五四四
学校経費二関スル手控 箭内多十郎 明治二二 年四月初	横美半折	一冊	二五四五
箭内多十郎卒業ニ付祝受納 箭内氏 明治二二 年四月二二日	横長美	一冊	二六四〇
米僊之高弟批僊画譜一 批僊 辛卯(明治二四 年九)八月	半	一冊	二四九一
米僊之高弟批僊画譜二 箭内 辛卯(明治二四 年九)九月	半	一冊	二四九二
米僊之高弟批僊画譜参 辛卯(明治二四年九)一 〇月	半	一冊	二四九三
米僊之高弟批僊画譜四 箭内写 辛卯(明治二 四年)一一月	半	一冊	二五六四
米僊之高弟批僊画譜五 箭内氏 辛卯(明治二 四年九)一一月	半	一冊	二四九四
米僊之高弟批僊画譜六 箭内氏 辛卯(明治二 四年九)一一月	半	一冊	二四九五
米僊之高弟批僊画譜七 箭内 辛卯(明治二四 年九)一一月	半	一冊	二四九六
米僊之高弟批僊画譜八 箭内 辛卯(明治二四 年九)一一月	半	一冊	二四九七
寢言 第二 明治二五年春	横美半折	一冊	二四九
(箭内亘第二室組長任命書) 福島県尋常中学校 長和田豊 箭内亘(宛) 明治二五年四月六日	縦紙	一通	二六〇九
明治二十六年四月中福島県報目録(福島民報第 二百十二号附録) 福島民報社發行 明治二六年五 月六日	(綴)	一冊	二四〇
近世詩文拔萃 齋海生 明治二六年	半	一冊	二四五一
美多礼咲 第一輪・第二輪(短歌集) 無極庵望 洋編 明治一七・二八年	半	二冊	二四五二

千紫万紅 卷之一「短歌など」 柳の舎 明治乙未(一八年カ) 仲夏	半	一冊	二四五四
茅簷余滴 櫻台鹿水橋舎柳江子 明治丙申(一九年) 四月起	半	一冊	二四二五
(俳句集) (明治三二年カ)	半小	二冊	二九〇〇
番外耕余漫筆農家生活事情 第三稿 明治三七年一月稿了	半	一冊	二四六〇
日誌 西一年箭内るい 明治三九年冬休中	横半半折	一冊	二六四八
間食日誌 (福島高等女学校第一学年生) 西一年箭内るい子 明治三九年十二月二日	半	一冊	二四五一
反省録 西一年箭内るい (明治三九年十二月二日) 西一年箭内るい 明治三九年一月七日	半	一冊	二四五一
(桜の絵) 西一年箭内るい (明治四〇年カ)	縦紙	一通	二四五一
随感随録 (蔵書書上・蔵書からの抜粋等) 芳翠 (近代)	横半半折	一冊	二六五一
蒙古史稿 卷一 尚軒編 乙巳臘	半	一冊	二四二二
墨製仕上諸道具帳	横半半折	一冊	一七八八
(算術科答案) 高等四年級箭内亘	縦紙	一通	二四〇六
三和先生教授化学 第三	半	一冊	二四四二
農学 橘彪四郎先生教場 箭内多十郎君御筆記	半	一冊	二四四八
多和田先生教授教育学 第参 T. Yanai	半	一冊	二四四九
(試験答案綴) 三年生箭内多十郎	一綴	二四四〇	
三和先生教授化学 第一 箭内	半	一冊	二四四三
(試験答案綴) 箭内亘	一綴	二四二六	
(足利尊氏論ほか作文集)	半	一冊	二四二七
(作文綴) 川崎村鉄香箭内名左衛門	美	一綴	二四二九
ベースボール会に就て	美	一冊	二四三〇
(東洋史論文原稿)	一綴	二四三三	
珠算筆記 箭内蔵(多十郎筆記)	半	一冊	二四四四
(書道手本)	美大	一冊	二四四五
修身 高等四年級箭内亘	半小	一冊	二四四六
倫理学 第一 箭内	半	一冊	二四七三
珠全(珠算筆記) 箭内多十郎筆記	半	一冊	二四七四
Book-Keeping (元帳登記ノ稽古) T. Yanai	半	一冊	二四七五
理化学筆記 箭内亘筆記	半小	一冊	二四八一
地理 下(親友の名簿あり) 高等四年級箭内亘	半小	一冊	二四八二
(学校のノート)	半	一冊	二四八九
(商業科・化学科ノート)	半小	一冊	二四九〇
(習字) 西箭内るい	縦紙	四通	二四三一
義公黄門仁徳録四 廿卷之内	折紙	一通	二四四二
日本大橋尽(板) 馬喰町三丁目吉田屋小吉	一綴	二四四四	
(作文)	半	一冊	二四四六
飛雪庵孤雲宗匠撰 秋季混題 月次第九集	半	一冊	二四四七
(俳句集) 企澹哉・望洋・戯柳	36×27cm	一枚	二四四五
誠忠義士銘々略伝(板)			



山紫水明 第一編〔漢詩〕	半	一冊	二五七	御届之写(天狗党の乱などの情報書留) 箭保 明写之 元治元年林鐘一八日	半	一冊	三五九
本来土地価格ノ高低變動如何ノ質問ニ答フ 箭内望洋	折紙	一通	二四七	水府家并加州於中湊降参人数〔水戸天狗党関係〕 箭内氏 元治元年二月写	横長美	一冊	一三九
七夕の願懸〔七夕関係短歌集〕 箭内氏	横美半折	一冊	二四三	甲子五月十一日河内守殿於京都御渡候書付 〔朝廷からの勅書、及び徳川家茂の請書等の写〕 元 治元年	半	一冊	二六三
四季のななめ ひとり言一〔俳句の添削〕 無極 庵望洋	半	一冊	二四七	白川御引受御用并在番留 源元良 慶応三年七 月二三日(慶応四年二月)	横美半	一冊	二六九
〔俳句集〕	半小	一冊	二四六	諸聞書留 箭内義信 慶応三年	横美列	一冊	二七〇
〔ちらし書〕〔部分〕	横切紙	一通	二四八	〔徳川慶喜が大坂へ退城の後提出した奏聞状な どの写〕(慶応三、四年)	横長美	一冊	二七一
切見本〔端切れ見本〕 福島高等女学校内箭内るい	横半半折	一冊	二四八	〔幕末の政情聞書〕(慶応四年カ)	美	一冊	二六六
軍学兵法極秘之伝	横切紙	一通	二五二	〔天誅組の変関係聞書カ〕	美	一冊	二六六
地方時言〔道路論・信用組合法案など時事評論〕	半	一冊	二五七	〔幕末維新期の社会情勢書留〕	横美半折	一冊	二六七
〔書画等一括〕	一点	二七七					
〔「伊勢大神宮」の掛軸〕	一幅	二九八					
情 報				箭内家関係諸事			
〔桜田門外の変に付書留〕(万延元年)	横長美	一冊	二六二	〔日記〕(文政九年)	横小	一冊	二六三
聞書〔桜田門外の変に付聞書〕 万延二年三月 九日写	半	一冊	二六三	〔奥州手板仲間前書上〕〔板〕手板組大行事 嘉永六年	縦紙	一通	二六八
〔文久三年長州藩外国船砲撃事件等世上聞書〕 (文久三年)	横長美	一冊	二六九	〔奥羽丸荷組仲間前書上〕〔板〕定行事 万延 二年正月	縦紙	一通	二四二
〔禁門の変・天狗党の乱等の情報書留〕 元治元 年八月一〇日写	横長美	一冊	二七五	差上申一札〔飲酒暴言の詫状〕 太田川村金五 外二名 踏瀬村箭内名左衛門様・大助殿 元治元年 二月二日	縦紙	一通	二〇九

謹戒書之事(これまでの不埒の行状を改める旨の神文誓詞) 小林三雄隆恵 箭内名左衛門様 元治元年二月二十六日	縦紙	一通	三二〇
親類書 代々棚倉城附屬郷士父八郎嫡子見習給十五石野中準太郎親敏 慶応二年四月	包紙入 縦紙	一通	二六九
(年齢早見表カ) (明治一三年一月)	折紙	一通	二七〇・二
面会願(伯父石射信之介との面会願) 踏瀬村十番地平民右同人(石射信之介) 甥矢内名左衛門 福島県監獄書記兼看守長竜造寺豊太郎殿 明治一八年一月二八日ノ不許可の旨龍造寺豊太郎朱筆奥書	縦紙	一通	三四三
履歴書(箭内名左衛門) 箭内名左衛門 明治二三年六月一日	半	一冊	二九五十一
履歴書(箭内名左衛門) 箭内名左衛門 明治二三年六月一日	美	一冊	二九五十二
(明治二六年度歳入科目についての福島県正戸示[板]) 発行所福島民報社 明治二六年三月	縦紙	一通	二八〇五
親類書(婚姻に付) 宇野美里 明治二六年十一月八日	包紙入 折紙	四通	二六九六
小林仲右衛門翁手記(小林仲右衛門は箭内義直の妻の美弟、手記は幕末のもの) 古稀義重識 昭和一〇年五月中旬	半	一冊	二四六
(謝恩会における寄せ書き) 箭内名左衛門外一三名 昭和一〇年九月二十九日	63.5×38cm	一枚	二六五
感謝状(学校へ扁額寄附に付) 西白河郡川崎村長赤沼龍治・川崎尋常高等小学校長角田誠一郎 箭内名左衛門殿 昭和一一年七月二〇日	縦紙	一通	二六五七
(安保闘争のビラ) (安保対策委員会) 一九六〇年五月九日	縦紙	一通	二七〇一

用 状 等

(三池闘争のビラ) 三池闘争中央共闘本部・三池闘争推進東京共闘会議 一九六〇年五月十三日	縦紙	一通	二七〇一
縁状事(もと離縁状) 庄左衛門 文太殿・清左衛門殿 未正月二八日	縦紙	一通	二三三
(眼鏡を譲ってほしい旨の又介書状) (二三一七一) 一八四の包紙に使用) 箭名左衛門様 一月二三日	縦紙	一通	二三一七・一七
覚(紙包一つ受取書) 佐藤八十吉 森誠一様 三月五日	小切紙	一通	二五九
(茶壺等お目につけたい旨書状) 小林 箭内様 一三日	縦紙	一通	二三七
喜太郎家移り(家財道具書上)	横長半	一冊	二七三
(廻状)		一束	二八〇
(用状)		一束	二八三
(用状)		一束	二八三
(用状)		一束	二八三
(受取)		一束	二八四
(用状)		一束	二八五
(用状)		一束	二八六
(口上覚)		一束	二八七

(用状)	一束 二六六	(踏瀬村関係書類)	一括 二六九
(用状)	一括 二六五	(用状)	一束 二六〇
(旧第九区什長給并通送賦課帳等)	一束 二六〇	(諸書類)	一束 二六五
(助郷人馬書上等)	一束 二六三	(扶持米渡手形等)	一括 二六三
(用状)	一束 二六三	(川原田村出入一件書類)	包紙入 一束 二六三
(用状)	一束 二六三	(金錢勘定等)	一括 二六四
(駒代金書上)	一束 二六四	(用状)	一束 二六五
(議定書)	一束 二六五	(用状)	一括 二六五
(村絵図)	一括 二六六	(人頭請一札等)	一括 二六七
(地券)	一括 二六七	(用状等)	一括 二六八
(用状)	一括 二六八	(用状)	一括 二六九
(地券)	一束 二六九	(用状)	一括 二七〇
(用状)	一束 二七〇	(日本図)〔板〕	一鋪 二六一
(用状)	一括 二七一	天保一四年	
(用状)	一括 二七二	皇都六角堂前丁子屋源次郎板元	
(踏瀬村関係書類等)	一括 二七三	(用状)	一束 二七三
(踏瀬村関係書類等)	一括 二七四	(用状)	一束 二七四
(証書等)	一括 二七五	(地券等)	一束 二七五
(用状)	一括 二七六	(諸勘定等)	一束 二七六
(用状)	一括 二七六	(用状)	一括 二七六
(用状)	一括 二七七	(地券)	一括 二七七
(用状)	一括 二七八	(用状)	一束 二七八

(用状)	一束 二六九	(御肴料包紙)	一束 二八九〇
(用状)	一束 二六七	(用状)	一束 二八九一
(用状)	一括 二六五	(用状)	一束 二八九二
(用状等)	一括 二六三	(用状)	一束 二八九三
(用状等)	一括 二六二	(用状)	一束 二八九四
(用状)	一括 二六〇	(用状)	一束 二八九五
(用状)	一束 二五九	(用状)	一束 二八九六
(地券)	一束 二五七	(用状)	一束 二八九七
(金錢請取綴)	二綴 二五六	(用状)	一束 二八九八
明治一三・一四年		(用状)	一束 二九〇〇
(用状)	一束 二五五	(用状)	一束 二九〇一
(用状)	一束 二五三	(宿駅関係書類)	一束 二九〇二
(用状)	一束 二五一	(金錢勘定)	一束 二九〇三
(人頭請払一札)	一束 二四九	(宿駅関係書類)	一束 二九〇四
(用状)	一括 二四七	(用状)	一束 二九〇五
(用状)	一括 二四五	(用状)	一束 二九〇六
(用状等)	一括 二四三	(用状)	一束 二九〇七
(用状)	一括 二四一	(用状)	一束 二九〇八
(御肴料包紙等)	一括 二三九	(用状)	一束 二九〇九
(用状)	一束 二三七	(用状)	一束 二九一〇

(用状)	一束	二九二	(用状)	一束	二九三
(地券)	一束	二九三	(諸書付)	一束	二九三
(宿駅関係書類)	一括	二九三	(諸帳簿)	一束	二九三
口授秘伝	包紙入 一括	二九四	(諸書付)	一束	二九四
(用状)	一束	二九五	(用状)	一束	二九五
(用状)	一束	二九六	(用状)	一束	二九六
(用状)	一束	二九七	(用状)	一束	二九七
(用状)	一束	二九八	(用状)	一束	二九八
(用状)	一束	二九九	(用状)	一束	二九九
(用状)	一束	三〇〇	(用状)	一束	三〇〇
(用状)	一束	三〇一	(用状)	一束	三〇一
(用状)	一束	三〇二	(用状)	一束	三〇二
(用状)	一束	三〇三	(用状)	一束	三〇三
(用状)	一束	三〇四	(用状)	一束	三〇四
(用状)	一束	三〇五	(用状)	一束	三〇五
(用状)	一束	三〇六	(用状)	一束	三〇六
(用状)	一束	三〇七	(用状)	一束	三〇七
(用状)	一束	三〇八	(用状)	一束	三〇八
(用状)	一束	三〇九	(用状)	一束	三〇九
(用状)	一束	三一〇	(用状)	一束	三一〇

(用状)	一束	二九五三
(用状)	一束	二九五三
(用状)	一束	二九五四
(用状)	一束	二九五五
(用状)	一束	二九五六
(書状等)	一束	二九五七
(用状)	一束	二九五八
(用状)	一束	二五五九
(用状)	一束	二五六〇
(用状)	一束	二五六一
(諸書付)	一束	二五六二
(用状)	一括	二五六三
(用状)	一括	二五六四
(用状等)	一括	二五六五
(用状)	一括	二五六六
(用状)	一括	二五六七
(用状)	一括	二五六八
(用状)	一括	二五六九
(用状等断片)		二五七〇
(諸書付)	一括	二五七一
(諸書付)	一括	二五七二

(諸書付)

一括 二五七三

史料館所蔵史料目録 第五十五集

陸奥国白河郡踏瀬村箭内家文書目録（その二）

平成四年三月三十一日 印刷発行

編集兼 国文学研究資料館

発行者 史料館

〒142 東京都品川区豊町一丁目十六番十号  
電話 〇三―三七八五―七二三二（代）

印刷所 陸美マイクロ株式会社

〒135 東京都江東区木場六丁目十二番五号

（本文用紙は中性紙を使用）

# 陸奥国<sup>むつ</sup>白河<sup>しらかわ</sup>郡踏瀬村<sup>ふませ</sup>箭内家文書目録<sup>やない</sup>（その二） 解題

## 文書の伝来と本目録の作成方針

本目録は、『史料館所蔵史料目録第五十四集 陸奥国白河郡踏瀬村箭内家文書目録（その一）』（平成三年三月発行、以下『目録（その一）』と略称）の続編である。

箭内家文書は、陸奥国（磐城国）白河（白川）郡踏瀬村（現福島県西白河郡泉崎村大字踏瀬）箭内家の原蔵にかかる文書群で、平成二（一九九〇）年度に現当主の箭内健次氏（東京都在住）から当館に寄贈されたものである。

本文書は、既に『泉崎村史』編纂の過程で整理がなされており、その成果は『泉崎村史文書目録編第三集』（泉崎村教育委員会、昭和五二年、以下『村史目録』と略称）に収録されて刊行されている。『村史目録』は、同文書を、支配、村、土地、人口、租税、交通、産業、酒造、駒付、治安・訴訟、宗教、凶災・救恤、金融・貸借、教育・学芸、学校、習俗、家の各主題項目別に分類しており、『目録（その一）』には、そのうち支配、村、土地、人口、租税、宗教、凶災・救恤の各項目の史料約二千点を収載した。本目録には、残りの各項目の史料及び『村史目録』に収録されていない史料を収めた。本目録の刊行により、箭内家文書の目録化は一応完了した。

『村史目録』の文書番号は各項目ごとの通し番号であるが、当館では文書番号は史料群ごとの通し番号にしている。そこで、箭内家文書についても当館の方式に従って文書番号を改めたので、本目録収載分の文書について、『村史目録』の文書番号と本目録の文書番号との対照表を掲げた。

箭内家文書の整理にあたっては、文書群の内部構造の復元に努めた。その結果、箭内家文書は図に示したような内部構造をもつことが判明し



た。そして、『目録(その一)』には、踏瀬村(明治九年まで)、踏瀬新田村、十軒新田村、七軒新田村、二子塚村、二子塚新田村、踏瀬村(明治一〇年以降)の各項を収載し、本目録には、主として踏瀬宿、駒付役、箭内家の各項を収載した。しかし、『目録(その一)』を出した段階では文書群全体の整理が済んでおらず、その後の整理の過程で本来ならば『目録(その二)』所収の各項に収めるべき史料が後から出てきてしまった。そのため、本目録は、踏瀬宿、駒付役、箭内家の各項を中心としつつも、一方では『目録(その二)』の収載漏れ史料をも併せ載せるといふ体裁の悪い形になってしまったことをお詫びしたい。

図 箭内家文書の内部構造

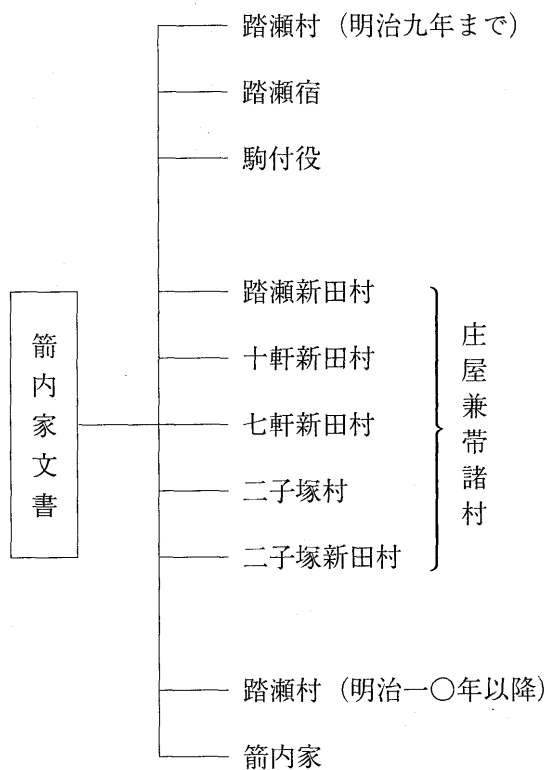


表 『村史目録』と本目録の文書番号対照表

『村史目録』の 文書番号	本目録の 文書番号	『村史目録』の 文書番号	本目録の 文書番号
な し	1 3 1 9	教育・学芸 1	2 4 0 2
	}	}	}
	1 3 2 1	ゝ 8 0	2 4 8 1
宗 教 1 9	1 3 2 2	学 校 1	2 4 8 2
ゝ 2 0	1 3 2 3	}	}
交 通 1	1 3 2 4	ゝ 7 1	2 5 5 2
}	}	習 俗 1	2 5 5 3
ゝ 4 4 1	1 7 6 4	}	}
産 業 1	1 7 6 5	ゝ 2 0	2 5 7 2
}	}	家 1	2 5 7 3
ゝ 5 0	1 8 1 4	}	}
酒 造 1	1 8 1 5	ゝ 1 5 3	2 7 2 5
}	}	村 1	2 7 2 6
ゝ 9 0	1 9 0 4	}	}
駒 付 1	1 9 0 5	ゝ 3	2 7 2 8
}	}	ゝ 5	2 7 2 9
ゝ 1 7 6	2 0 8 0	ゝ 6	2 7 3 0
治安・訴訟 1	2 0 8 1	ゝ 9	2 7 3 1
}	}	}	}
ゝ 9 0	2 1 7 0	ゝ 1 3	2 7 3 5
金融・貸借 1	2 1 7 1	ゝ 2 0	2 7 3 6
}	}	支 配 5 5	2 7 3 7
ゝ 2 3 1	2 4 0 1	}	}
		ゝ 5 7	2 7 3 9
		租税 5 1 4 - 1、2	2 7 4 0 - 1、2

そこで、箭内家文書の内部構造にもとづいた項目編成の全体像を次に示しておこう。

踏瀬村（明治九年まで）

土地

検地帳・名寄帳、土地書上、割地、荒地・起返地、新田開発、林野、溜池

年貢諸役・村入用

植付・刈取、内見、定免、年貢割付状、年貢金割賦帳、年貢金取立帳、年貢金請取、年貢取立帳、年貢勘定帳、欠米勘定帳、年貢算用、年貢皆済目録、安石代、諸役、村入用・郡金・郡中入用、郡金・郡中入用等請取、差出金・上納金

支配

領主役人名、御用留・諸願留、触・達・規則、請書、願書、兵賦、五人組帳前書、有穀調、救恤、積石・積金、慈幼錢

村政

村況、村役人、出勤、寄合、文書授受、請書、墓地、死亡・埋葬、行倒人、村政諸事、村々書上、村借、若者組・芝居、他村関係

戸口

宗門人別改帳、人別書上、転出入

寺社

慈眼寺、熊野社、村内諸寺社、念仏、村外諸寺社

踏瀬小学

庄屋兼帯諸村

踏瀬新田村

土地

年貢諸役・村入用

定免、年貢割付状、年貢勘定、年貢皆済目録、郡金・郡中入用等請取

村政

救恤

十軒新田村

土地

土地書上・地租改正、林、溜池

年貢諸役・村入用

作柄、定免、年貢割付状、年貢割賦帳、年貢取立帳、年貢勘定帳、年貢請取、年貢皆済目録、村入用帳、郡金・郡中入用等請取、上納金、

人足

村政

戸口

救恤

引継文書

七軒新田村

土地

年貢諸役・村入用

作柄、定免、年貢割付状、年貢割賦帳、年貢取立帳、年貢勘定帳、年貢請取、年貢皆済目録、村入用帳、郡金・郡中入用等請取

村政

戸口

救恤

引継文書

二子塚村

土地

年貢諸役・村入用

年貢、夫錢、郡金・郡中入用等請取、上納金・返納金

村政諸事

二子塚新田村

村況

郡金・郡中入用等請取

踏瀬村（明治一〇年以降）

土地

地租改正、土地取調・書上、官有地・公有地・村有地

租税・村費

支配

御用留、通達・規則、徴兵、巡幸

村政

寄合、役職、選挙、議会、村政諸事、戸籍、戸口、墓地・埋葬

寺社

踏瀬小学

踏瀬宿

宿勤

往還御用留、先触、御先触留帳、日ノ帳、願書、議定書、吉五郎一件、宿勤諸事

助郷

人馬割出帳、議定書、昇役、加助郷・増助郷、助郷諸事

触・達等

他宿

駒付役

役儀

駒御用留

駒改

当歳駒、式歳駒

羅駒

御羅駒相調書上帳、御羅駒代金取立帳、御羅駒代金渡方并分金取立帳、御羅駒代金相調書上帳、羅駒諸事

種 駒

駒付役諸事

箭 内 家

由緒・格式

酒 造

金錢出入

金錢貸借、借用証文、年賦証文、酒造關係金子借用、無尽、金錢出入

土 地

地券、小作、土地關係諸事

郵便馬車会社

内国通運会社

積金同盟会

踏瀬信用購買販売組合

奉公人・職人

給金帳、奉公人・職人關係諸事

生 活

冠婚葬祭・見舞・音信贈答、普請、信仰・旅

藏 書

書籍等、絵図・地図、雜誌

教育・教養・文化

情報

箭内家関係諸事

用 状 等

以上の項目のうち、傍線を引いた項目は『目録（その一）』にのみ収められたものであり、網掛けで示した項目は『目録（その一）』と本目録の双方に収められたもの、それ以外の項目は本目録にのみ収められたものである。

また、箭内家文書のなかには、複数の項目にまたがる文書がかなりある。それについては※マークをつけて重出したが、すべてを重出すると目録が非常に繁雑になるので、踏瀬村（明治九年まで）と庄屋兼帯諸村の双方に関わる文書は\*マークをつけて踏瀬村の項にのみ収めた。したがって、庄屋兼帯諸村に関わる文書については、当該村の項だけでなく、踏瀬村（明治九年まで）の項の\*マークのついた文書をも参照されたい。また、本目録中で「踏瀬村外三ヶ村」と表記されている場合、「外三ヶ村」とは踏瀬新田村、十軒新田村、七軒新田村の三ヶ村である。

そのほか、箭内名左衛門が明治一二（一八七九）年以降太田川村の戸長を勤めたことにより伝存した文書（つまり、踏瀬村には関係なく太田川村にのみ関係する文書）がごくわずかだが存在する。こうした文書は、厳密に考えれば「太田川村」という大項目を設けてそこに配するべきであるが、点数が少ないため便宜上踏瀬村（明治一〇年以降）のなかに含め、○マークをつけてそれとわかるようにした。



## 箭内家文書の内部構造

### 1 踏瀬宿

踏瀬村は、同時に奥州道中の宿駅、すなわち踏瀬宿でもあった。もともと、白河以南が五街道の一として道中奉行支配であったのに対し、白河より北、三厩（みんまや）までは勘定奉行の管轄で脇往還的存在であった。白河以北の宿駅をあげれば、根田（ねだ）―小田川（こたがわ）―太（大）田川（おおたがわ）―踏瀬―大和久（おおわく）―中畑新田（なかはたしんでん）―矢吹（やぶき）―久来石（きゅうらいし）―笠石（かさいし）―須賀川（すかがわ）と続き、その先に郡山がある。

踏瀬宿は、慶長年間に西方にあった旧地から民家を引移して成立したもようで、村絵図には当時の家並の西方、端郷二本栗へ向かう途中に古踏瀬という地名が見える（文書番号二九九三―一）。踏瀬宿には本陣はなく、地子免許も与えられていなかった。人家は、端郷（二本栗、瀧原）の数軒を除いて街道沿いに整然と並び、家並の中央に高札場、大和久寄りの村境に一里塚があった。踏瀬宿は踏瀬町と呼ばれることはなかったものの、村内の小字には、町頭畑、町尻畑、町浦畑、町尻田などがみられる（二九九二―一）。

人馬継立は、隣接する踏瀬、小田川、太田川、大和久の四宿が一組になり、一〇日交替で行っていた。すなわち、毎月一日から一〇日までは踏瀬、一一日から二〇日までは小田川、二一日から晦日までは太田川、大和久が継立を担当した。踏瀬宿の継立先は、上りは根田宿（但し大名通行の際は白河宿まで）、下りは矢吹宿であった。宿に常備の人馬数は、嘉永四（一八五二）年の史料（二二六）によれば、文化七（一八一〇）年以降一日に人足一〇人、馬一五疋、文政二（一八一九）年以降二五人、二五疋、そのうち七人、五疋は非常の備えに困いおき、残る一八人、二〇疋で日々の継立を行い、弘化三（一八四六）年には二〇人、二〇疋、うち五人、五疋を非常用に困いおき、一五人、一五疋ずつ日々継立て、

弘化四年以降二五人、二五疋、うち七人、五疋を非常用に囲いおき、一八人、二〇疋ずつ日々継立て、以上の人馬を上回る分については助郷人馬を用いていたが、これらの宿常備人馬数は幕府が定めたものではなく、宿と助郷の相対によって決められたものであったため、時々宿・助郷間の争論が起こった。

踏瀬宿の助郷村は時期によって若干の変動があるが、延享四（一七四七）年には上新城、中新城、下新城、町屋、増見、大谷地、泉田、大和田、北平山、関和久、松倉、二子塚、河原田、吉岡、沢井、中畑、堤、松崎、明岡、中野目、河辺、吉の各村が定助郷となり、安永七（一七七八）年には曲木、蒜生、小高、吉の四ヶ村が大助郷になった（二四八三）。嘉永七（一八五四）年の史料では、定助郷に根田、新小萱両村が加わり、河辺（川部）村が上、中、下の三ヶ村に別れて、全二六ヶ村となっている。また、石川郡浅川町など三四ヶ村が加助郷に指定され、その他に増助郷や当分助郷もおかれた（二四五二、一四五六一）。踏瀬宿には、宿役人として問屋、検断、帳付、馬差があり、箭内家は問屋、検断を世襲していた。検断は奥州道中の宿駅におかれた役職で、他宿の事例をみると、須賀川宿では訴訟・街道取締などの事務をおこない（『須賀川市史』近世）、郡山宿では「検断の任務は、人別帳欠落、生育などの人口、町人の奉公人雇い・祭礼・興行・夜廻り・町医・病人のほかに大名の休止や・泊・人足馬代金・駄馬などで、いずれも町年寄の職責の上位にあった」（『郡山市史』三 近世下、二〇四ページ）、「特に検断は、（中略）藩の商業政策である商品の領外移出（商物）や商人の宿駅出入の取締り、物価や賃金、藩の商人鑑札下付（財政収入とする課税徴収）を取扱った」（同前）とされているが、踏瀬宿では箭内家が一貫して庄屋、問屋と検断を兼ねており、検断の固有の職務内容を抽出することはできない。

## 2 駒 付 役

現福島県南部は三春駒に代表される馬の産地であり、各地で馬市が開かれた。馬市では、領主が必要な馬を優先的に買い上げ、残りの馬は糶にかけられて、領主はその代金に対して一定の割合の運上金（分金）を課した。駒付役とは、領主に任命されて、この糶駒を管理し、また当歳駒や式歳駒の改めを行い、さらに村々に種駒を貸付けた、駒代金（馬の購入代金）を貸付けて元利を取立てたりする役職であった。

箭内家が駒付役になった経緯は以下の通りである。嘉永七（一八五四）年に白河郡二子塚村の駒付役小林仲右衛門（箭内名左衛門義直の妻の弟）は名左衛門から金子を借用し、以後運上金の取扱いなど駒付役の御用勤めは名左衛門に任せることになった（表向きは仲右衛門が病身のためということになっている、二〇七四）。翌安政一（一八五五）年八月、仲右衛門は身上向不如意のため役儀が勤め難いとして、名左衛門から一五〇両を受取って同年から一〇年季で駒付役を譲り渡している（二〇六五―一）。しかし、この駒付役の全面譲渡は代官所の認めるところとはならず、同月以後も表向きは仲右衛門が駒付役であり、彼の職務のうち「御羅場御用其外駒一条御用向」は石川郡浅川町の駒付役矢吹茂次右衛門が代行し、名左衛門は仲右衛門代として羅駒の際の駒代金渡し方、分金取立方などを担当した（二〇六三）。そして、安政四年九月に名左衛門は浅川代官所から正式に駒付役に任命され、式人扶持をうけ、苗字帯刀を許可された（二〇六二）。その後、明治四（一八七二）年一二月まで箭内家が同職にあったことが確認できる（但し、明治にはいつて役職名は駒方役に変更、二〇二九―一）。

名左衛門は、同役の田村郡中津川村村上氏、白河郡中新城村小針氏、石川郡浅川町矢吹氏とともに、石川郡石川町の駒羅を管轄した。石川町の馬市は石川、白河、田村三郡の幕領村々の馬を扱い、彼が駒付役だった時期には羅は三月下旬に式歳駒を対象に行われ、代金の一五パーセントが運上として徴収された。

明治二年三月時点での名左衛門の持場村は、踏瀬、十軒新田、七軒新田、二子塚、川原田、滑津村上組、滑津村下組、若栗新田、高木、大田輪の各村であった（一九四五）。

### 3 箭内家

箭内家は、もと戦国大名結城氏の家臣で、天正一八（一五九〇）年に結城義親が豊臣秀吉により所領を没収された際に、踏瀬村に來住し帰農したという。そして、寛永年間以降踏瀬村検断を勤めて苗字御免となり、慶安年間以降検断、庄屋両役を勤め、宝暦九（一七五九）年以降苗字帯刀御免となったが、文化六（一八〇九）年以降苗字帯刀は差し止められた（「箭内氏系図」、箭内健次氏所蔵および二六九〇）。その後、安政四（一八五七）年駒付役就任の時に、再び苗字帯刀御免となり、二人扶持を与えられている。残された史料でみる限り、箭内家は代々踏瀬村庄

屋、踏瀬宿問屋、検断を世襲している。なお、箭内家系図のうち、確かだと思われる部分を附図として解題の最後に掲げた。

箭内家は、寛政一〇（一七九八）年二八石六斗八升一合、天保六（一八三五）年二八石一斗八升、文久三（一八六三）年三〇石、明治三（一八七〇）年三〇石五升五勺の土地を所持しており、一貫して村内一、二の高持であった。また、他に多くの山林も所持していた。

同家は、天保九（一八三八）年八月に白河郡二子塚村小林氏から酒造株を譲受け、酒造米高七〇石の規模で酒造を開始し（二六五四）、少なくとも明治二三年までは酒造を続けていたことがわかる（一八六七）。

また同家は、質屋の看板は掲げていなかったものの、地域の有力農民のご多分に漏れず、近隣の農民相手に金貸をおこなっていた。

## 文書の配列と概要

### 1 踏瀬村（明治九年まで）、踏瀬新田村、十軒新田村、七軒新田村、二子塚村、踏瀬村（明治一〇年以降）

これらの各大項目は、『目録（その一）』にその中心部分が収められており、本目録ではそこから漏れた分を追補的に収めた。したがって、中・小項目の編成も『目録（その一）』に従っている。ただ、「踏瀬村（明治九年まで）」の「村政」の小項目「村借」、「若者組・芝居」、「他村関係」と中項目「踏瀬小学」、「踏瀬新田村」の中項目「村政」、「十軒新田村」の中項目「村政」、「七軒新田村」の中項目「村政」、「踏瀬村（明治一〇年以降）」の中項目「踏瀬小学」の各項目は本目録で新たに設けたものである。

踏瀬小学は、明治七（一八七四）年踏瀬、大和久両村を一学区として踏瀬村に小学校の設置が命じられたことにより、同年八月一二日に開校した。その後、踏瀬村は太田川小学へ、大和久村は矢吹村小学へ合併すべき旨の達により、明治一〇年三月二二日太田川小学踏瀬分校となった。しかし、太田川小学と踏瀬分校とは校費賦課金等も別であり、学資金もそれぞれ別個に備えているので、踏瀬小学として独立したい旨明治一三年四月以降願い出ており、明治一五年六月太田川小学からの分離が認められて踏瀬小学（校）と称した。また、それまでは村内の慈眼寺を仮校

舎にあてていたが、明治一五年村民から寄付金を募って校舎を新築した。箭内名左衛門は、明治七、八年学校世話役（方）兼務、同八、九年学校世話掛、明治一六年学務委員などを勤め、また踏瀬村用掛、戸長としても学校事務に関わっている。

## 2 踏瀬宿

踏瀬宿については、「宿勤」、「助郷」、「触・達等」、「他宿」の四つの中項目を立てた。「宿勤」と「助郷」とは明確に区分しにくいところもあるが、宿と助郷の人馬が問屋、検断の指揮の下に一体となって継立をおこなっているような場合には「宿勤」に配し、逆に助郷村々の宿に対する独自性が前面に出て宿と争論をしたり議定を結んだりしている場合には「助郷」に配した。

「昇役」は、遠方の助郷村が正人馬勤めが困難な場合に、代銭で役を勤めることをいう。

## 3 駒付役

ここでは、駒付役の職務の主要な柱である駒改、羅駒、種駒・種駒代金の貸付けの三者を中心に中項目を編成した。

## 4 箭内家

中項目「金銭出入」のなかの「金銭貸借」と「金銭出入」の関係だが、金を貸して利子をとるという金貸経営的な側面が強いものは「金銭貸借」に、それ以外の諸種の金銭出入は「金銭出入」に、ということでおおまかに分類した。ただし、箭内家は質屋の看板を掲げて営業していたわけではないので、両者の区別は完全にはつげにくく、両項目は併せ参照していただきたい。また、「金銭出入帳」や「大宝恵」と題された経営帳簿は「金銭出入」に配した。

「郵便馬車会社」、「内国通運会社」について。明治五（一八七二）年に宿駅制度、助郷制度が廃止され、交通運輸事業は民営化された。そして、郵便馬車会社の時期を経て、明治八年三月、旧飛脚問屋が中心となり、政府のバックアップを得て、全国規模の交通運輸会社である内国通

運會社が発足した。そして、箭内名左衛門はその分社を営んだ。つまり、明治五年以降も箭内家は交通運輸に関わったのであるが、その関わり方は近世における宿の間屋、検断という公的な立場からのものとは異なり、会社組織の一員という私的な立場からのものであった。したがって、具体的な職務内容においては連続性が強いとはいえ、郵便馬車会社、内国通運会社関係の史料は「踏瀬宿」のなかにはなく、「箭内家」のなかに中項目として立てた次第である。

「積金同盟会」、「踏瀬信用購買販売組合」について。積金同盟会は、明治三、四〇年代に活動した貯蓄組合で、箭内名左衛門はその中心人物だったようである。

無限責任踏瀬信用購買販売組合は、明治四一年一月に川崎村踏瀬部落の共有金や共有地からの収益金を元本に設立された産業組合で、昭和一〇年代前半まで活動が続けた。名左衛門は組合長であった。

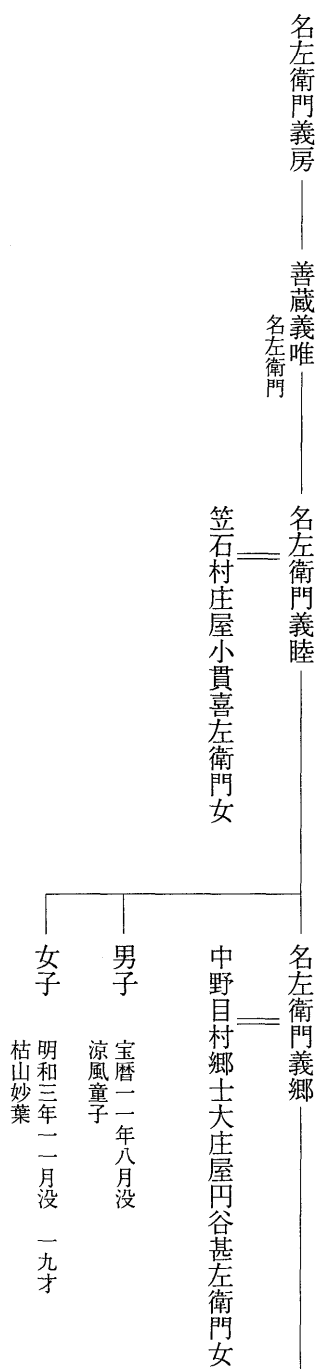
「蔵書」について。本目録では、木板または活字を用いて印刷された史料は表題の最後に「板」と示したが、「蔵書」の項に収めた史料は印刷されたものが多数を占めるので、いちいち「板」とは示さず、逆に手書きのものを「写」として区別した。

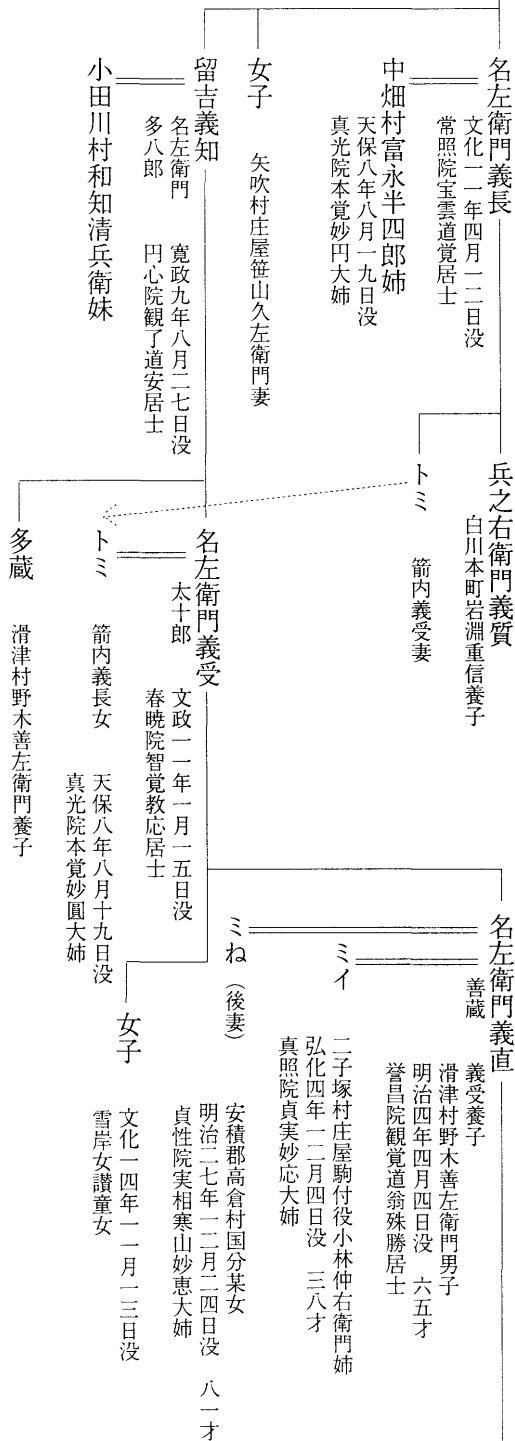
## 5 用 状 等

ここには、『泉崎村史』編纂の際の史料調査でも未整理のまま残された用状等を収めた。用状は、本来ならばその内容を検討した上で、庄屋の職務に関するものは「踏瀬村」に、問屋の職務に関するものは「踏瀬宿」に、というように各大項目中に配さなければならないのだが、今回は時間的制約により史料内容にまで踏み込んだ整理ができなかったため、便宜的に「用状等」という独立の大項目を立てた。ここに収めた史料については、後日より緻密な再整理を期したい。

（付記）本目録の作成は渡邊尚志が担当した。

附図・箭内家系図







名左衛門義方

他十郎

安政二年一月一日没 三二才  
見晃院宝惠乘覚居士

ヤス

太田川村間屋石射弥次右衛門女  
明治二七年四月一四日没 七三才  
西光院観学貞応妙阿清大姉

名左衛門義信

保太郎

天保一三年四月生  
明治二二年五月二日没 四八才  
明徳院承安道眺義信居士

芳之助

ハシ

滑津村野木安右衛門女  
昭和二年九月一〇日没 八六才  
明寿院貞福勝胖妙善大姉

達之助

弘化四年二月二五日没 五才

クラ

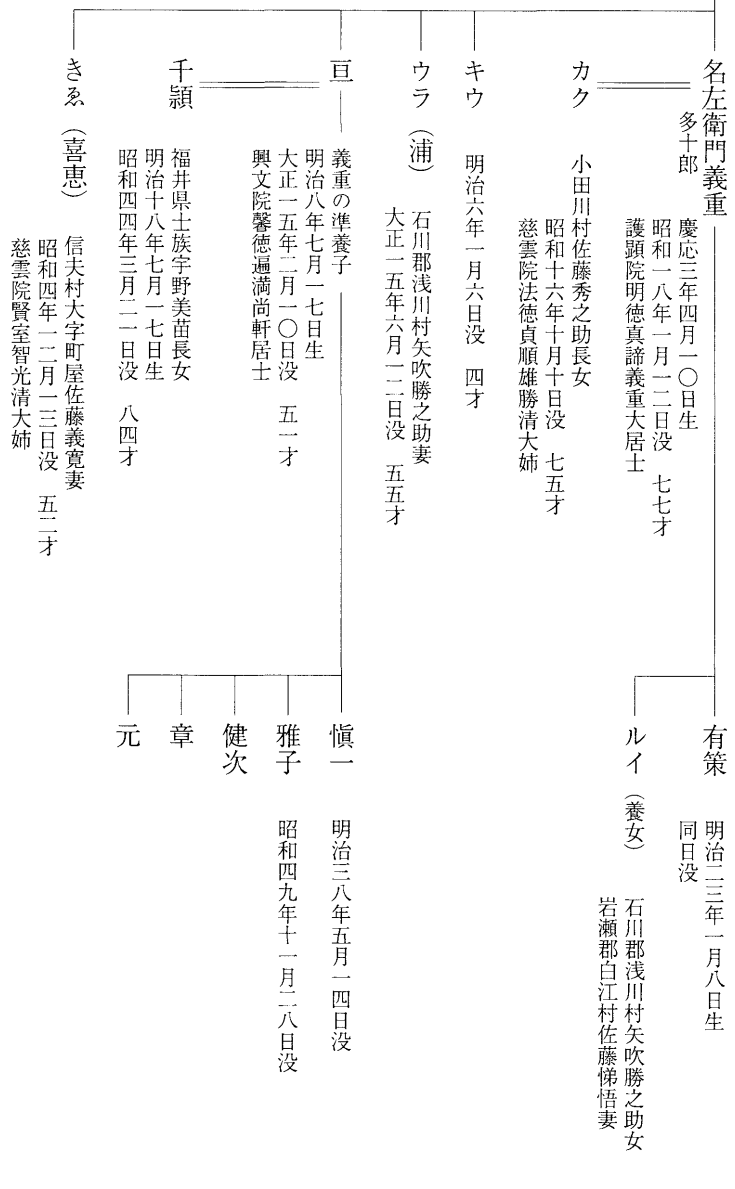
小田川村佐藤柳作妻  
のち柳作弟秀之助と再婚  
その後三神村須乘酒井喜兵衛と再婚

タキ

中畑村小針東五郎妻

武三郎

小田川村佐藤平九郎養子



本系図は「箭内家系譜」(昭和七年八月箭内義重作成、箭内健次氏所蔵)などに基づいて作成したものである。